

中国圏広域地方計画及び近畿圏広域地方計画の決定について

平成28年4月21日
広域連携課

平成28年3月29日、新たな「広域地方計画」（本県は中国圏及び近畿圏の策定に参画）が国土交通大臣により決定されました。

1 広域地方計画の概要

(1) 中国圏広域地方計画 **資料1**

国内外の結節点であるという地理的な優位性、豊かな自然環境・観光資源、ものづくり産業の集積など中国圏の有するポテンシャルを最大限発揮するとともに、社会・経済の多様な「対流」を促進することにより新たな価値を創造し、成長しながら、人々が誇りと愛着を持って暮らせる圏域を目指す。

【キーコンセプト】

瀬戸内から日本海の多様な個性で対流し、世界に開かれ輝く中国圏

【基本戦略の概要】

地理的な優位性、豊かな自然環境、ものづくり産業の集積など中国圏の有するポテンシャルを最大限発揮し、将来にわたり持続的に発展していくため、以下のような基本戦略を設定した。

①重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

幹線道路ネットワーク整備、空港港湾の機能・アクセス強化、拠点都市の都市機能強化、コンパクトシティの推進、東アジアとの交流推進、CIQ、地方航空路線の維持・拡充対策等

②ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化

医工連携による研究開発・事業化、航空機産業拠点構築、Ruby拠点化プロジェクトの推進、体験可能な観光地域づくり、広域観光ルートの形成、クルーズ客船の寄港促進、外国人観光客誘客・受入環境改善等

③中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進

売れる農林水産物・加工品づくり等6次産業化推進、木質バイオマスやCLTの活用による森林資源の高度利用、空き家活用、田舎暮らし体験、小さな拠点の形成、地域公共交通確保、高齢者等の見守り支援等

④土砂災害・水害などの災害対策と強靱な圏域整備による安全・安心の推進

広島土砂災害等の教訓を踏まえた総合的な土砂管理、地震・津波その他風水害対策の推進、カウンターパート制による災害時支援体制強化、社会インフラの長寿命化、技術力を持った人材の確保・育成等

⑤環境と産業・生活が調和した地域づくり

再生可能エネルギー導入促進、次世代自動車の普及促進、ジオパークを通じた自然環境学習等

⑥将来の発展を担う人づくり

ものづくり人材・地域づくり人材の育成、女性活躍社会に向けた環境整備、障がい者の就労社会参加等

【基本戦略に位置付けられたもののうち、本県施策との関連性の高いもの】

- ・ ミッシングリンクの解消を図る山陰道、山陰近畿自動車道など高規格幹線道路の整備推進
- ・ 江府三次道路、北条湯原道路等地域高規格道路の整備
- ・ 山陰等におけるフリーゲージトレイン導入など幹線鉄道の高速化に関する調査・検討
- ・ 境港の貨客船ターミナル・国際物流ターミナル整備
- ・ 日本海側国内海上輸送のミッシングリンクの解消に向けた流通プラットホームの取組推進
- ・ 水木しげるロードの再整備等まちづくりと観光振興の一体的推進
- ・ 山陰における広域観光ルートの形成、DMOの推進
- ・ 山陰海岸ジオパークを活かした観光地形成
- ・ とっとり・おかもま新橋館など共同アンテナショップ等における販売促進活動
- ・ ドクターヘリによる救急対応等、広域連携による医療機能の充実
- ・ 日本海沖メタンハイドレート資源の実用化に向けた調査・開発・人材育成
- ・ あいサポート運動の展開 ほか

(2) 近畿圏広域地方計画 資料2

快適で豊かに生き活きと暮らせる圏域とするため、①アジアのゲートウェイを担い、我が国の成長エンジンとなる圏域②日本の歴史・伝統文化が集積し、世界を魅了し続ける圏域③暮らし・産業を守る災害に強い安心・安全な圏域④人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域となることを目指す。

【キーコンセプト】

快適で豊かな暮らしを目指し“歴史とイノベーションによるアジアとの対流拠点”

【プロジェクトの概要】

関西の強みや特徴を活かし、日本の成長エンジンとなる圏域、歴史や伝統文化により世界を魅了する圏域、暮らし・産業を守る災害に強い安心・安全な圏域になること等を目指し、以下の8つのプロジェクト(PJ)を設定した。

- ①関西ゲートウェイ+ネットワークPJ・・・交通ネットワークやゲートウェイ機能の強化等
- ②関西成長エンジンPJ・・・健康・医療産業やものづくり技術を活かしたイノベーション創出等
- ③歴史・文化・おもてなしPJ・・・広域観光ルートの形成、観光客受入体制整備等
- ④京阪神^{まなま}まちづくりPJ・・・育児・医療・福祉環境の充実、暮らしやすい都市・居住環境の形成等
- ⑤地方都市活力アップPJ・・・「コンパクト+ネットワーク」の都市の形成、地方都市間連携強化等
- ⑥農山漁村いきいきPJ・・・生活サービス機能・コミュニティ機能の維持、移住定住促進等
- ⑦関西強靱化・防災連携PJ・・・ハードとソフトの組合せによる防災・減災対策、インフラ長寿命化等
- ⑧環境共生PJ・・・生物多様性の確保、再生可能エネルギーの活用、低炭素社会の構築等

【PJに位置付けられたもののうち、本県施策との関連性の高いもの】

- ・山陰近畿自動車道、中国横断自動車道姫路鳥取線等の高規格幹線道路の整備
- ・「美の伝説」等観光周遊ルートの形成促進
- ・山陰海岸ジオパークにおけるジオツーリズムをはじめとするニュー・ツーリズムの普及促進
- ・ドクターヘリの活用による「30分以内での救急搬送体制」の構築
- ・日本海側の表層型メタンハイドレートの資源量把握、採掘技術の開発促進

2 広域地方計画の実現に向けたフォローアップ

それぞれの協議会の幹事会等で、計画の実現に向けたフォローアップ(目標、指標等を設定した上でモニタリングする等)を行うこと、また、具体的なフォローアップの方法等については今後検討することとされている。

3 広域地方計画について

広域地方計画は国土形成計画法に基づき、現在及び将来の国民が安心して豊かな生活を営むことができる経済社会の実現に寄与することを目的として、国土交通大臣が全国8ブロックで策定するものであり、防災・産業・交通・文化・環境等分野を横断した国土利用、整備、保全に関し、ハード・ソフト一体となった施策を策定する。

平成27年8月14日に国土形成計画(全国計画)が変更されたことから、このたび各広域地方計画の見直しが行われたもので、計画期間は今後、概ね10年間となっている。

中国圏広域地方計画

説明資料

平成28年3月

国土交通省

中国圏広域地方計画の構成

『瀬戸内から日本海が多様な個性で対流し、世界に関かれ輝く中国圏』

中国圏は、瀬戸内海から日本海において、国際的にも強みを持つ産業や観光資源を有し、また中山間地域や島しょ部においても多様で個性的な文化が育まれてきた。さらに、アジアを見据え、九州圏と近畿圏や四国圏との結節点であることを活かし、社会・経済の多様な「対流」が促進されることにより新たな価値を創造するとともに、東アジアをはじめ世界とも繋がりが成長しながら、人々が誇りと愛着を持って暮らせる圏域を目指す。

第1章 中国圏のポテンシャルと課題

第1節 中国圏が有するポテンシャル

1. 地理的な優位性
2. 豊かな自然環境
3. 多様な文化と歴史
4. ものづくり産業の集積

第2節 中国圏の課題

1. 著しい人口減少と高齢化の進展
2. 多数の小規模集落と過疎関係市町村
3. 圏域内の利便格差
4. 土砂災害・水害・地震等多発する大災害
5. 顕在化するインフラの老朽化

第2章 中国圏の将来像

- 第1節 国内外の多様な交流と連携により発展する中国圏
- 第2節 産業集積や地域資源を活かし持続的に成長する中国圏
- 第3節 豊かな暮らしで人を惹きつける中山間地域や島しょ部を創造する中国圏
- 第4節 新たなステージにも対応する安全・安心な中国圏
- 第5節 将来像において横断的に持つべき視点

第3章 中国圏の圏域整備の基本戦略とプロジェクト

第1節 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

1. 基幹交通の整備によるネットワーク強化
2. 都市間の多様な連携の推進
3. 拠点都市整備とコンパクトシティの推進及び中小都市の振興
4. 東アジアを始めとする国際交流の推進

第2節 ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化

1. ものづくり産業のイノベーション等による競争力強化
2. 基幹産業の競争力強化に直結する国際物流機能の強化
3. 多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進

第3節 中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進

1. 地域資源を活かした産業の育成等による新たな雇用創出
2. 農林水産業の成長産業化と美しく活力ある農山漁村の創出
3. 空き家活用等多様な転入支援策
4. 「小さな拠点」の形成等による持続可能な生活サービスの確保

第4節 土砂災害・水害対策やインフラ長寿命化等による強靱な圏域整備と安全・安心の推進

1. 他圏域のバックアップも含めた災害対策の推進
2. インフラ老朽化対策の推進
3. 安全で安心な住宅・社会資本の整備

第5節 環境と産業・生活が調和した地域づくり

1. 低炭素・循環型の地域づくり
2. 瀬戸内海等の豊かな自然環境の保全・再生
3. 美しい景観の保全整備

第6節 将来の発展を担う人材育成

1. 中国圏の人材育成
2. 若者・女性活躍社会、高齢者参画社会、障がい者参加社会の実現

第4章 他圏域と連携して取り組むべき施策

- 広域観光・インバウンド観光の促進
- 豊かな瀬戸内海の環境保全と再生
- 産業集積地間の連携等による国際競争力強化
- 課題を共有した人材育成、地域づくり等の推進
- 暮らしの安全・安心と防災ネットワークの整備

第5章 効果的、効率的な計画の推進

1. 投資の重点化・効率化と効果的な施策展開に向けた総合的なマネジメント
2. 関連計画との連携
3. 多様な主体の連携による計画の推進

【中国圏のポテンシャル】

- 1. 地理的な優位性**
 - ・本州西側に位置し、アジア大陸、朝鮮半島に近接、古くから東アジアとの深い関わり
 - ・アジア大陸や朝鮮半島と京都・大阪を結ぶ回廊としての役割を担い、日本海及び瀬戸内海の水運並びに陸上交通の要衝
 - ・これらから中国圏の特色ある歴史・文化、産業が発達
- 2. 豊かな自然環境**
 - ・日本海、瀬戸内海、中国山地の自然を有し、自然と人々の暮らしとが密接に結び付く
 - ・山陰海岸、大山隠岐、瀬戸内海、中海、六道湖、秋吉台地下水系、宮島など、世界的に認められる自然環境
- 3. 多様な文化と歴史**
 - ・出雲や吉備文化が栄えた歴史を持ち、わが国を代表する古代文化遺跡や社寺等が現存
 - ・原爆ドーム、厳島神社、石見銀山遺跡、明治日本の産業革命遺産という4つの世界遺産
- 4. ものづくり産業の集積**
 - ・域内総生産に対する製造業の割合は中部圏に次いで高水準
 - ・鉄鋼・化学等の基礎素材型産業の製造品出荷額等におけるシェアが54.7%と大
 - ・従業員一人当たりの製造品出荷額は、近年、中国圏が全国1位で推移
 - ・オンラインワゴン・ナンバーワン企業が瀬戸内海地域を中心に数多く存在、日本海側地域にも電気・電子機械、食料品関係等の集積

【中国圏の課題】

- 1. 著しい人口減少と高齢化の進展**
 - ・全国に先行して1995年の777万人をピークに人口減少へ
 - ・人口規模の小さい市町村ほど減少割合が高く、中小都市や中山間地域等では、日常生活に必要なサービスを提供する都市機能の維持が困難
- 2. 多数の小規模集積と過疎関係市町村**
 - ・過疎関係市町村数は全市町村の74%を占め、北海道に次いで多い
 - ・過疎地域における世帯数20世帯未満の小規模集積数は全国で最も多い
 - ・小規模集積における人口減少の進展は、居住の孤立化や集積消滅に繋がるのが危険
 - ・不動産管理の空洞化が進展、今後の人口減少により農地・森林等の一層の荒廃も懸念
- 3. 圏域内の利便格差**
 - ・中山間地域等には3次医療機関や2次医療機関に一定時間で到達できないエリアが存在
 - ・中山間地域等は、道路改良率や下水道普及率が低く、高度情報通信施設の整備も遅れ
 - ・山陰道はネットワーク形成するまでに至っておらず、広域的な交流・連携に支障
- 4. 土砂災害・水害等多発する大災害**
 - ・土砂災害危険箇所は全国の18%、1km²当たりの土砂災害危険箇所数は全国で最も多い
 - ・過去5年間の人口百万人当たりの水害による死者数は全国で最も多い
- 5. 顕在化するインフラの老朽化**
 - ・橋梁やトンネルにおいて、建設後50年以上を経過するものが急増
 - ・多くの地方自治体においては、インフラ長寿命化のための技術、資金、人材が不足

中国圏の将来像

- 国内外の多様な交流と連携により発展する中国圏**
 - ・基幹交通ネットワークを強化することで、対流促進型の圏域を実現
 - ・中核・中核となる都市の都市機能充実による推進力となる都市の実現
 - ・中小都市は産業拠点、中山間地域を支える役割を發揮する都市の実現
 - ・生活サービス機能維持、効率的な提供のためネットワーク型のコンパクトな街づくりを実現
 - ・大都市圏への人口流出防止や人口・産業を呼び込む、連携中核都市圏、定住自立圏等の実現
 - ・文化・経済・観光交流や国際平和・医療支援、圏域の魅力等から国際交流促進を実現
 - ・中核・中核の都市、小さな拠点のネットワークで高次都市機能から生活サービス機能まで享受を可能とし、海外も含め広域的な「コンパクト+ネットワーク」を構築することで、産業・文化・観光等のイノベーションや新しい価値を創造する中国圏を実現
- 産業集積や地域資源を活かし持続的に成長する中国圏**
 - ・グローバル産業の生産性向上を図り国際競争力と国際物流機能の強化により、持続的に成長する中国圏を実現
 - ・ICT活用や交通網の充実でローカル産業の生産性向上による圏域経済の底上げを実現
 - ・クラスター形成や産学金官連携等により、イノベーションが続く中国圏を実現
 - ・観光地の魅力向上と広域的な観光周遊ルート形成によりこれまでにない観光の体験を実現
- 豊かな暮らしで人を惹きつける中山間地域や暮らしよ都を創造する中国圏**
 - ・地域資源を活用した新たな産業創出や食と豊か空間を活かした交流産業等により雇用創出
 - ・高付加価値化、地産地消、6次産業化等により循環型の豊林水産業を営む圏域を実現
 - ・生活サービス機能の確保・維持のため、地域の合意に基づき、「小さな拠点」を実現
 - ・中小都市の機能を高め、小さな拠点をサポートし、活き活きとした中山間地域等を実現
 - ・ICTと物流機能の強化で、中山間地域等の魅力を引き立て、移住・定住促進を実現
 - ・人と人が支え合う良好なコミュニティにより地域が活性化し圏域を実現
 - ・地域資源を活かし「星山・星海ニューライフ」とも呼べるような豊かなライフスタイルを育む中山間地域を目指し、こうした魅力で大都市圏も含め暮らしの豊かさを求める人々を惹きつけ新しい価値を創造する中国圏を実現
- 新たなステージにも対応する安全・安心な中国圏**
 - ・風水害対策、自助・共助による対応等により、高い地域防災力を備えた圏域を実現
 - ・強靱な交通・物流機能、有事に強いサプライチェーンの形成により大震災時にも復興を促進
 - ・大都市圏や近隣圏域のバックアップも含めた安全・安心な圏域を実現
 - ・社会資本の長寿命化、ライフサイクルコストの低減、費用の削減・平準化を図る圏域を実現
 - ・産業市街地の防災対策、交通安全対策、バリアフリー化等により、安全性の高い圏域を実現
 - ・異常気象時や大規模地震発生時等の新たなステージにも対応した防災・減災も含め安全・安心な中国圏を実現

【将来像において横断的に持つべき視点】

●環境と産業、生活の調和	●人材育成
●低炭素や循環型の地域づくり	●地元大学と連携した産業振興や地域づくりの担い手育成
●豊かな自然環境の保全、再生	●若者・女性活躍社会、高齢者や障がい者多様な社会の実現
●美しい景観の保全整備	

基本戦略1 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

戦略の考え方

- 近隣圏域やアジアをはじめとする世界との交流や圏域内の交流が重層的に行われるための多様なモードによる基幹交通のネットワーク強化
- 高次な都市機能の維持・向上や産業活性化のための、「連携中核都市圏」や「定住自立圏」等の多様な連携強化
- 圏域の推進力強化のための中核都市等の整備と、持続的な生活サービス機能確保のための「コンパクト+ネットワーク」の推進
- 東アジア等世界との交流・連携を促進するため、中国圏の特色を活かした国際交流の推進と国際交流機能の維持・強化

プロジェクト

■基幹交通の整備によるネットワーク強化

- ・日本海側のミッシングリンクの解消を図る高規格幹線道路等の整備を推進
- ・山陰線におけるフリーゲートトンネル導入に係る地方公共団体による調査・検討の実施を促し、幹線鉄道の高速化に関する調査・検討の推進
- ・安定した住民生活や圏域間交通の利便性確保のための国内航路の維持・拡充及び港湾機能及びアクセスの強化 等

■都市間の多様な連携の推進

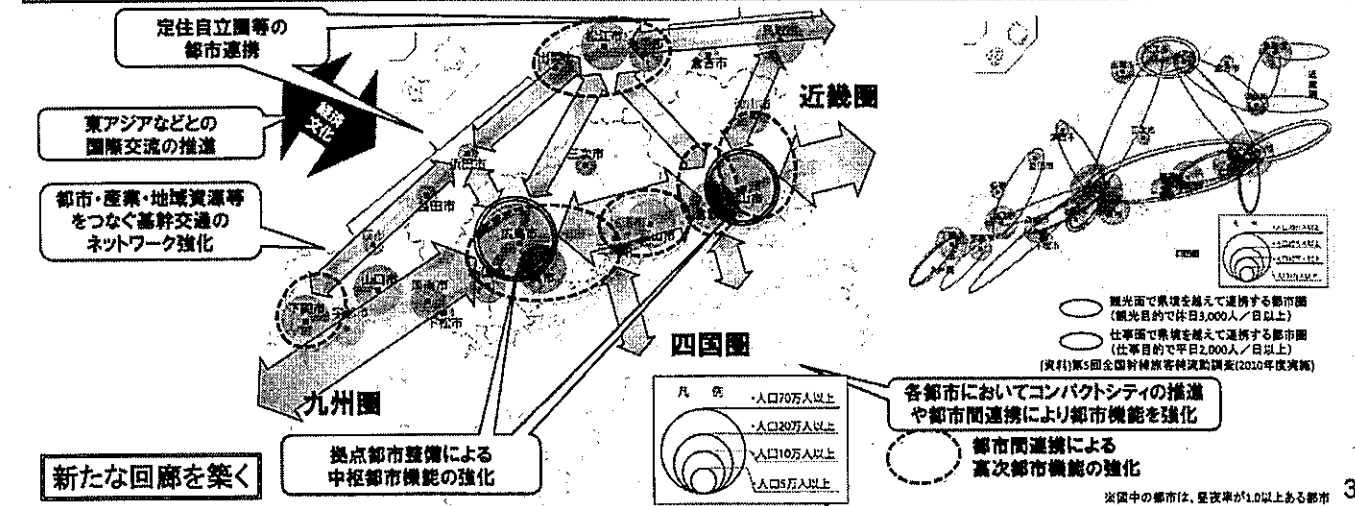
- ・連携中核都市圏を形成し、産業活性化と高次都市機能の集積・強化を推進
- ・定住自立圏等の広域連携や圏域間の連携を強化
- ・多様な都市間連携を支える道路ネットワーク整備、公共交通ネットワーク機能の強化 等

■拠点都市整備とコンパクトシティの推進及び中小都市の振興

- ・都市機能の高度利用を可能とする市街地再開発等の推進
- ・交通結節点の機能強化、都市高速道路や環状道路の整備等による交通ネットワークを強化
- ・立地適正化計画等に基づくネットワーク型のコンパクトシティの形成
- ・中小都市における中心市街地活性化等による拠点機能の維持・強化 等

■東アジアを始めとする国際交流の推進

- ・日本海地域における定期貨客航路を活かした北東アジア地域との交流推進
- ・国際フェリー航路を有する下関港・境港における国際航路の維持・拡充や港湾機能強化
- ・クルーズ船寄港が増加する境港、広島港等における貨客船ターミナルの整備等国際交通機能を強化 等



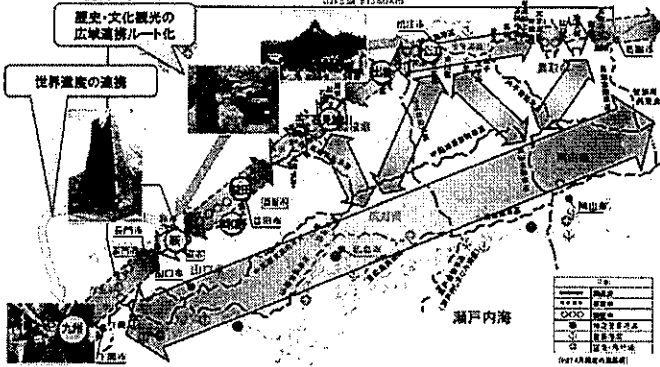
基本戦略1 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

基幹交通の整備によるネットワーク強化

山陽側の交流の強みを活かすとともに山陰の地域資源の魅力を発揮することで、圏域内外の対流を促進し、持続的に発展するための基盤となる山陰道のミッシングリンク解消など、基幹交通の整備によるネットワークを強化。

(山陰道の整備)

観光資源の連携による広域観光ルート形成や山陽と九州との物流効率化等の役割を担うものとして整備を推進。

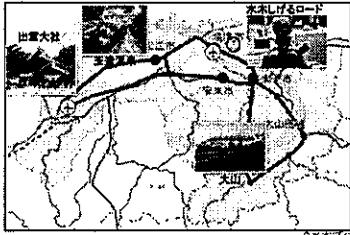


都市間の多様な連携

三大都市への人口流出を防止するダムの役割を担うため、通勤や経済活動等の上で一定のまとまりのある圏域について、産業、教育、医療・福祉等に関する都市機能の共有・高度利用等を推進するとともに、多様な連携を推進。

(中瀬・宍道湖・大山圏域における都市間連携)

山陰の拠点都市として、国際港湾を活かした山陰の産品の海外販路開拓を図る産業振興や広域的な観光振興等の取り組みを推進。



【取組例】ロシアへの販路拡大事業
ロシアバイヤーとのマッチング等の支援を実施し、山陰の産品等の販路拡大による圏域経済の活性化を図る。



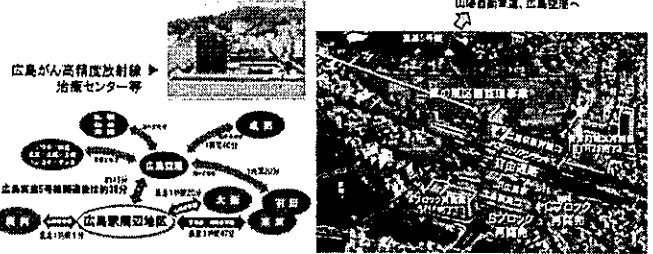
▲ロシアでの展示販売会
(資料)中瀬・宍道湖・大山圏域市長会HP

拠点都市整備とコンパクトシティの推進及び中小都市の振興

圏域の推進力を強化するため、拠点都市における市街地再開発や都市交通の機能向上等による高次都市機能の強化を推進。

(広島圏周辺地区の整備)

国内外からの来訪者を迎える際の玄関として、広島空港との定時性向上等の交通結節機能や業務、医療等の高次都市機能の強化を図るため、再開発等を推進。

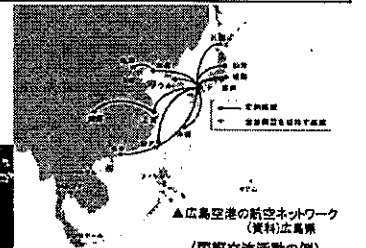


東アジアを始めとする多様な国際交流の推進

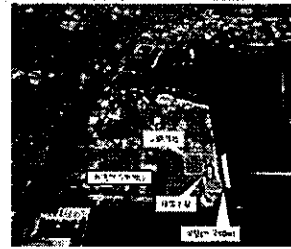
成長著しい東アジアの活力を取り込むとともに、世界の中での中国圏の役割を高めていくために、多様な国際交流等を推進するとともに、空港・港湾機能強化やネットワークの強化等の国際交通機能を充実・強化。

(広島空港のネットワーク強化)

国際定期路線の拡充により航空ネットワークを強化。当面、シンガポール等東南アジア方面との定期路線開設を目指す。



(境港における貨客船ターミナルの整備)



(資料)国土交通省



▲広島空港の航空ネットワーク (資料)広島県
(国際交流活動の例)
▲放射線被曝者医療に関する医師団員入れ (資料)放射線被曝者医療国際協力推進協議会HP

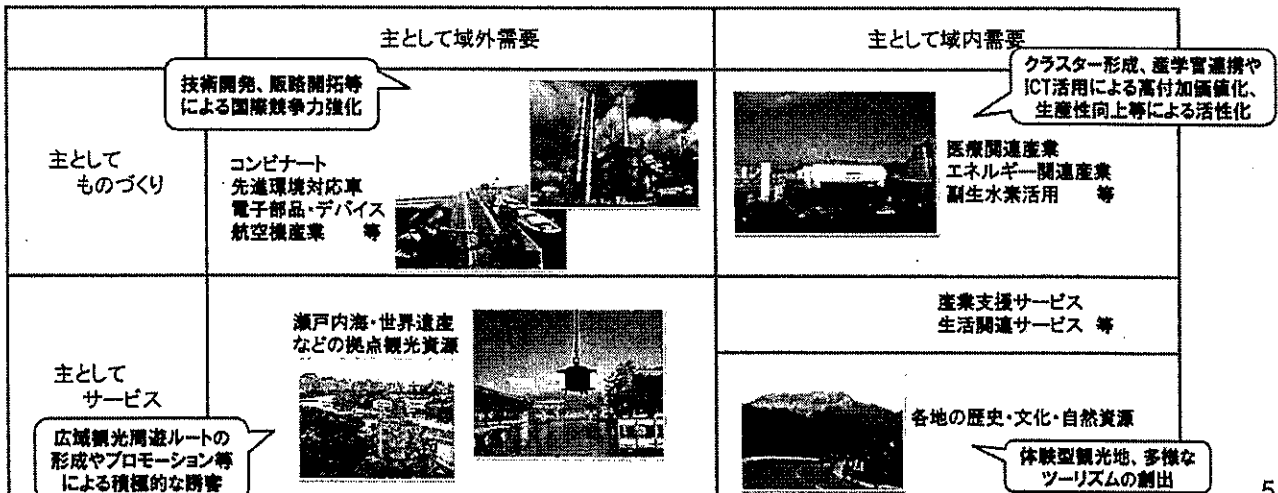
基本戦略2 ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化

戦略の考え方

- グローバル産業の高付加価値化・効率化により生産性を高め国際競争力の強化とローカル産業の新規創業、クラスター形成等による産業競争力の強化
- 世界水準の国際物流機能の確立を目指した産業港湾の機能強化とシームレスで競争力ある貨物輸送サービス提供の推進
- 中国圏の自然や歴史・文化資源を活かした多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進

プロジェクト

- ものづくり産業のイノベーション等による競争力強化
 - ・先進環境対応車の技術開発等による自動車関連産業の国際競争力を強化
 - ・瀬戸内海沿岸に集積するコンピナート企業間の連携促進等により国際競争力を強化
 - ・高付加価値型の電子部品・デバイスの開発生産拠点の形成
 - ・航空機部品加工等の研究開発・事業化の促進等による航空機産業拠点を構築
 - ・瀬戸内海沿岸に集積するコンピナートの副生水素の利活用による産業振興等
- 多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進
 - ・世界遺産や世界ジオパーク等を活かした国際レベルの観光地の形成
 - ・スポーツツーリズム、産業観光、インフラツーリズム等の推進
 - ・「せとうち・海の道」広域観光周遊ルートや山陰における広域観光ルートの形成
 - ・明治日本の産業革命遺産等の世界遺産、中国やまなみ街道等を活用した多様な観光周遊ルートの形成
 - ・官民の関係者が一体となった外国人旅行者の誘引に向けたクルーズ客船の誘致と受入環境の改善
 - ・DISCOVER WEST連携協議会の取り組みなど中国圏一体の情報発信・プロモーション等の推進等
- 基幹産業の競争力強化に直結する国際物流機能の強化
 - ・国際バルク戦略港湾を整備し効率的な海上輸送網を形成
 - ・下関港、境港の国際物流ターミナル整備や日本海側の港湾物流機能の強化
 - ・国際コンテナ航路、国際フィーダー航路、国際フェリー・RORO船等の国際物流ネットワークの充実等



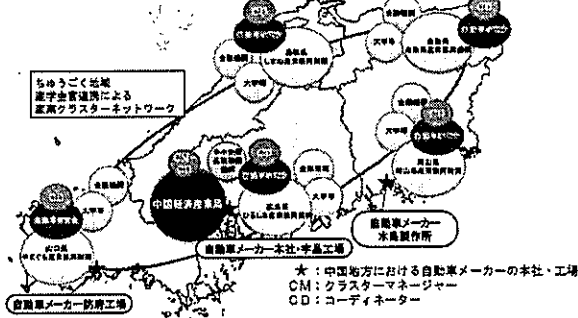
基本戦略2 ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化

ものづくり産業のイノベーション等による競争力強化

中国圏における経済の持続的な成長を推進するため、グローバル産業の国際競争力の強化や、ローカル産業の高付加価値化、企業誘致を支えるインフラの整備等を推進し、圏域内の産業の競争力を強化。

〈ちゅうごく地域自動車部品素材グローバル戦略〉

自動車メーカー及び中核部品メーカーから地域部品企業に対し、ニーズ・課題等を発信し、地域産学官金で各種調査や方策検討を行う研究会・会議等を立ち上げ、人材育成等を行いつつ、プロジェクトを形成、研究開発及び取引先開拓等を推進する。



〔資料〕中国経済産業局「ちゅうごく地域自動車部品グローバル戦略」を基に中国地方整備局作成

〈「水素先進県」を目指した水素利活用による産業振興と地域づくり〉

全国トップクラスの大量かつ高純度の水素を生成するという山口県の強みを活かし、「水素先進県」の実現を目指した水素利活用による産業振興と地域づくりの取組を推進。

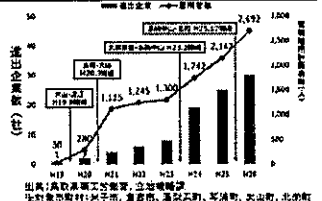


〈インフラ整備による企業進出や雇用促進〉

山陰道等のインフラ整備により、沿線への企業進出や雇用促進が図られている。



鳥取県の山陰道沿線自治体の企業進出状況（H19以降累積）



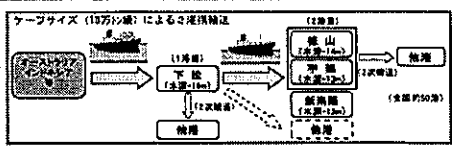
〔資料〕鳥取県産業労働部、自治体経済課
 対象自治体：三好市、真庭市、湯梨原町、琴浦町、大山町、北栄町

基幹産業の競争力強化に直結する国際物流機能の強化

世界水準の国際物流機能の確立を目指して、産業港湾の機能強化や国内外への円滑な貨物輸送を実現するシームレスで競争力あるサービスの提供を推進。

〈国際バルク戦略港湾〉

国際バルク戦略港湾に選定された徳山下松浦 宇部港では、2港あげ輸送等の企業間連携により、大型船舶による石炭の一括大量輸送等を推進。他に水島港で穀物、水島港・福山港で鉄鋼石を推進。



〈中国地方の外資コンテナ貨物輸送の方向性〉

欧米向け貨物は、基幹航路の維持・拡大のため、海外トランシップしている貨物の国際コンテナ戦略港湾である阪神港への集約を推進し、そのための国際フィーダー航路の充実など、阪神港との連携強化等による貨物輸送サービスの維持・拡大を図る。アジア諸国を地盤とする基幹航路以外の貨物は、極力管内港湾を利用したのダイレクト輸送を推進する。



多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進

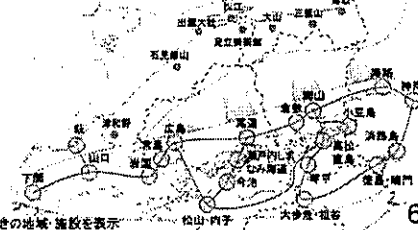
外国人旅行者等の積極的な誘客を図るため、山陰・山陽の多様な個性あふれる資源を活かし、多様な連携によるインバウンド・広域観光を推進。このため、プロモーションによる需要創出やサービス開発を担う日本版DMOを推進。

〈広域的な観光周遊ルートの形成〉

各地域に多様な個性あふれる観光地をネットワーク化するなどにより、山陰・山陽にわたる中国圏域内の多様な広域観光ルートを達成し、観光プロモーション等により、近隣圏域とも連携したインバウンド・広域観光を推進する。



△広島港に寄港する外航クルーズ船
 〔資料〕中国地方整備局



〔注〕山陰はミシュラングリーンガイドで星付きの地域。施設を表示
 山陰・山陽

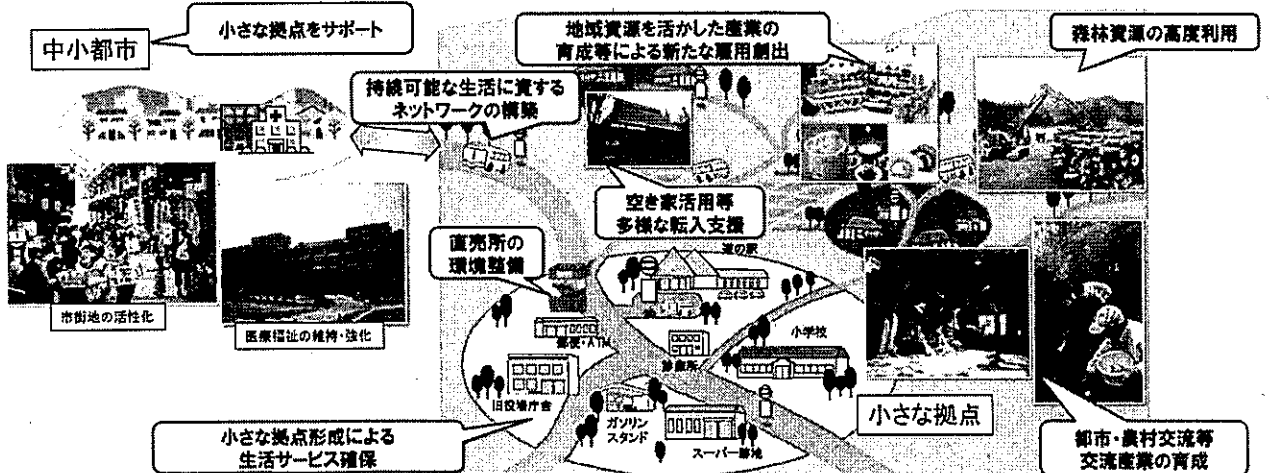
基本戦略3 中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進

戦略の考え方

- 地域資源を活かした産業の育成や新規創業者による地域の産業力強化と雇用の確保
- 生産基盤の整備や担い手の確保、6次産業化による高付加価値化、里山・里海の資源を活かした特産品の開発等による農林水産業の強化
- 中山間地域等と中小都市との交流促進及び空き家活用など多様な転入支援策による移住先道地となる取組の推進
- 中山間地域等における官民連携による「小さな拠点」の形成
- 面的な公共交通の再構築や拠点間をつなぐ道路の整備等、地域の実情に応じた持続可能な生活の確保に資するネットワークの構築

プロジェクト

- 地域資源を活かした産業の育成等による新たな雇用創出
 - ・ 新たなニーズに応じた製品開発や新規事業への参入促進
 - ・ 共同アンテナショップ等における販売促進や商談会の開催、海外展開の促進
 - ・ 農山漁村環境と農林漁業体験を活かしたグリーンツーリズム・ブルーツーリズムの推進 等
- 「小さな拠点」の形成等による持続可能な生活サービスの確保
 - ・ 道の駅等を核とした、生活サービス機能や地域情報を提供、地域の賑わいを創出する拠点の形成
 - ・ 官民連携による、地域内での生活サービスの確保等の仕組みを構築
 - ・ 「小さな拠点」と周辺集落との公共交通や物流ネットワークの確保
 - ・ 「小さな拠点」と周辺をつなぐ道路等の社会インフラの整備や適正な維持・管理等
- 農林水産業の成長産業化と美しく活力ある農山漁村の創出
 - ・ 直売所等の環境整備、地元産食材を使った飲食店の認定等による地産地消の取組、販路拡大を推進
 - ・ 体験機会の提供や就業支援対策などによる担い手の確保・育成・定着
 - ・ 間伐材等を発電所や熱利用施設等へ積極的に利用する資源循環型産業の振興
 - ・ 中山間地域等直接支払制度による農業生産活動の継続を通じた食料供給機能や多面的機能の維持向上 等
- 空き家活用等多様な転入支援策
 - ・ 空き家バンク等空き家の活用施策を促進
 - ・ お試し住宅や定住住宅の建設・提供等多様な居住機能を確保 等



基本戦略3 中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進

地域資源を活かした産業の育成等による新たな雇用創出

中山間地域等における産業の振興を図るため、地域資源を活かした商品開発やブランド形成等により地場産業を育成し、新たな雇用を創出。

〈古民家へのIT企業の進出〉

鳥根県ではRubyをはじめとした活発なITコミュニティを活かしたIT企業の誘致に取り組んでおり、松江市の古民家にIT企業がオフィスを設置するなどIT企業の進出が進んでいる。



〈倉敷市児島のジーンズ〉

倉敷市の児島地区は国産ジーンズ発祥の地であり、繊維産業の蓄積を活かした高い品質により、世界中のブランドから注文が殺到している。

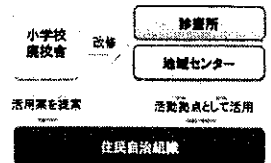


「小さな拠点」の形成等による持続可能な生活サービスの確保

中山間地域等における買い物・医療など生活に不可欠なサービスの機能の維持を図るため、小さな拠点の形成を図り、地域住民等が参加する組織により運営。また、中山間地域等における生活に必要な移動手段等の維持・確保を図るため、地域の実情に応じた、持続可能な公共交通や物流・ICTネットワークの構築を推進。

〈小学校の廃校舎を活用した地域づくり活動拠点の整備〉

広島県東広島市小田地区では、住民自治組織の提案により、小学校の廃校舎を改修し、診療所と地域センターを配置。住民自治組織が市と連携して地域づくり活動の拠点として活用している。

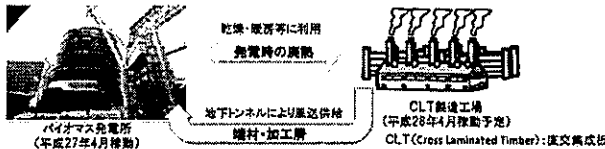


農林水産業の成長産業化と美しく活力ある農山漁村の創出

中山間地域等における地域環境の持続性確保や基幹産業の維持を図るため、森林資源の高度利用や域内調達・循環の促進による所得創出などを推進。

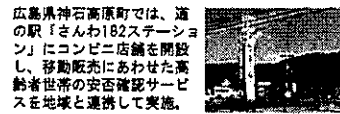
〈GLTの活用（岡山県真庭市）〉

岡山県真庭市では、豊富な森林資源を活かし、地元事業者等の連携により木質バイオマスを活用したまちづくりを推進。中層建築資材にも使用可能な国内初のCLT（直交集成材）生産工場を建設し、バイオマス発電所と連携した運用を図る。



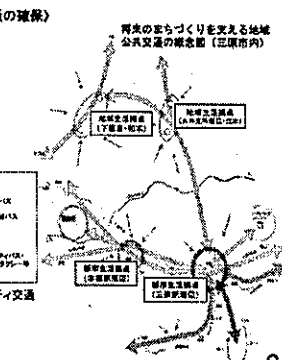
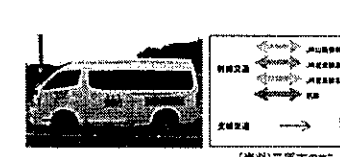
〈移動販売にあわせた高齢者世帯の安否確認サービス〉

広島県神石高原町では、道の駅「さんむ182ステーション」にコンビニ店舗を開設し、移動販売にあわせた高齢者世帯の安否確認サービスを地域と連携して実施。



〈路線バスとコミュニティ交通の組み合わせによる地域交通の確保〉

広島県三原市では、平成27年3月に地域公共交通網形成計画を策定し、「市民協働による利便性が高く持続可能な地域公共交通体系の構築」という理念の下、路線バスや地域コミュニティ交通の運行維持・確保、交通モード間の乗り換え改善の検討、交通施設の整備等を推進することとしている。

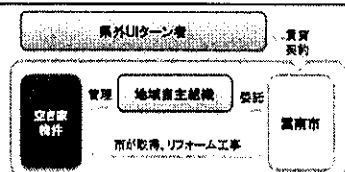


空き家活用等多様な転入支援策

小規模集落の維持を目指すとともに、地域の防災・防犯や景観の維持を図るため、空き家を活用した多様な居住機能や受け入れ体制の整備等の転入支援策を推進。

〈Uターン促進空き家リフォーム事業〉

鳥根県南本市では、市が空き家を取得・リフォーム工事を行い、地域自主組織が住宅の管理や入居者の受入れに支援等を行う事業を実施。



基本戦略4 土砂災害・水害対策やインフラ長寿命化による強靱な圏域整備と安全・安心の推進

戦略の考え方

- 南海トラフ地震など大規模地震等においても、他圏域のバックアップも含めた圏域内のハード・ソフトによる災害対策の推進と体制の強化
- 社会資本の計画的・効率的なメンテナンス、技術力強化によるインフラ長寿命化対策の推進
- 日常における安全・安心な暮らしのための、住宅・社会資本の整備

プロジェクト

■他圏域のバックアップも含めた災害対策の推進

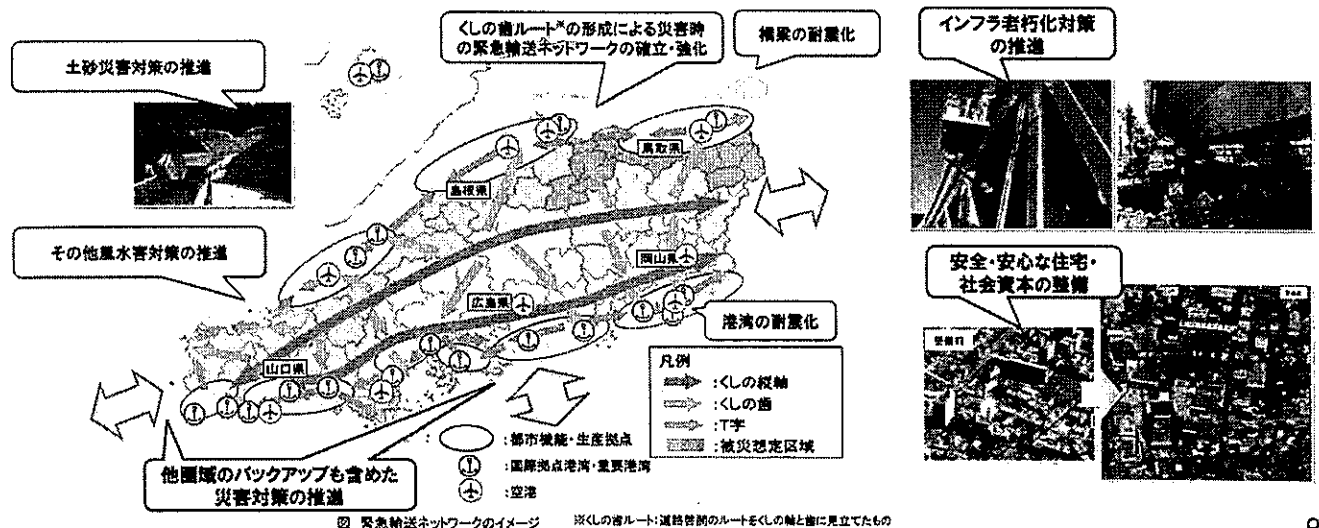
- ・広島土砂災害等の教訓を踏まえ、暮らしを守る砂防や地すべり対策等の推進
- ・耐震強化岸壁の整備及びコンビナート港湾の強靱化
- ・南海トラフ地震等の大規模な地震や津波が発生した際の応援・救援体制、緊急輸送ネットワークの確立・強化
- ・企業のBCP策定や平常時からの情報交換等によるサプライチェーンの強化
- ・カウンターパート制などの連携体制を踏まえ、広域的な支援活動等について具体化を図る取組の推進 等

■インフラ老朽化対策の推進

- ・インフラの長寿命化及び社会資本の戦略的な維持管理
- ・メンテナンスに関する技術力の向上と人材の確保・育成 等

■安全で安心な住宅・社会資本の整備

- ・住宅等の耐震・耐火性能の向上による災害に強い安全なまちづくりの推進
- ・住宅市街地の再生・整備による安全な市街地の形成
- ・交差点改良、歩行者及び自転車通行空間の整備等の交通安全対策の推進 等



基本戦略4 土砂災害・水害対策やインフラ長寿命化による強靱な圏域整備と安全・安心の推進

他圏域のバックアップも含めた災害対策の推進

大規模災害時の他圏域のバックアップも含めたハードとソフトの組み合わせによる対策を行い、自動・共助による地域防災力の向上や災害時の緊急輸送ネットワークの確立・強化を推進。

〈広島市豪雨災害等の教訓を踏まえた土砂災害対策等の推進〉

大規模な土砂災害へ備えるため、砂防環境等ハード対策とともに、UAVの活用など情報収集の高度化・迅速化、啓発のまちづくりによる土砂災害に強い地域づくりなどソフト対策を併せて推進。



▲UAVによる調査 (資料)中国地方整備局



▲まちづくり勉強会 ▲学校における避難訓練 (資料)広島市「平成26年8月20日」▲砂防環境の効果事例 瀬田川(善徳町)まちづくり(広島市安芸区南大町地区)

※UAV(Unmanned Aerial Vehicle):無人航空機

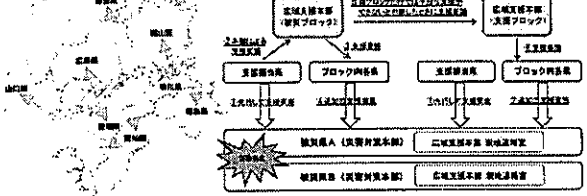
〈災害に強い地域づくり〉

橋梁や港湾施設、河川堤防等の耐震対策など社会資本の耐震化を推進するとともに、企業におけるBCP策定などによるサプライチェーンの強化など、災害に強い地域づくりを推進。

※BCP(Business Continuity Plan):事業継続計画

〈カウンターパート制による被災県への支援体制の構築〉

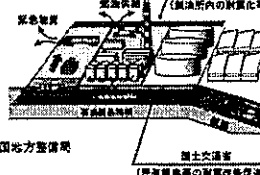
被災状況把握などの初動支援の円滑・迅速な実施を図るため、被災県に対する支援を行う県を予め定めたカウンターパート制による被災県への応急措置等の支援体制を中国四国9県で構築。



▲カウンターパート制による支援体制のイメージ

〈コンビナート港湾の強靱化〉

中国圏域の臨海部に数多く集積するコンビナートについて、大規模地震発生時における防災・減災を図るとともに、被災後の緊急物資輸送などを確保するため、耐震強化岸壁の整備等を推進。



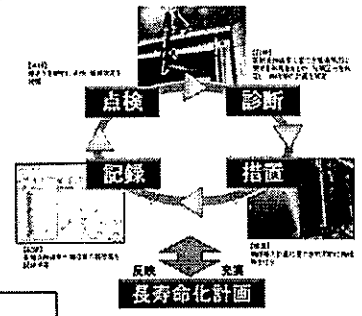
(資料)中国地方整備局

インフラ老朽化対策の推進

高度経済成長期に整備された社会基盤の長寿命化を目指し、インフラの老朽化対策を図るために、道路、河川等の既存の社会インフラの徹底的な維持管理を推進。

〈メンテナンスサイクルの構築〉

点検→診断→計画→記録→実施→点検というメンテナンスサイクルを通じて、長寿命化計画等の策定を推進し、予防的な保全を効率的、効果的に推進。



〈道路メンテナンス会議〉

各道路管理者が、道路施設の維持管理に係る情報共有・情報発信、点検・修繕計画の把握・調整、技術支援等について協議を行い、円滑な道路管理を促進し、予防保全・老朽化対策を強化。

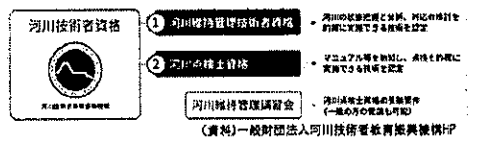
〈会議での取組事項〉

- ・点検計画に基づいた定期点検結果の実施状況
- ・情報の把握・蓄積
- ・情報の共有化・見える化 等

(資料)中国地方整備局

〈河川技術者資格制度〉

堤防や河道の維持管理水準の確保・向上のため、河川の維持管理の専門技術を持つ技術者を育成。



(資料)一般財団法人河川技術者教育振興機構IP

安全で安心な住宅・社会資本の整備

安心・安全な地域社会、高齢者・障がい者等全ての人が安心して暮らせる共生社会の実現のため、交差点改良等の交通事故防止対策や共同・協調して替える住環境の改善や道路・建築物等のバリアフリー化など、事故や災害を未然に防止する環境整備を推進。



▲国道2号 新築橋西交差点～大供交差点間における自転車専用通行帯整備の例

基本戦略5 環境と産業・生活が調和した地域づくり

戦略の考え方

- 中国圏の地域資源や自然資源を活かした低炭素・循環型の地域づくりの推進
- 瀬戸内海、日本海、中国山地等の変化に富んだ豊かな自然環境の保全・再生
- 地域の新たな価値を創造する多様で個性ある景観の保全・整備

プロジェクト

■低炭素・循環型の地域づくり

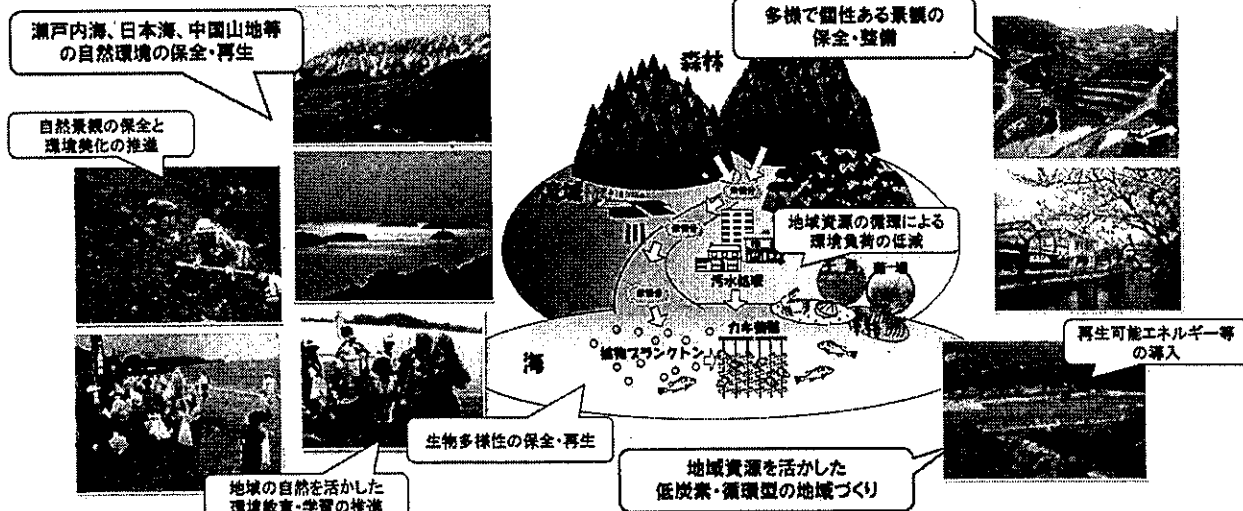
- ・地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入を促進
- ・日本海沖メタンハイドレート資源の実用化に向けた技術開発等の取組を推進
- ・木質バイオマスの有効活用や水素インフラ整備等の取組を推進 等

■美しい景観の保全整備

- ・歴史的なまちなみ景観や自然景観など、中国圏の特色ある優れた景観の保全を推進
- ・景観行政団体における景観計画策定の推進や景観形成ガイドラインの策定・活用などにより良好な景観形成を推進 等

■瀬戸内海等の豊かな自然環境の保全・再生

- ・瀬戸内海における藻場・干潟の保全・再生等、生物多様性の保全を推進
- ・瀬戸内海を「里海」として再生していくための連携体制を形成
- ・多様な主体の連携による里山の保全を推進
- ・世界ジオパークにおける自然遺産の保護、研究、地域振興
- ・多様な主体との協働による広域的な環境美化・清掃活動を推進
- ・瀬戸内海における海洋環境整備船による浮遊ごみの回収作業など、海洋環境の保全
- ・ラムサール条約湿地における賢明な利用を推進 等



基本戦略5 環境と産業・生活が調和した地域づくり

低炭素・循環型の地域づくり

温室効果ガス削減の一層の推進を目指し、再生可能エネルギー等の導入促進や環境負荷低減のための取組を推進。

〈おかやまスマートタウン構想〉

モデル地域のひとつである西条倉村では、村民からの出資と地元金融機関のファイナンスによって建設協力を進め、太陽光発電所を建設するなどの取組を推進。



▲村民参加型太陽光発電所

〈鳥取県コムシェア実証プロジェクト〉

鳥取県では、EV公用車の率先導入に加え、超小型モビリティの活用やEV・PHVカーシェアリングの導入を進めており、環境性能に優れた超小型モビリティ「コムス」を公用車として導入するとともに、県民とシェアリングを行う全国初の取組である「鳥取県コムシェア実証プロジェクト」を実施。



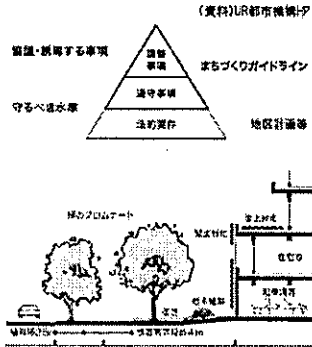
▲コムシェアのステーション
〔資料〕鳥取県・伊

美しい景観の保全整備

地域の魅力向上による地域間の対流促進を目指し、中国圏の特色ある優れた景観の保全・整備や良好な景観の形成を推進。

〈二葉の里地区のまちづくり（広島市）〉

国内外からの来訪者を迎える広島の陸の玄関にふさわしい良好な景観形成が図られるよう、「二葉の里地区まちづくりガイドライン」に基づいた都市空間形成を誘導。



瀬戸内海等の豊かな自然環境の保全・再生

中国圏の有する豊かな自然環境の持続可能な保全・再生を目指し、生物多様性の保全・再生や環境美化を推進

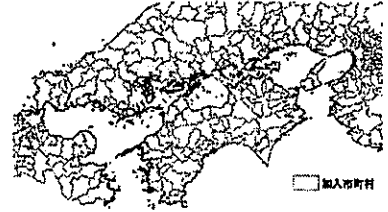
〈「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」による広域的な環境美化〉

瀬戸内海沿岸の107の市町村と11府県が加入する「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」により、美しい瀬戸内を守っていくため、平成5年より継続的に海岸清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」を実施。



▲海浜の清掃活動(三原市)

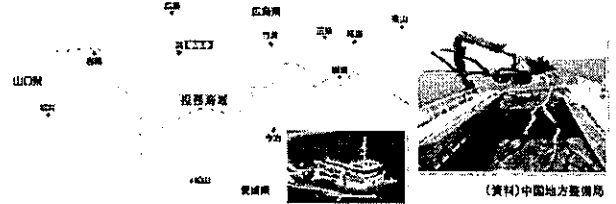
〔資料〕中国地方整備局



加入市町村

〈海洋環境整備船による海洋環境の保全〉

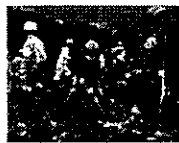
海面清掃船「おんど2000」により、浮遊ごみの回収作業を広域的・定期的を実施。



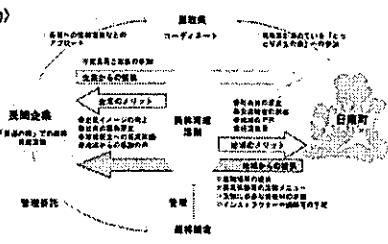
〔資料〕中国地方整備局

〈企業のCSR活動による森林保全活動〉

企業のCSR活動等、多様な主体の連携による森林の保全を推進。



〔資料〕中国地方整備局



▲日南町における企業の森林育成活動の例

※CSR(corporate social responsibility)：企業の社会的責任

基本戦略6 将来の発展を担う人材育成

戦略の考え方

- 地元大学等と産業における協力を一層強化し、ものづくり産業の人材やグローバル人材の育成・確保、地域の経済活動や活性化を支える人材の育成・確保
- 若年層の就業促進、高齢者の就業機会の確保、子育て支援体制づくり、農山漁村での体験学習等、地域で活躍する多様な人材の育成・確保

プロジェクト

■中国圏の人材育成

- ・地域の経済活動を支えるものづくり分野を中心とする人材育成・確保を支援
- ・次世代産業分野における研究開発や新たな産業のイノベーションを担う人材等の育成
- ・中小企業等が海外事業展開をする際に必要となるグローバル人材等の育成
- ・地域住民、NPO等地域の活性化を支える人材育成の推進
- ・中国地方地域おこし協力隊研修会の開催
- ・地域住民、NPO、企業等の多様な主体の連携による社会基盤管理の推進
- ・災害時における応急復旧活動など地域を支える建設業の担い手の育成 等

■若者・女性活躍社会、高齢者参画社会、障がい者参加社会の実現

- ・地域に対する愛着とグローバルな視野を持ち、地域で活躍する人材の養成
- ・若年層の就業促進を図るための就業支援ワンストップサービスの提供等の推進
- ・関係者が連携した子育て支援体制づくりの推進
- ・農山漁村における体験学習を通じた力強い子どもの成長を支える教育活動の推進
- ・女性が安心して活躍できる社会に向けた環境整備
- ・高齢者の就業ニーズに対応した職業訓練等社会参加を促進する環境づくりの推進
- ・障がい者の就労・社会参加促進を図るための就業支援、意識啓発等の推進 等

ものづくり分野の人材育成・確保

イノベーションを担う人材の育成・確保

グローバル人材の育成・確保

地域の活性化を支える人材育成

地域を支える建設業の担い手育成・確保

多様な主体による社会基盤管理の推進

地域づくり活動への参加主体の拡大

若者・女性活躍社会、高齢者参画社会、障がい者参加社会の実現

女性の就業促進

子育て支援体制づくりの推進

若年層の就業促進

高齢者の就業機会の確保

障がい者の就労・社会参加の促進

農山漁村での教育活動の推進

地域で活躍する人材の確保

基本戦略6 将来の発展を担う人材育成

中国圏の人材育成

地域の発展を支える担い手確保により、圏域の持続的な成長・発展を図るため、ものづくり産業や地域づくり活動、社会資本の維持管理などに携わる人材の育成を推進。また、中山間地域における地域づくり等、四国圏とも共通する課題に対応する取組の担い手の育成について、両圏域で連携して推進。

〈コンビナートの製造現場力の強化〉

コンビナートの製造現場力の強化を図るため、(公社)山陽技術振興会が実施する人材育成事業の全国的な拠点として、基礎を身につけたオペレーター、トラブルに的確に対処できる技術者、経営感覚を身につけたマネージャーなどの養成を推進。

コース	養成対象者
安全・安定運転コース(基礎・上級)	化学関連企業、石油精製企業、ファインケミカルズ企業などのオペレーター、保全員など
技術力強化コース	化学関連企業、石油精製企業、ファインケミカルズ企業などの技術系スタッフ、安全管理スタッフ、ペテランオペレーター
リスクマネジメント	化学関連企業、石油精製企業、ファインケミカルズ企業などの技術系スタッフ、工場管理者(部長、課長、工場長など)と経営者
競争力強化マネジメントコース	



(資料)(公社)山陽技術振興会HP

〈社会インフラの清掃活動等への支援〉

鳥取県が管理する道路・河川・海岸・公園等における清掃等のボランティア活動に対し、交付金助成や優秀団体の表彰等の支援を実施。

【支援制度の概要】

傷害保険制度

活動の際、参加者が負傷した場合に最大500万円の保険金を給付。車や歩行者等へ影響が及ぶ事があるため、損害賠償保険も付加。

交付金制度

活動における経費に対し、機材の燃料費や消耗品費などの実費程度を助成

- ◆草刈り
 - 道路等……………100㎡あたり1,500円
 - 河川、海岸等……………1人活動時間あたり200円
- ◆清掃・植樹: 消耗品等の購入費(上限1万円)



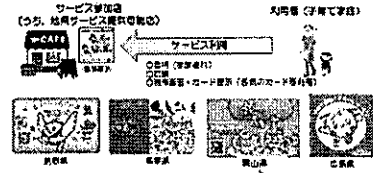
(資料)鳥取県HP

若者・女性活躍社会、高齢者参画社会、障がい者参加社会の実現

地域の雇用力確保を目指し、若年層の地元就職等による定着や女性が社会で活躍できる子育て環境の整備、高齢者や障がい者が活躍・自己実現に努められる支援制度の充実などを推進。

〈子育て支援(サポート事業)〉

中国5県において、子どものいる家庭などに対し、協賛事業所が料金の割引など様々なサービスを提供する制度の相互利用を実施。



〈あいサポート運動〉

あいサポーター

障がいについて、①「その内容や特性」、②「障がいのある方が日常生活で困っていること」、③「ちょっとした手助けや配慮の方法」の三つを知ってもらい、実践していただく方、意欲がある方であれば誰でも可。

あいサポーター研修

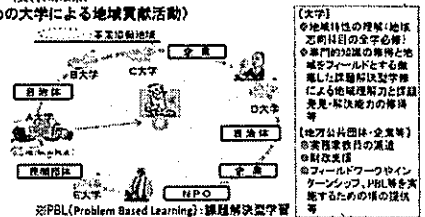
地域や学校、職場などで研修を実施して、あいサポート企業・団体「あいサポーター」を養成。従業員を対象に「あいサポーター研修」等に取り組み企業・団体を認定

自主企業であいサポーター研修を行う企業ボランティア奨励

(資料)鳥取県

〈若年層の地元定着を推進するための大学による地域貢献活動〉

若年層の地元定着を推進するため、中国圏域で5つの大学等が地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(CO-C+)に選定され、自治体や企業との協働による地域の求める人材の育成と地元就職の促進を図る。



〈周南シニア人材マッチングバンク〉

周南コンビナートの企業やNPOなどで構成され、商工会議所や大学と連携し、優れた技術を持つOB人材の活用と、現場企業の新商品開発や経営課題の解決に向けた人材の確保・育成を推進。

(資料)周南シニア人材マッチングバンクHP



関西広域地方計画

(近畿圏広域地方計画)

概要

関西広域地方計画の概要

関西の特徴

- > 歴史が深く息づき、個性的で多様な地域からなる関西
- > 産業等の競争力の集積が進んだ関西
- > 最先端の技術力で我が国を牽引する関西
- > アジアとのつながりが深い関西
- > 人と自然のつながりが深い関西

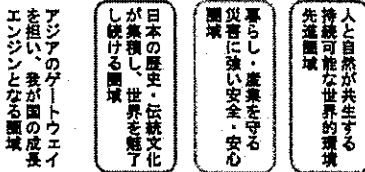
関西を取り巻く現状と課題

- 本格的な人口減少社会の到来と急激な高齢化の進展
 - ・急速かつ未曾有の規模の人口減少と、3人に1人が高齢者となる社会の到来
- 関西の相対的地位の低下と東京一極集中からの脱却
 - ・東京圏との経済規模の格差拡大、若者の流出、インフラ整備の遅れ
- 外国人旅行者の急激な増加
 - ・ポテンシャルを生かして切れぬ関西大都市圏
 - ・道路ネットワークの整備の遅れ、郊外ニュータウンのオーロラタウン化
- 地方都市の活力低下と農山漁村の集落機能の低下
 - ・人口減少と高齢化、農村水産業の低迷、医療・福祉サービスの供給低下
- 関西を脅かす自然災害リスク
 - ・南海トラフ巨大地震や豪雨災害等への対応
- 社会資本の老朽化
 - ・老朽インフラの急増、技術者不足
- 関西を巻き込む大きな社会の潮流文化
 - ・食糧・水・エネルギーの節約、ICTの応用的な進歩

関西の将来像

歴史とイノベーションによるアジアとの対流拠点

快速で豊かに
生き生きと暮らせる圏域



関西の目指す姿

アジアのゲートウェイを担い、我が国の成長エンジンとなる圏域

- ・アジアを中心に世界との活発な経済的・人的交流を通じ、我が国の経済の中核として成長し、スーパーグローバルの一翼を担う
- ・研究開発拠点及び知的交流拠点の連携を進め、次世代産業が健康・医療産業等の分野で次々と生まれる
- ・グローバルニッチ企業等が生まれ成長していく
- ・世界の人々を惹きつける長い歴史・伝統文化を強みとした観光誘客により我が国の成長を牽引する
- ・東京との対峙ではなく、世界を見据えたチャレンジングな成長エンジン
- ・西日本と連携し、日本海・太平洋2面活用の利点を活かしながら、アジアを中心とした世界のゲートウェイとしての地位を築く圏域

日本の歴史・伝統文化が集積し、世界を魅了し続ける圏域

- ・長い歴史と伝統文化を有し、豊かな自然に恵まれている
- ・個性あふれる地域づくりにより、世界の人々を惹きつけてやまない
- ・訪れる全ての方々が地域の魅力を十分に味わうことができる
- ・国際的な文化交流を中心とした、千客万来の観光圏域

快速で豊かに生き生きと暮らせる圏域

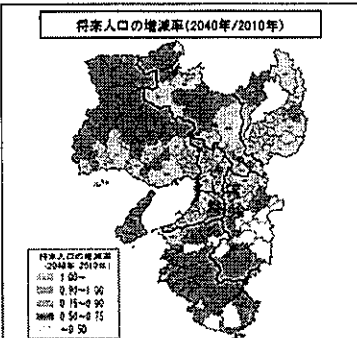
- ・個性豊かな都市がネットワークで結ばれ、多様な機軸を形成する「コンパクト化」と「ネットワーク」づくりを進め、活力と個性あふれる安心して子供を産み育てることができる
- ・都市圏と自然豊かな農山漁村の近接性を活かし、「二地域居住」や「二地域生活・就労」等の多様な生活様式が選択できる
- ・地方都市や「小さな拠点」が連携して、地域の雇用・暮らしが創出され、持続的に生き生きとした生活を営むことができる
- ・どこに住んでも、教育、医療、福祉等の基本的な生活サービスを受け、女性や高齢者など誰もが社会に参画して活躍できる圏域

暮らし・産業を守る災害に強い安全・安心圏域

- ・南海トラフ巨大地震や集中豪雨をはじめとした激化する自然の脅威から人々の生命・財産を守る
- ・社会資本の老朽化対策等が着実に実施され、安全・安心な生活や経済社会活動が営める
- ・首都圏の非常時に首都圏の有する諸機能のバックアップを担う圏域

人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域

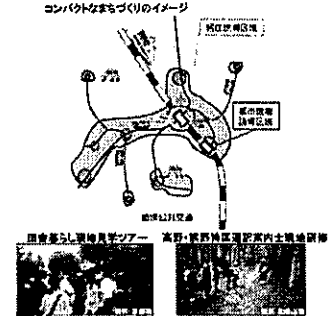
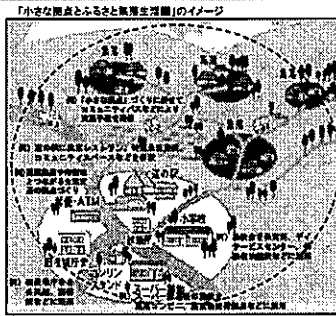
- ・様々な環境対策に圏域全体で取り組む環境先進圏域として、世界に貢献する
- ・健全な水循環の維持又は回復、水文化の継承、多様な生態系の保全・再生に向け、流域を一体的にとらえて環境再生等に取り組む
- ・地域特性や循環資源の性質等に応じて、循環型社会を実現する圏域



関西広域地方計画の概要

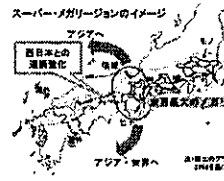
目指す姿を実現するための戦略

- (1) 快適で暮らしやすい都市環境の形成**
 京阪神都市圏では、職住接近等の暮らしやすい可能性を活かし、子育て、健康・医療分野等の充実を図り、誰もが暮らしやすい居住環境を築き、コンパクトネットワークの都市形成、スマートウェルネス住宅・シティの推進 等
- (2) 地方都市の再生**
 広域道路ネットワーク整備等による地方都市間の連携強化、連携中核都市圏等の形成、二地域居住の促進、地域産業の競争力強化、農林漁業の6次産業化 等
- (3) 過疎化する集落の維持・再生**
 地域資源の維持や国土の保全を図るため、交通ネットワーク強化により「小さな拠点」を形成し、生活サービス機能を維持、そこを核として農業・観光等を振興、道の駅や防災・観光等地域拠点として活用、過疎地域と都市との共生・対流や移住の促進 等
- (4) どこにいても基本的な生活サービスが享受できる環境の整備**
 高速道路ネットワークの整備、医療農村や人材確保の連携、ドクターヘリの活用 等
- (5) 地域の担い手を確保する環境づくりの推進**
 ・若者が希望を持って働ける社会、高齢者が活躍できる社会、女性が働きやすい社会の実現 等



アジアのゲートウェイを担い、我が国の成長エンジンとなる圏域

- (1) 成長エンジンとなる新たな産業の創出**
 ・産学官の連携のもとで「知的対流拠点」を形成、「関西圏 国家戦略特区」及び「関西イノベーション国際戦略総合特区」の活用による健康・医療産業等の次世代産業の創出 等
 ・グローバルニッチトップ企業への支援、製品の付加価値化 等
- (2) 国内外のネットワーク機能の強化による対流促進**
 ・スーパー・メガリジョンの一翼を担い、ヒト、モノ、カネ、情報の対流を促進するため、東京都・大阪府を結ぶリニア中央新幹線の東海旅客鉄道株式会社による整備が著実に進められるよう、国、地方公共団体等において必要な連携・協力を行う
 ・既存空港の連携強化、道路のミッシングリンク解消、北陸新幹線を見据えた日本海・太平洋2面活用 等
- (3) イノベーションを支え、創造性豊かな人材を輩出する環境整備**
 ・国内外の優秀な学生・研究者等が強い就業することを支援 等

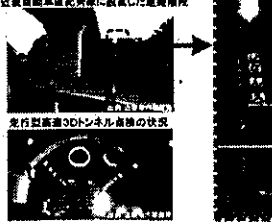


日本の歴史・伝統文化が繁榮し、世界を魅了し続ける圏域

- (1) 歴史・伝統文化の継承・活用**
 と新たな地域資源の発掘
 ・歴史・文化資産や伝統芸能など、日本の歴史・文化を象徴する有形・無形資産の保全・継承、新たな観光資源の発掘、活用 等
- (2) 広域観光・国際観光の推進**
 ・関西広域観光戦略の推進による訪日外国人の関西への来訪増
 ・交通アクセスの改善、多言語案内等による受入環境の整備 等
- (3) アジア・世界への情報発信力の強化**
 ・関西が一体となった情報発信、関西プロモーションの展開 等

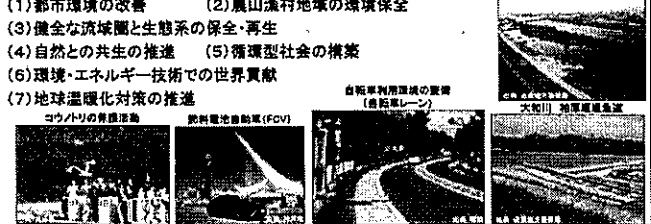
暮らし・産業を守る災害に強い安全・安心圏域

- (1) 南海トラフ巨大地震等への備え**
 ・副都心対策、液状化対策、津波対策、命の道の整備、ハードソフトの防災・減災対策 等
- (2) 災害に強くしなやかな国土の構築**
 ・国土強靱化地域計画による対策推進、激甚化する自然現象に対応した治水対策、防災関係機関が連携した避難訓練の実施 等
- (3) 社会資本の老朽化対策の推進**
- (4) 首都圏の有する諸機能のバックアップ等**
- (5) 日常生活の安全・安心**



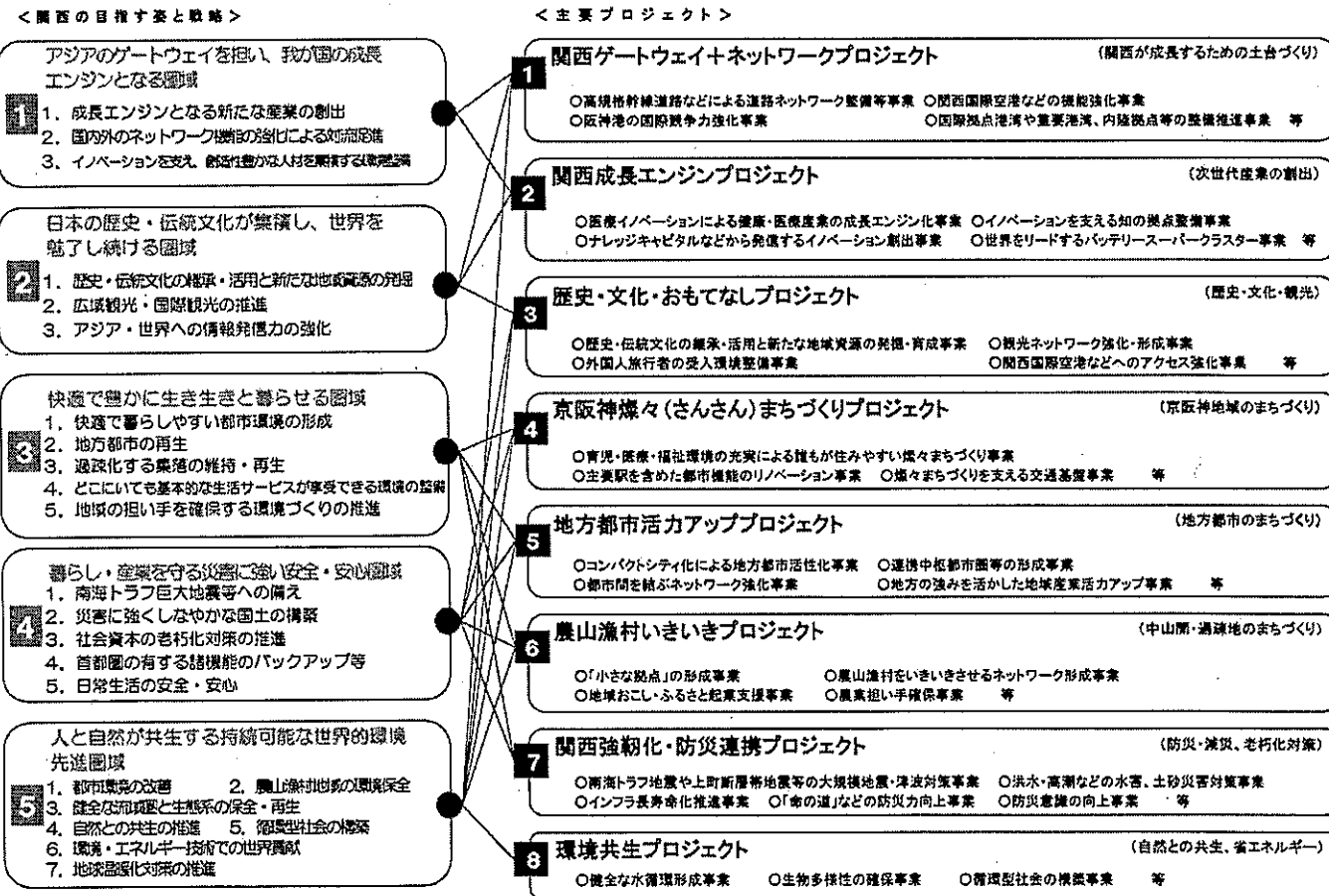
人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域

- (1) 都市環境の改善**
- (2) 農山漁村地域の環境保全**
- (3) 健全な流域圏と生態系の保全・再生**
- (4) 自然との共生の推進**
- (5) 循環型社会の構築**
- (6) 環境・エネルギー技術での世界貢献**
- (7) 地球温暖化対策の推進**



関西広域地方計画の概要

主要プロジェクトの構成

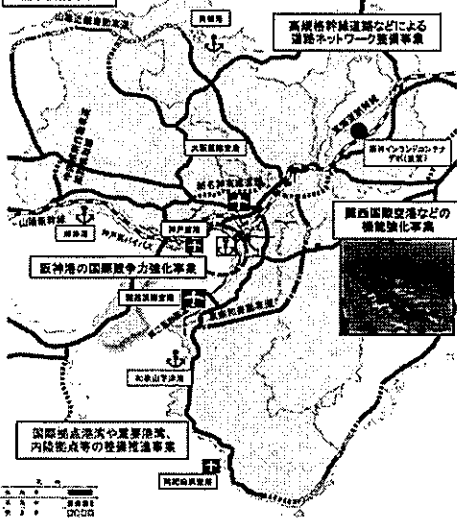


関西広域地方計画の概要

1. 関西ゲートウェイネットワークプロジェクト

- 圏域内外でヒト、モノ、カネ、情報などが円滑に行き交うことを可能とするネットワークの構築
- 災害発生時のリダンダンシーの確保や観光振興のため、港湾・空港等のゲートウェイ機能の強化
- ゲートウェイと関西各地、日本海側から太平洋側、都市・地域さらには他圏域間とを結ぶ交通ネットワーク機能の強化

主な個別事業



高規格幹線道路などによる道路ネットワーク整備事業

経済・産業などの社会活動の基盤となる高規格幹線道路、地域の自立的発展や地域間連携を支える地域高規格道路、大阪圏の交通の渋れを抜本的に改善する大阪都市再生環状道路等の整備を推進し、近畿各地に存在するミッシングリンクを解消。料金体系について議論を進めるなど、高速道路を中心とした「道路を賢く使う取組」を推進

- 【主な事業例】
 ・近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)・中国横断自動車道姫島取越線
 ・京奈和自動車道・高取豊岡西津自動車道(山陰近畿自動車道)・第二阪和国道
 ・大阪都市再生環状道路・神戸西バイパス など



関西国際空港などの機能強化事業

新たな航空需要の拡大に対応するターミナル機能の強化や国内外とのネットワークの充実、国際物流拠点化等の取組を促進。関西国際空港や阪神港などのゲートウェイと京阪神地域や観光拠点等とのアクセス強化を図る道路、鉄道、港湾、空港の整備を推進

- 【主な事業例】
 ・関西国際空港新ターミナルビル(T3)建設・なにわ筋線の調査・検討の推進 など



阪神港の国際競争力強化事業

【主な事業例】
 ・「真貨」、「創貨」、「競争力強化」に向けた取組推進
 ・コンテナターミナルの機能強化
 ・「国際物流戦略チーム」などによる総合的・戦略的な各種物流施策の展開 など

国際コンテナ船港湾への「真貨」

国際コンテナ船港湾への「真貨」
 ・国際コンテナ船港湾の活性化を促進するための取組
 ・国際コンテナ船港湾の活性化を促進するための取組
 ・国際コンテナ船港湾の活性化を促進するための取組

国際コンテナ船港湾への「創貨」

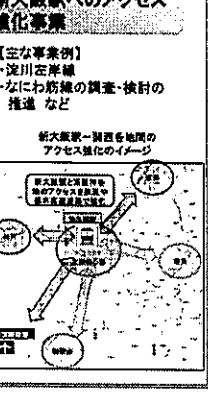
国際コンテナ船港湾への「創貨」
 ・国際コンテナ船港湾の活性化を促進するための取組
 ・国際コンテナ船港湾の活性化を促進するための取組
 ・国際コンテナ船港湾の活性化を促進するための取組

国際コンテナ船港湾への「競争力強化」

国際コンテナ船港湾への「競争力強化」
 ・国際コンテナ船港湾の活性化を促進するための取組
 ・国際コンテナ船港湾の活性化を促進するための取組
 ・国際コンテナ船港湾の活性化を促進するための取組

新大阪駅へのアクセス強化事業

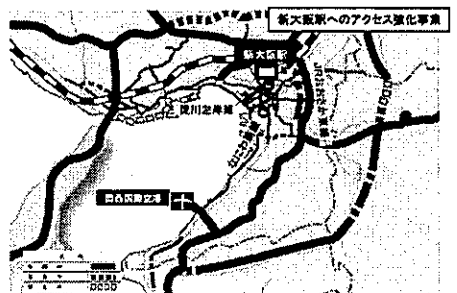
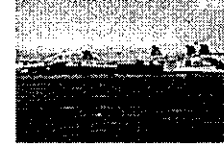
【主な事業例】
 ・淀川沿岸線
 ・なにわ筋線の調査・検討の推進 など



国際拠点港湾や重要港湾、内陸拠点等の整備推進事業

【主な事業例】
 ・国際物流ターミナルの整備(堺東北港、姫路港、和歌山下津港等)
 ・内陸コンテナターミナル(遊覧船)等を活用した海上コンテナの往復利用(ラウンドユース)の推進
 ・フェリーターミナル整備(大阪港、真鍋港等)など

フェリーターミナル(大阪港)

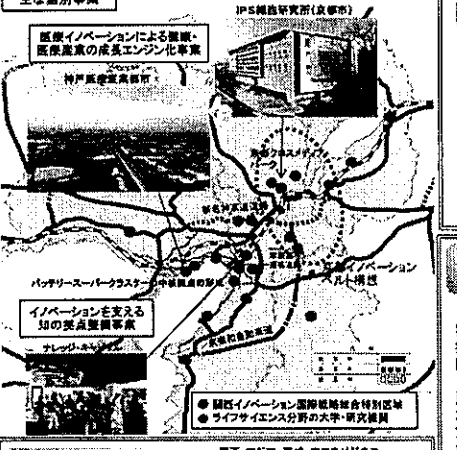


関西広域地方計画の概要

2. 関西成長エンジンプロジェクト

- 古くから関西に根付き、知的分野を含めて業種がなされている健康・医療産業やものづくり技術を活かしたバッテリー産業等のイノベーションを創出
- 京阪神地域に集積する「国家戦略特別区域」や「関西イノベーション国際戦略総合特区」の各拠点間の交流・連携の促進、高度人材の確保・育成
- 新しい分野のイノベーションの創出に向けた、うめきたナレッジ・キャピタルの取組やベンチャー企業への各種支援

主な個別事業

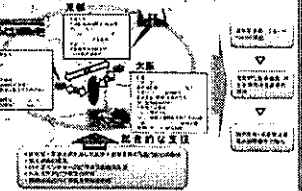


医療イノベーションによる健康・医療産業の成長エンジン化事業

医療イノベーション拠点(北大阪バイオクラスター、神戸医療産業都市、京都市内地区等)において、健康・医療分野の機能強化を推進するとともに、拠点間の交流・連携や、医薬品開発や先端医療技術の確立について、産学官が連携して推進。医療・健康産業の拡大を促進

- 【主な事業例】
 ・放射光とスーパーコンピュータによるシミュレーション技術を組み合わせた革新的な創薬開発の実施
 ・イメージング技術を活用した創薬の高効率化・再生医療・細胞治療等の早期実用化
 ・PMDA関西支部の機能強化の整備及び治験センター機能の創設
 ・高品質の血小版を大量生産する研究開発
 ・医療・介護・健康分野のデジタル化・ICT化の基盤を構築 など

関西のイノベーション拠点連携・連携



イノベーションを支える知的拠点整備事業

優れた大学、研究機関、企業、支援機関等が集積した「産学クラスター」が密接に連携するための拠点整備や産学クラスター間のネットワーク強化を図る道路整備を推進

ナレッジ・キャピタルを強化・発展させ、我が国の成長エンジンとなる世界をリードする「イノベーション」の拠点形成。将来的には、関西文化学術研究都市と筑波研究学園都市や出雲の大学、研究機関等との連携を強化し、知的対流(ナレッジ・リンク)の形成を目指す

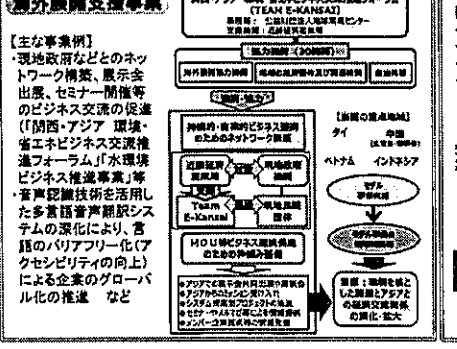
- 【主な事業例】
 ・近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)
 ・京奈和自動車道・学研都市連絡道路
 ・京都イノベーションベルト構想の促進
 ・うめきたナレッジ・キャピタルの強化・発展と周辺都市高架の整備 など

ナレッジキャピタルなどから湧き出るイノベーション創出事業

オープンデータ・ビッグデータの利活用を促進し、新産業・新サービスの創出を支援。関西の研究開発拠点において生み出された技術成果や研究シーズ、アイデア等が、うめきた地区などにおいて産学官の多様な主体と「出会い」「真分野融合し、新しいイノベーション創出や新製品開発、新規ベンチャー企業創出等につながるよう、効果的なマッチング機会の提供や資金調達等を支援

- 【主な事業例】
 ・大阪オープンイノベーションハブ
 ・ナレッジキャピタル事業 など

中堅・中小企業の海外展開支援事業



世界をリードするバッテリースーパークラスター事業

世界唯一の「バッテリークラスター」関西の地位の確立を目指す

- 【主な事業例】
 ・バッテリーの需要創出と新たな用途の開拓
 ・国際標準化・認証に向けた環境整備 など

高度な知的人材確保事業

【主な事業例】
 ・研究開発拠点における知的創造拠点整備
 ・留学生の増加と関西への就職支援
 ・関西への本社機能の移転促進 など

文化産業振興事業

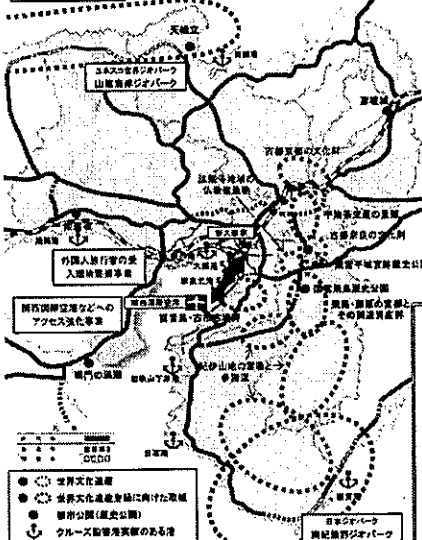
【主な事業例】
 ・京都フロスマディアパークの利活用推進 など

関西広域地方計画の概要

3. 歴史・文化・おもてなしプロジェクト

- 豊富で個性豊かな文化資産を保全・創出・継承し、地域住民の誇りと愛着を育み、地域資源としての価値と魅力の維持・向上を担う人材を育成
- 世界の人々を魅了する広域観光ルートの形成、観光拠点の受入環境整備やアクセス強化の推進、国際的イベントを契機とした情報発信力の向上
- MICEの誘致や、インフラツーリズムなどのニューツーリズムの創出・普及

主な個別事業



歴史・伝統文化の継承・活用と新たな地域資源の創出・育成事業

【主な事業例】

- 歴史的価値が高い建造物の保全や無償性化など良好な景観形成を推進
- 歴史資産の保存・活用に関する都市公園の整備(四宮飛鳥・平城宮跡歴史公園等)
- 世界遺産登録などに向けた取組の推進(「彦根城」)
- 飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群、「百舌鳥・古市古墳群」等
- ニューツーリズムの創出・普及推進(山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク、南紀熊野ジオパーク等) など

ニューツーリズムの創出 (ジオツーリズム・山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク)

無償性化による景観形成(京都府)

外国人旅行者の受入環境整備事業

【主な事業例】

- 観光地における交通・観光施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化、多言語案内表示、多言語音声誘導技術の活用、統一交通バスの創設、Wi-Fi環境の整備
- 広域観光を実現する道路整備
- 広域観光の拠点などにおける大型バスターミナルや駐車場、宿泊施設の整備推進
- 既存の貨物ふ頭を活用などによる大型クルーズ船受入環境の整備 など

クルーズ船の受入環境整備

観光ネットワークの強化・形成事業

【主な事業例】

- 京都・大阪から近畿の北部、南部への呼び込みを目指す「美の伝説」のほか、「せとうち・海の道」、「異国道」などの広域観光ルートの形成促進
- 広域観光周遊ルートを形成する道路整備
- 鳥取県東部及び兵庫県北信西郡における「異境を越えた日本一の海岸・山歩回廊づくり」などの取組により、日本版DMO創設に向けた基盤づくり

広域観光周遊ルート「美の伝説」

異境を越えた日本一の海岸・山歩回廊づくり

注) 送達地方整備局作成

国際スポーツイベントなどを活用した交通・観光等促進事業

【主な事業例】

- 「はなやか関西」海外テレビ番組事業
- 海外メディアや旅行会社等を活用した情報発信
- アジア諸国の総領事館と連携した情報発信
- 新たなMICE施設の整備、MICEの誘致強化

ラグビーワールドカップ2019
2020年東京オリンピックパラリンピック競技大会
関西ワールドマスターズゲームズ2021

関西国際空港などへのアクセス強化事業

関西国際空港等へのゲートウェイと京阪神地域や観光拠点とのアクセス強化を図る道路や鉄道等の整備等を推進

京阪神地域や観光拠点とのアクセス強化

【主な事業例】

- なわが街の調査・検討の推進 など

関西広域地方計画の概要

4. 京阪神緑々(さくさん)まちづくりプロジェクト

- 京都市、大阪市、堺市及び神戸市を中心とした多核構造を有し、職住が近接した都市構造であるという圏域の特性を活かし、子育て、健康・医療分野等を充実させるとともに、市民が連携し、質の高い公共空間を創出し、都市において誰もが快適に暮らしやすい都市環境や居住環境を形成

主な個別事業



育児・医療・福祉環境の充実による誰もが住みやすい緑々まちづくり事業

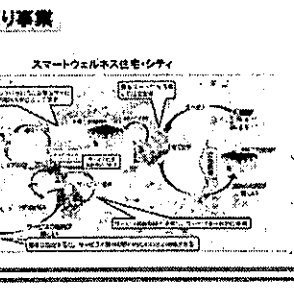
公共交通の利便性向上に向けた取組の推進、及び街なかにおいて、子育て世代や高齢者等が生活しやすい環境を実現するため、活気のあるコンパクトなまちづくりを推進

女性が活躍できるよう、働きやすく働きながら安心して子育てを産み育てられる社会、また高齢者等がいそいそと暮らせる社会づくりを促進

【主な事業例】

- JRおおさか東線などの鉄道路線の整備
- 子育て世帯や高齢者等向け住宅の整備、コミュニティ施設確保、医療・介護や子育て支援施設等の立地
- 職場・保育施設等の近接し、地域で子育てを支えるまちづくり
- 医療・介護分野にICT技術を活用し、超高齢社会への対応を促進 など

スマートウェルネス住宅(イメージ)



主要駅を含めた都市機能のリノベーション事業

【主な事業例】

- 京都駅、大阪駅、三宮駅等、関西を代表する交通結節点である駅の再整備、及び駅周辺を含めた地域さらに都市再生緊急整備地域において、土地利用規制の緩和、道路の上下空間利用のための規制緩和等
- バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化など、交通結節点の改善による乗り降り円滑化
- 歩車分離や自転車道の設置、連続立体交差による踏切除去など、安全・安心で快適な歩行空間の整備
- 都市公園の整備、都市緑化の推進、無償性化の推進による良好な景観の形成、既成市街地や商業市街地の整備改善等による快適で安全な都市環境や居住空間の形成 など



ニュータウンの再生・活性化事業

高度成長期に整備された各地のニュータウンにおいて、地域の活性化や高齢社会を見据えたまちづくりを推進

【主な事業例】

- 東北ニュータウンの再生
- 近畿大学医学部等の移転を契機とした東北ニュータウンの活性化 など

東北ニュータウンの再生(イメージ)

緑々まちづくりを支える交通基盤事業

大阪ベイエリア地域と内陸部の交流・連携の強化を図り、大阪圏の交通の流れを技術的に支える道路整備の推進

大阪から姫路に至る臨海部の交通負荷を軽減し、交通渋滞の緩和、沿道環境の改善など交通問題の緩和、阪神圏との連携強化を目的とした道路整備の推進

【主な事業例】

- 大阪都市再生環境道路(大和川線、淀川左岸線等)
- 神戸バイパス など

京阪神まちづくり魅力向上事業

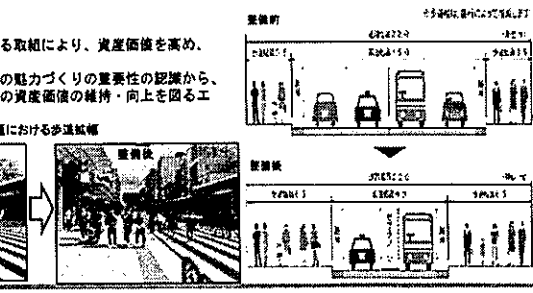
関西三大都市それぞれの地域特性や実態による取組により、資産価値を高め、魅力ある都市形成を図る

活力に富む地域を持続させていくための地域の魅力づくりの重要性の認識から、官民一体となって地域全体の魅力を高め、地域の資産価値の維持・向上を図るエリアマネジメントの取組を促進

【主な事業例】

- 京都市「歩まち・京都」(四条通整備事業等)
- 大阪市「水と光のまちづくり推進事業」(大阪・光の重要支那)
- 神戸市「神戸ルミナリエ」

四街道における歩道整備



関西広域地方計画の概要

5 地方都市活カアプロジェクト

- 都市機能や居住機能を鉄道駅などの各地域の拠点に誘導し、公共交通を中心とした交通ネットワークの強化を図りつつ地域の特色に応じた地場産業の活性化などに取り組み、「コンパクトネットワーク」の都市を形成
- 府県を越えた広域道路ネットワークを構築し、連携中核都市圏等の形成を始めとした地方都市間の連携等を図り、地方都市の活力を維持・向上

コンパクトシティ化による地方都市活性化事業

まちの拠点となるエリアにおいて地域に必要な都市機能の整備・維持を支援し、中心拠点・生活拠点の形成を推進することにより地域の活性化を行い、多様な主体が参加する仕組みづくり等によるエリアマネジメントに取り組み、コンパクトシティの形成を図る

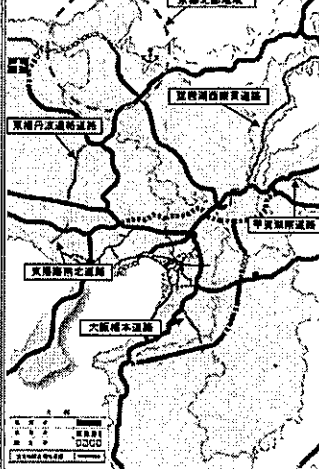
【主な事業例】

- ・まちの拠点となるエリアにおいて地域に必要な都市機能の整備・維持への支援
- ・公共施設の整備等による中心市街地の活性化(和歌山県新宮市)の構築など

コンパクトシティのイメージ



主な個別事業



ドクターヘリの活用・充実

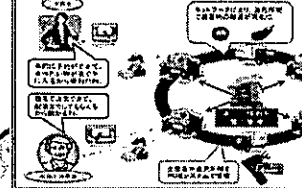
ドクターヘリの活用による「30分以内での救急搬送体制」の構築

地方の強みを活かした地域産業活力アップ事業

ICTやロボット技術を活用した地場産業の製品の高付加価値化、新商品の開発、地域産業の集積、国内外への販路拡大等の支援を推進

【主な事業例】

- ・ICTやロボット技術を活用したスマートアグリを導入
- ・農林水産業の6次産業化等による高付加価値の商品開発等の支援
- ・「道の駅」や「みたとオアシス」を核とした地域産業の取組
- ・ICTを活用した販売所のネットワーク化のイメージ



連携中核都市圏等の形成事業

複数の地方都市等がネットワークの強化等により連携することによって、より広域的な経済生活圏を形成し、活力ある社会経済を維持する連携中核都市圏等の形成を図る

【主な事業例】

- ・連携中核都市や定住自立等のまちづくりなど

都市圏を越えるネットワーク強化事業

府県や地域間を越えた道路ネットワークの構築等により、地方都市間の連携強化や京阪神都市圏などのネットワーク強化を図る

【主な事業例】

- ・大阪環状線
- ・甲賀湖南道路
- ・琵琶湖西縦貫道路
- ・東播磨南道路
- ・東播磨北道路
- ・スマートICの整備など

誰もがいきいきと住み続けられる地方のまちづくり事業

学校のICT環境の整備、学習・教育クラウドプラットフォームの活用によるいつでもどこでも学べる教育の場の提供

【主な事業例】

- ・ICT活用型研究開発を進める人材の育成・支援
- ・健康増進に資するまちづくりや環境整備、地域で子育てを支援するまちづくり
- ・「白きぐらし・ふるさとセンター」等による移住移住者への情報提供 など



関西広域地方計画の概要

6 農山漁村いきいきプロジェクト

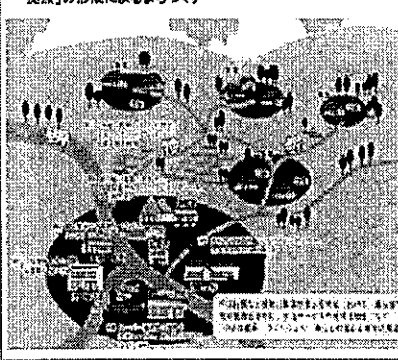
- 中山間地域を始めとする農山漁村において、生活サービス機能を提供できる「小さな拠点」を形成し、日常生活に必要な公共交通などを確保することで地域資源の維持や国土の保全を図る
- 地域居住などを通じた都市と農山漁村の共生・対流を促進し、都市圏からの移住・定住を促進することにより、持続可能な地域社会を構築

「小さな拠点」の形成事業

「道の駅」登録と施設等の集積性を活かした生活と交流の拠点づくりとして、地域の高齢化に対し、多様な住民サービスをワンストップで提供するとともに、周辺の集積から、コミュニティバスによるアクセスを確保し、地域を支える「小さな拠点」として整備

【主な事業例】

- ・「小さな拠点」を核とした農業・観光等の地域産業の振興
- ・サテライト・オフィスやテレワークセンターの整備による「ふるさとテレワーク」の環境の構築
- ・「道の駅 美山ふれあい広場」のような「道の駅」を活用した「小さな拠点」の形成によるまちづくり



主な個別事業

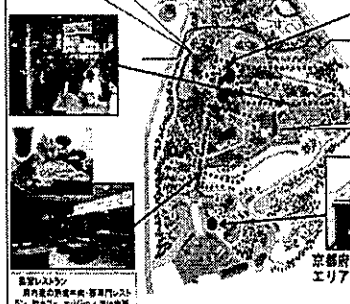


地域おこしふるさと産業支援事業

農林漁業の6次産業化の取組推進と担い手の育成・確保

【主な事業例】

- ・「道の駅 丹後王国「食のみやこ」」での「丹後・食の王国」構想と運動した「丹後の食」の取組の推進
- ・「美交市 中山間農業改革特区」における農業の構造改革、新たな農業モデルの構築 など



いきいきと暮らす農山漁村促進事業

「小さな拠点」を核とした農業・観光等の地域産業の振興

【主な事業例】

- ・丘陵整備による農地の土地利用高機能(京都府亀岡中部地域)
- ・農業水利施設の更新・再編(兵庫県東播磨地域、兵庫県東平野等)
- ・移住・定住希望者が行旅的に居住できる仕組みづくり
- ・空き家、農家等を活用した就業研究施設などの整備
- ・就業と住居をパッケージ化した総合支援プランの策定
- ・「元気なうらの田舎暮らし」の促進など

農山漁村をいきいきさせるネットワーク形成事業

府県や地域間を越えた道路ネットワークの構築等により、地方都市間の連携強化や京阪神都市圏などのネットワーク強化を図る

【主な事業例】

- ・五條新宮道路等の幹線道路や生活道路の整備
- ・コミュニティバス等の公共交通機関の充実

農業担い手確保事業

農林水産業の担い手を確保するため、多様な農業の担い手の育成・確保を図るとともに、女性が活躍できる環境整備を促進

【主な事業例】

- ・農業の担い手の育成・確保を図る取組
- ・農業女性活躍支援事業による女性が活躍できる環境整備 など

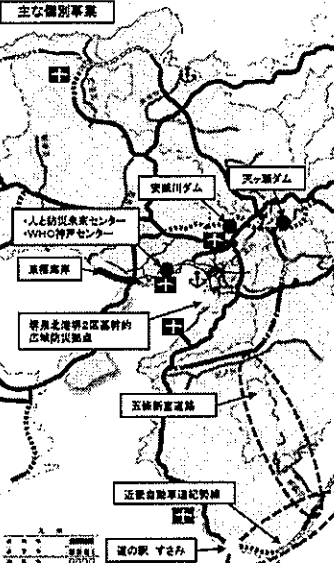
関西広域地方計画の概要

7. 関西強靱化・防災連携プロジェクト

○南海トラフ巨大地震や集中豪雨を始めとした自然の猛威に対し、人々の生命・財産や産業等に与える被害を軽減するため、ハード・ソフトの適切な組合せによる防災・減災対策を推進
 ○日々進行するインフラの老朽化への対策として、インフラ長寿命化計画を策定し、点検・診断・補修・更新を計画的・効率的に行う

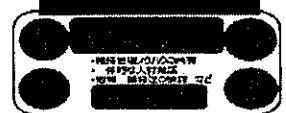
南海トラフ地震や上町断層等地震等の大規模地震・津波対策事業

- 【主な事業例】**
- 河川・海岸保全施設等の耐震化、液状化対策
 - 緊急輸送道路の橋梁や下水道施設の耐震化
 - 土砂災害対策や防災公園、津波避難施設の整備
 - 密集市街地対策、無電柱化、住宅・建築物の耐震化
 - 防波堤や海岸防衛、堤防施設等の整備
 - 地下街などの津波浸水対策施設の整備
 - 避難路・避難施設の整備、津波避難ビルの指定
 - 緊急支援物資輸送に関する広域連携体制の構築 など



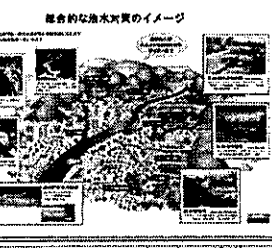
インフラ長寿命化推進事業

- 【主な事業例】**
- インフラ長寿命化基本計画・行動計画や公共施設等総合管理計画等の策定
 - インフラの「メンテナンスサイクル」の構築
 - ICTを活用したインフラの効率的・効果的な維持管理
 - 「近畿社会資本メンテナンス等連絡会議」など関係機関の連携・協力による適切な維持管理
 - インフラの老朽化の現状や課題についての地域住民へのわかりやすい広報、啓発 など



洪水・高潮などの水害、土砂災害対策事業

- 洪水・土砂災害、高潮等に備え、河川改修、ダム建設、砂防関係施設、海岸保全施設等の整備を推進
- 【主な事業例】**
- 新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、由良川水系等における流下能力向上対策、堤防強化対策
 - 天ヶ瀬ダム再開発、川上ダム、安威川ダム等の事業推進
 - 淀川水系、大和川水系における高規格堤防の整備
 - 淀川水系種名川流域や大和川水系大和川中上流域等における、治水対策と流域対策が一体となった総合的な治水対策
 - 由良川流域（福知山市）における床上浸水対策
 - 大甲山系、紀伊山地等における砂防堤防などの整備
 - 東播磨海岸における海岸保全施設の整備
 - 国営林及び民有林の治山事業 など



「命の道」などの防災方向上事業

- 災害時に「命の道」となる紀伊半島のアンカールートや近畿自動車道紀勢線や五條新幹線道路等の整備を推進し、緊急物資の集積拠点となる港湾の太平洋側・日本海側2面活用を見据えた機軸強化により、応急復旧対策のための多量性、代替性を備えた輸送ルート確保
- 【主な事業例】**
- 近畿自動車道紀勢線や五條新幹線道路等の整備
 - 緊急物資の集積拠点となる港湾の機能強化
 - 緊急輸送道路等の避難路沿道建築物や緊急輸送道路上の橋梁、鉄道施設の耐震化、耐震強化岸壁の整備、道路斜面や崖土等の防災対策及び道路閉塞を回避するための無電柱化の推進
 - 避難空地、区域防止に有効な道路、都市公園・広場の整備
 - 堺東北港堺2区基幹的広域防災拠点の機能強化 など



防災技術・ノウハウでの世界貢献事業

- 防災分野の技術力が高く、ノウハウが蓄積している関西において、関連施設の視察ツアーや技術研修、防災研究、専門人材の育成等により、世界の防災に貢献
- 【主な事業例】**
- 海外の政府、経済界や技術者を対象とした関連施設などの視察ツアーや技術研修の実施
 - 人と防災未来センターやWHO神戸センター（世界保健機関健康危機緊急総会研究センター）等で構成される「DRA（国際防災・人道支援協議会）」における取組の推進 など

防災意識の向上事業

- 南海トラフ地震などの大規模災害に備え、迅速な初期対応に災害対応力強化を図るため、自衛隊、海上保安庁等と連携した救助活動などの訓練を実施
- 【主な事業例】**
- 企業、大学、自治体等へのBCP策定支援
 - 各種ハザードマップの作成及び周知の促進
 - 堺東北港堺2区基幹的広域防災拠点での救護物資輸送や人命救助等の訓練実施による災害対応力強化
 - 防災意識の向上を図る啓発活動の推進 など



首都圏の有する備蓄品のバックアップ事業

- 【主な事業例】**
- 首都圏が大規模な被害を受けた場合にバックアップを担えるような社会基盤の充実
 - 東京に本社がある民間企業等に対して、本社などのバックアップ機能を関西で確保するよう支援

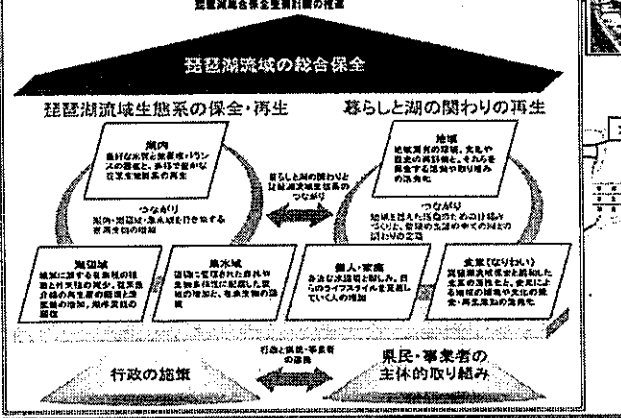
関西広域地方計画の概要

8. 環境共生プロジェクト

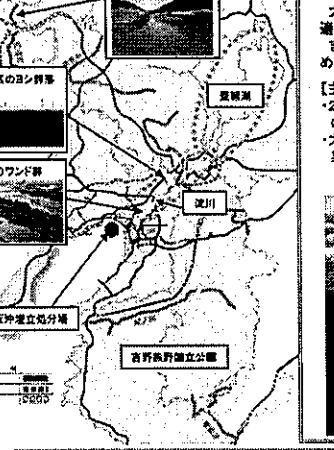
○将来にわたり保全すべき自然環境や優れた自然条件を有している地域を核として、自然環境の保全・再生を進め、健全な水循環の維持または回復に努め、生物多様性の確保の取組を推進することにより、人と自然の共生を図る
 ○エネルギー資源の需要の急増や気候変動による災害の激甚化等に対応するため、再生可能エネルギーの活用、資源の循環使用、温室効果ガス排出削減等の取組を推進し、先進的な低炭素社会を構築

健全な水循環形成事業

- 「琵琶湖総合保全整備計画（マザーレイク21計画）に基づく琵琶湖の総合保全策」や「琵琶湖の保全及び再生に関する法律に基づく取組」などの取組により、国民的資産である琵琶湖を健全で恵み豊かな湖として保全及び再生を図るとともに、歴史・文化を活かした自然と共生する流域圏・都市圏の再生を実現し、健全な姿で次世代に継承するため、琵琶湖・淀川流域圏の再生計画を推進
- 【主な事業例】**
- 「琵琶湖総合保全整備計画」や「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」の推進
 - 「琵琶湖の保全及び再生に関する法律に基づく取組」の推進
 - 紀の川水系や大和川水系などにおける水環境改善
 - 大阪湾再生行動計画（第二期）の推進、「リフレッシュ瀬戸内」活動の推進 など

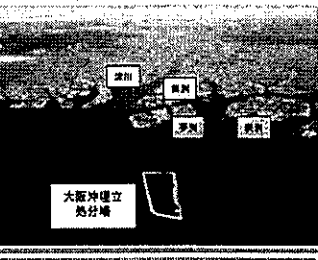


主要個別事業



循環型社会の構築事業

- 大阪湾圏の広域処理対象区域から発生する廃棄物を適正に処理し、大阪湾圏の生活環境の保全を図る。また、「3R（Reduce・Reuse・Recycle）」に関する理解を深め、持続可能な「循環型社会」の実現を目指した取組を促進
- 【主な事業例】**
- 2R（Reduce・Reuse）の取組がより進む経済社会システムの構築に向けた取組
 - 大阪湾圏の広域処理対象区域（2府4県）から発生する産業廃棄物や一般廃棄物の適正処理に向けた取組の推進



生物多様性の確保事業

- 【主な事業例】**
- 淀川水系淀川のワンド群や流域地区の良好なヨシ群落の保全・再生
 - 円山川における湿地環境の再生
 - 関西の流域圏における生態系ネットワークの形成や河川の自然再生
 - 国営林内の保護林等の保全、吉野熊野国立公園の管理・運営
 - 聖地山などにおける生物の生育・繁殖環境の保全・再生
 - 琵琶湖に学ぶ小学生交流航海事業等による生物多様性の啓発 など

世界に貢献する省エネルギー・CO2削減事業

- 【主な事業例】**
- 兵庫県企業庁のメガソーラープロジェクトによる再生可能エネルギーの普及拡大と保有資産の有効活用
 - 水素エネルギーの製造、貯蔵・輸送についての技術開発や低コスト化の推進
 - FCVの普及に向けた水素ステーションの整備
 - 教習型メタンハイドレードの資源最適化に向けた調査
 - 自転車利用の促進、都市緑化の推進、カーボンオフセットの取組推進、モーダルシフトの推進等、CO2削減と環境意識の向上を図る取組の促進 など



関西広域地方計画の概要

計画の効果的推進

- 本計画の着実な実行に向けては、地域特性を踏まえた重点的かつ効率的な国土基盤の投資が重要
- このため、国と地方、官と民の多様な主体との協働・連携はもとより、隣接地域の広域地方計画や、国土利用に関する各計画、各自治体の総合計画、近畿ブロックにおける社会資本整備重点計画などの緊密な連携を図る
- プロジェクトの進捗状況の確認や評価、見直しを行うことで、計画を効率的、効果的に実現する

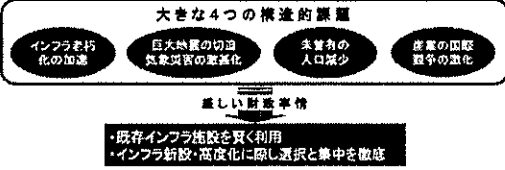
投資の重点化・効率化

・社会資本整備の推進にあたっては、災害に強いインフラの構築や長寿命化対策を実施し、安全・安心な社会の向上を目指しながら、厳しい財政制約の下、インフラのストック効果が最大限に発揮されるよう、既存施設を賢く使う取組を推進

・インフラの新設や高度化にあたっては選択と集中を徹底し、投資の効率化を図る

・地域の個性を活かした自主性のある構想、かつ中長期的な目指す姿を踏まえた時間軸と空間軸を有する地域づくりの取組に重点をおいた支援

・若者、女性、高齢者、障がい者等、多様な人材がお互いに支え合う社会に資する取組に重点をおいて投資

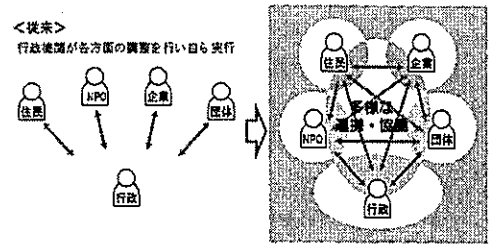


多様な主体の参加と連携・協働

・厳しい財政制約の下、インフラのストック効果が最大限に発揮されるよう、既存施設を賢く使う取組を推進

・国・府県・市町村間の適切な役割分担に加え、官と民の適切な役割分担の下に、近畿圏広域地方計画協議会の構成員をはじめ関係機関が十分に連携・協働し、3部制に據けるプロジェクトを軸に施策の展開・具体化や事業を推進。その際、地域づくりを担う多様な主体との協働・連携にも留意

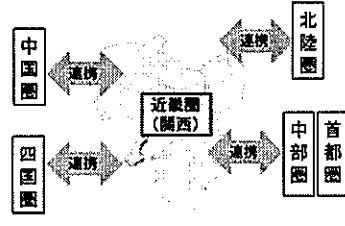
・多様な主体が連携・協働する形態としては、関係機関相互間の協定締結や協議会等広域連携組織の設置等様々なものが考えられ、こうした多様な連携・協働の形態の中から最も適切かつ効果的な体制を選択できるような留意



隣接地域との連携

・圏域の発展を支える高規格幹線道路ネットワーク整備や高速鉄道、港湾施設整備等の社会基盤整備を連携して推進

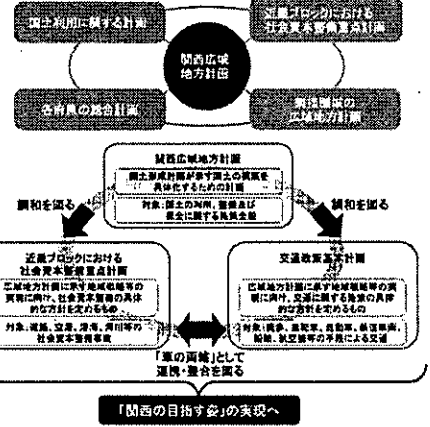
・観光・防災・医療分野等における隣接圏域との連携施策については、円滑な連携が図られるよう、圏域間での連絡・調整・意見交換を行う会議を定期的に開催する等により、効果・効率的に計画期間内での連携施策を推進



他の計画・施策との連携

・本計画を効果的に実施するため、隣接地域の広域地方計画はもとより、国土利用に関する計画や各府県の総合計画を始めとする各種中長期計画との整合を図り、連携を強化する

・特に、社会資本整備重点計画に基づき策定する「近畿ブロックにおける社会資本整備重点計画」及び「交通政策基本計画」(平成27年2月13日閣議決定)とは、調和を図りながら「関西の目指す姿」を実現していくものとする



計画の進捗状況の把握

・本計画を推進し、その評価・見直しを効率的かつ効果的に実施していくため、プロジェクトの進捗管理に資するモニタリング指標に基づき、本計画のモニタリングを適切に行う

・具体的には、近畿圏広域地方計画協議会構成員の連携の下、毎年度、各プロジェクトの進捗状況を検証するとともに、その推進に向けた課題への対応等について十分な検討を行う。その結果を踏まえ、プロジェクトを始めとした本計画のより一層の推進を図る

・関西におけるモニタリングの結果や全国計画に係る政策評価の結果等に応じ、個々の施策・プロジェクトや本計画の見直しを行うなど必要な措置を講じる

生涯活躍のまちモデルプランの最終報告について

平成28年4月21日
とっとり暮らし支援課

平成28年3月25日（金）に開催した、南部町及び湯梨浜町の第3回検討会において、モデルプランの最終報告を取りまとめました。

このモデルプランをもとに、本年度は両町において各施設の整備に向けた基本計画・設計、移住希望者の呼び込みの本格化に取り組む予定です。

1 両町の生涯活躍のまち（CCRC）について

（1）南部町CCRCモデルプランのポイント 資料1

- ・地域が必要とする人材（例：英会話講師、ハンター、飲食店経営者）を呼び込み、アクティブシニアや若者など多世代が交流するまちづくりを目指す。
- ・町役場周辺（法勝寺エリア）においてシニア向け住宅やコミュニティ拠点を整備し、アクティブシニアや若者の交流の場を作る。
- ・医療と介護の連携により、認知症の予防や介護度の軽減など健康のまちづくりに取り組む。
- ・平成27年12月に立ち上げたまちづくり会社を事業主体とする。

《参考》取りまとめまでの検討会開催状況

平成27年 7月30日 第1回検討会

同年11月27日 第2回検討会 → 中間報告取りまとめ

平成28年 3月25日 第3回検討会 → 最終報告案について了承

（2）湯梨浜町CCRCモデルプランのポイント 資料2

- ・地域が必要とする人材（例：和菓子職人、保育士、婚活業務の経験者）を呼び込み、アクティブシニアや若者など多世代が交流するまちづくりを目指す。
- ・コミュニティ拠点やシニア向け住宅の整備の候補地は、松崎駅付近や、東郷湖畔のホテル跡地等を検討中である。
- ・鳥取看護大学や鳥取短期大学と連携する（例：まちの保健室、アクティブシニアの大学利用）。
- ・医療と介護の連携により、介護予防や健康づくりのリーダーを養成して医療に頼らない地域を目指す。
- ・今後、事業主体となるまちづくり会社を立ち上げる。

《参考》取りまとめまでの検討会開催状況

平成27年 8月20日 第1回検討会

同年12月28日 第2回検討会 → 中間報告取りまとめ

平成28年 3月25日 第3回検討会 → 最終報告案について了承

2 今後の取組

今後は、両町が地方創生加速化交付金も活用しながら、

- ・コミュニティ拠点やシニア向け住宅の整備基本計画・設計
- ・空き家の活用による住まいやお試し住宅の提供
- ・東京の「生涯活躍のまち移住促進センター」を通じて移住希望者を呼び込むことによる地域とのマッチング、お試し移住ツアーの実施

等を進め、平成31年度からのコミュニティ拠点やシニア向け住宅の本格的な運営開始を目指す。



移住促進モデルプラン

南部町で 里山くらし

最終報告

1. 南部町 生涯活躍のまち構想の基本コンセプト

南部町の人口は昭和60年(1985年)をピークに緩やかに減少しており、人口減少問題に対峙する中で、新たな人の流れを生み出す手段のひとつとして「生涯活躍のまち」への取り組みが有効であると考え、平成27年8月から検討を進め、モデルプランにまとめた。

このモデルプランは、南部町の地域特性を生かし、都市圏に住むアクティブシニアが自らの希望に応じて移住し、地域の仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加し、多世代と交流しながら継続的なケア体制を確保することで、移住・交流を一層促進し、地域の活性化を図ろうとするものである。

南部町の地域特性や地方創生に関する取り組み、日本版CCRC有識者会議の「生涯活躍のまち」構想(最終報告)を踏まえ、都市圏での情報発信とニーズ調査、受け入れ側の協力体制づくり、事業形態、運営体制の検討等を行い、事業化による人口減少対策や地域経済の活性化等への効果等を反映した法勝寺エリアをはじめとする事業化に向けた基本計画を策定する。

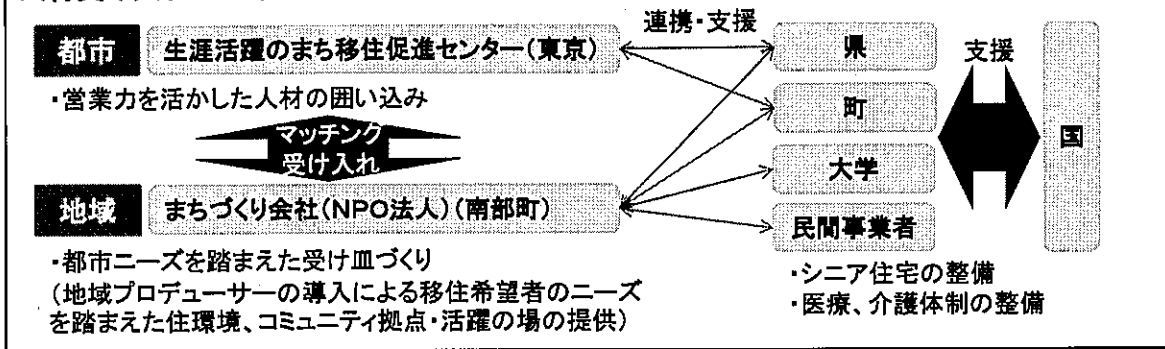
南部町 生涯活躍のまち構想の概要

基本的な考え方

東京圏をはじめとする地域の高齢者等に対し、その方の経験や人脈を活かせる活躍フィールドを提供するとともに、必要な医療・介護を継続的に受けられる体制を整備することにより、南部町への移住を促進し、地域の課題を解決するための人材の誘致につなげる。これにより、移住者だけでなく地元住民にとっても暮らしやすいまちづくりを進める。

- ①従来の高齢者施設等は要介護状態になってからの入所、入居が通例であるが、「生涯活躍のまち」構想では高齢者は健康な段階から移住し、地域の仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加する「主体的な存在」であることを想定している。
- ②さまざまな地域ニーズに対応した人材を幅広く誘致する必要があることや、特定の年齢に偏らず、幅広い年齢構成とすることが、安定的かつ持続的な地域づくりにつながることから、若年層等の移住希望者を排除せず、また、大都市圏以外の近隣地域からの移住も可能とする。
- ③人材誘致にあたっては、地域課題を解決するために必要な人材のニーズを地域振興協議会等を通じて把握し、それに見合った人材を優先的に誘致することとする。

人材受け入れのスキーム



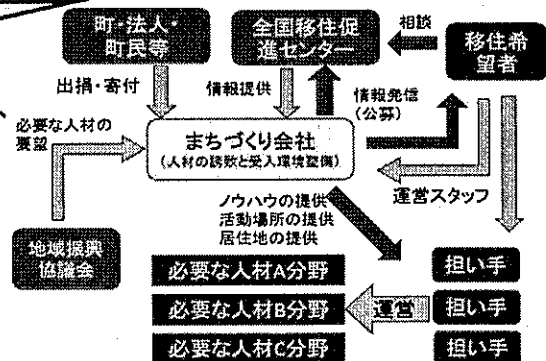
総合戦略を踏まえた必要な人材(例)

- ・NPOの担い手…大山町「築き会」の取組を参考に移住者のまちづくりへの参画を促進したい。
- ・英会話教室講師…町内に塾が少なく、教育環境を向上させたい。
- ・ハンター…鳥獣被害対策の担い手を確保したい。
- ・飲食店経営者、特産品開発者…町に滞在した観光客に金を落としてもらう術を生み出したい。
- ・保健師、鍼灸マッサージ・アロマ等統合医療の担い手…振興協議会毎に「まちの保健室」を開設し、きめ細かい健康管理等を実施したい。
- ・サークル活動のリーダー…生涯現役社会づくりを進めていきたい。
- ・運動指導員…スポnetの活動を拡大し、指導人材を確保したい。
- ・経営・販路開拓のエキスパート…道の駅構想があることから、経営者として活躍していただきたい。
- ・IT環境を活かした情報発信の担い手、起業家を育成できる人材…上り速度の速い超高速通信網が整備されており、起業・情報発信に最適。
- ・作家・画家等教育文化関係者 など

人材を呼び込むためにまちづくり会社を設立するとともに、空き家の実態調査等受入環境づくりを進める。


<まちづくり会社の概要>

- 役割
 - 人材の誘致、受入環境整備
 - 住まいの確保・提供
 - 活躍の場(ハコ)の提供 など
- 活動内容
 - ①CCRC運営事業、②ふるさと納税事業、
 - ③職業紹介事業、④里山デザイン大学



例:学習塾・IT起業家・レストラン・民宿・芸術家・ハンターなど

「福祉の町」、南部町を一緒に盛り上げましょう。



南部町長 坂本昭文

本町では、「住民の自己決定によるまちづくり」「地域で出来ることは地域で」を目標に、「住民主体のまちづくり」を進めてきました。

そして、このたび新たに「まちづくり会社」を立ち上げ、移住者の方の経験や技術を活用して、住民主体のまちづくりをさらに推し進めていくこととしました。

本町は「福祉のまち」として全国的に知られており、移住者に必要な福祉、医療、介護、コミュニティが充実しております。

ぜひ、移住を検討されている皆様がこれまで蓄積されてきた経験や技術で、本町の「まちづくり」に活かし、一緒に地域を盛り上げていきましょう。

南部町版 CCRC
生涯活躍のまち

**求ム！
経験豊かな元気シニア。**

作家
画家

IT系情報
発信の担い手

鍼灸・アロマ等
統合医療の
担い手

経営・販路
開拓の
エキスパート

飲食店
経営者

英会話教室
講師

サークル活動の
リーダー

公 募
ノウハウ、活動場所、
居住地の提供

**まちづくり
会社設立**

出 資

地域経済
協議会

ハンター

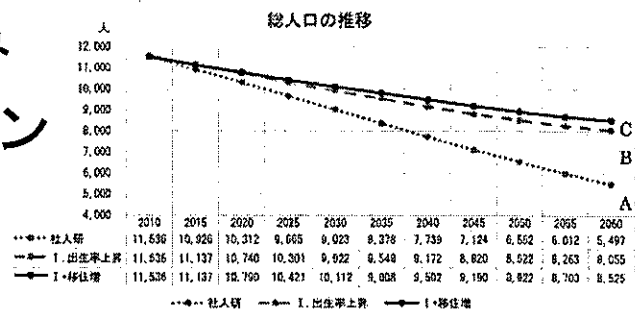
町(ふるさと納税等)/法人/クラウドファンディング

目指す姿：多世代が交流する持続可能なまちづくり

①人口減少の取り組み

出生率向上・UJIターン

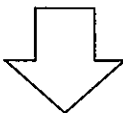
※家は南部町にある若い世代に
戻ってきてもらう



②町の支援制度の充実

※病児保育無料・高校生通学費半額補助等・入学金等の優遇策検討

目標



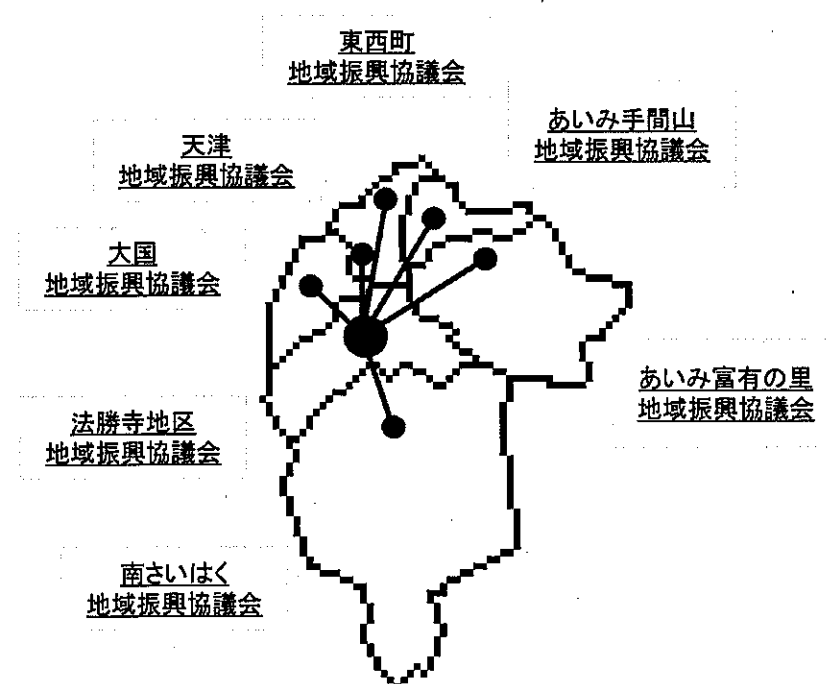
空き家を手頃な価格で若い世代に提供
拠点「法勝寺」などに多世代用住宅の提供

(1) 計画を通じた目標

- ① 町外からの転入者数: 5年間で200人(拠点「法勝寺」に70人)の増加
- ② 新たに雇用された人数: サ高住施設等において15人程度
- ③ 起業件数: 5年間で5件程度

(2) 対象区域

法勝寺地区を中心に南部町全域を対象区域とする
(拠点<法勝寺周辺>と各エリアをネットワーク化)



(3) 計画期間

○平成27年度～31年度の5年間の計画期間とする。

○地域側では、まちづくり会社に「地域プロデューサー」を導入する。

都市側では「生涯活躍のまち移住促進センター」の営業力を活用する。

双方でのマーケティング活動を通じたマッチングを進めながら、「生涯活躍のまち」を並行して整備し、移住者を確保する。

項目	H27	H28	H29	H30	H31
計画策定	モデルプラン策定				
人材確保(都市圏)	生涯活躍のまち移住促進センターでの営業活動				
まちづくり会社	設立	運営			
住まいの確保	空き家調査	空き家バンクの整備・改修・提供			
拠点整備	機能の検討	設計・旧施設解体工事	建設工事	運営	
医療・介護体制の整備	検討、順次体制整備				

2. 構想の実現に向けて具体的に取り組むべき事項

(1) 移住支援に関する取り組み

○生涯活躍のまち移住促進センターへの出展により、都市ニーズを把握する。

○移住専用ホームページの開設や地域PRにより、地域ニーズを把握する。

(2) 住宅(拠点)整備に関する取り組み(住環境)

○空き家活用を軸とする。

・空き家の実態調査を、平成27年度に集中的に実施する。(年度内に町内全棟終了)

○空き家の掘り起こしで追いつかない場合、シニア住宅の整備等も並行して検討を進める。

(2) 住宅(拠点)整備に関する取り組み(コミュニティ機能、活躍の場づくり)

○コミュニティ拠点は、有力候補地として法勝寺の公民館さいはく分館界隈を想定する。

・町が必要とする人材の活躍の場(英会話教室、パン屋等)をコミュニティ拠点に埋め込むことも視野。

○シニア向け住宅は、旧法勝寺高校跡地(民有地)またはプラザ西伯向かいの町有地の活用を視野。

○シニア向け住宅近隣の空き家を活用し、シニア+若者の活躍の場を設け、多世代交流の場とする。

○町内7つの地域振興協議会単位にも拠点を設け、中心となる法勝寺地区との間でのネットワーク化を進める。(まずは大国(おおくに)、天津(あまつ)、天萬(てんまん)地区から取り掛かる。)

(3) 社会的活動に関する取り組み

○地域振興協議会やNPOなどの活動、自治会レベルでの活発な活動が行われる。

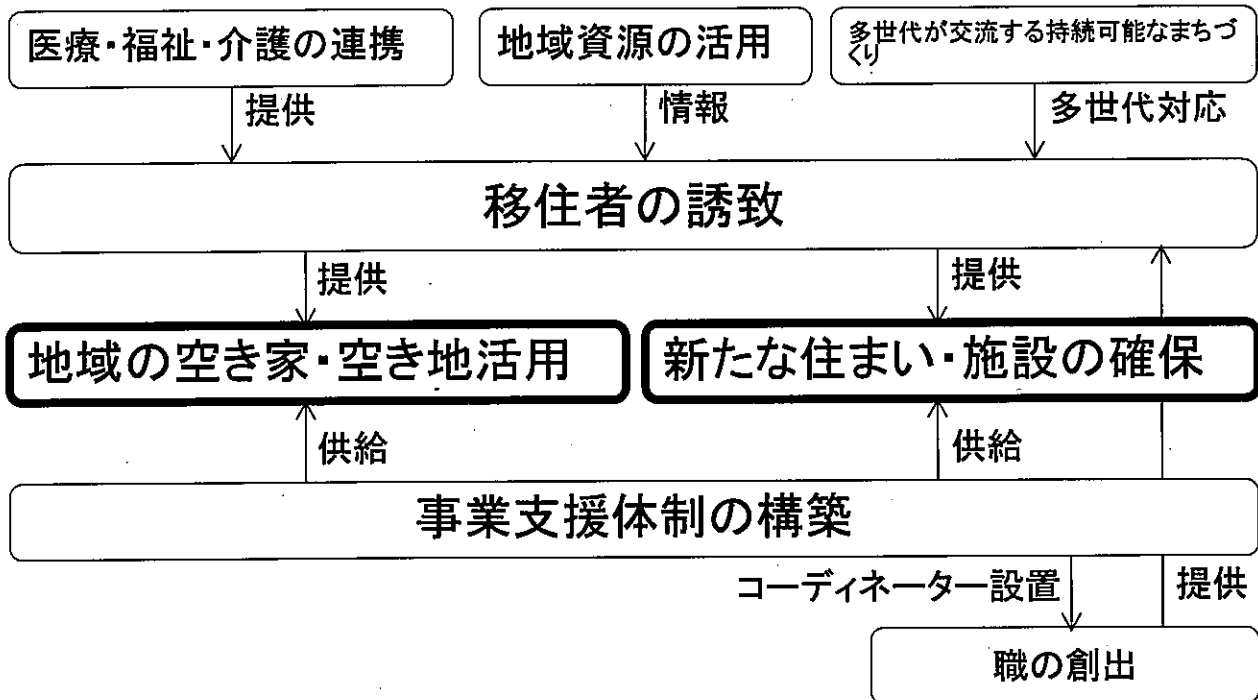
(地域物産によって里山の豊かな地域性を見る化)

○まちづくり会社に職のコーディネーターを設置

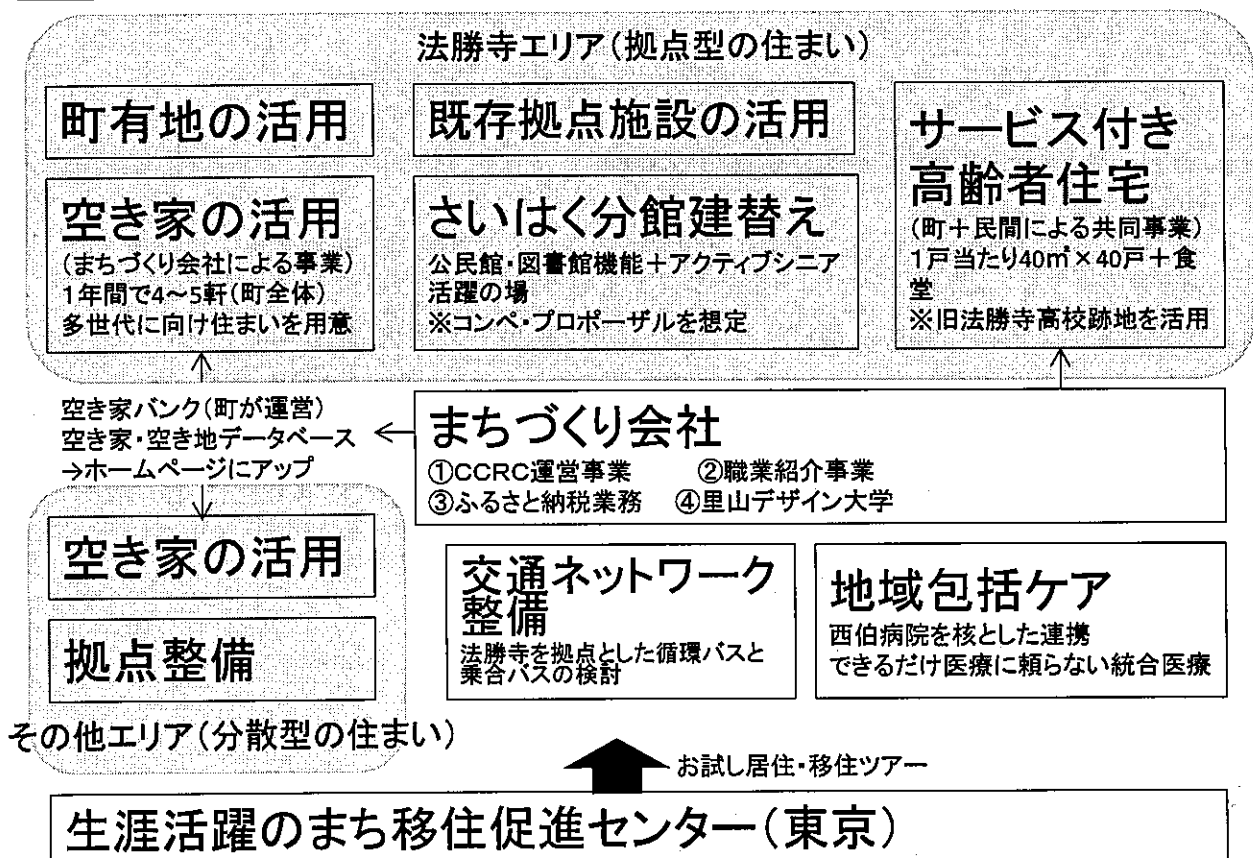
(4) 医療介護に関する取り組み

○地域包括ケアの取り組み推進に向けて、まずは統合医療をきっかけに検討を進める。

生涯活躍のまち構想の構成要素



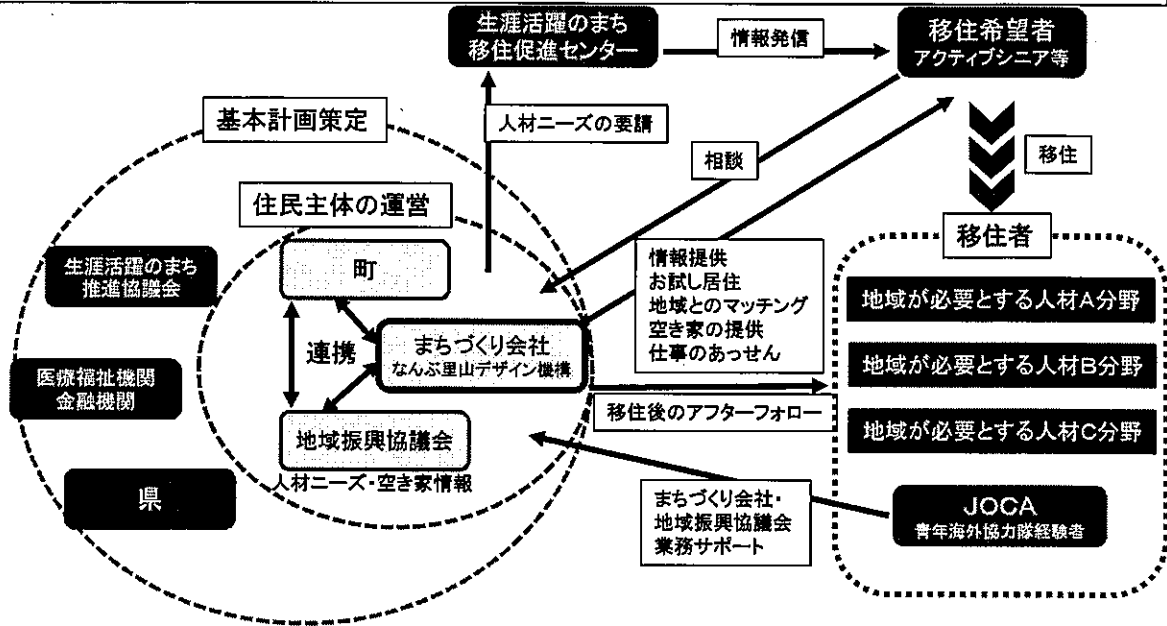
構想の実現イメージ



構想の実現に向けて

南部町版CCRC構想の実現に向けて、以下の施策を行う。

- ◆ CCRCの拠点エリアの基本計画づくり
- ◆ 運営を行うまちづくり会社への事業支援
- ◆ 里山を活用した幅広い学びの場を提供する里山デザイン大学などによる里山の魅力発信と継続的なケアの仕組みづくり



組織名	主な役割
町	CCRC基本計画策定 お試し住宅整備 空き家バンク整備・改修費補助 里山資源を活かした魅力づくり 継続的ケア確保のための体制整備 移住者を含め多世代が交流するコミュニティ拠点整備の検討 まちづくり会社への財政的支援
まちづくり会社 NPO法人なんぶ里山デザイン機構 ※CCRC事業主体となる	CCRC基本計画策定参画 移住者事前相談 お試し居住の提供 地域とのマッチング 空き家の改修・提供 仕事のあっせん 移住後の移住者のサポート 里山デザイン大学の運営
地域振興協議会	CCRC基本計画策定参画 地域が必要とする人材ニーズの提供 空き家情報の提供 移住者の受け入れ支援
生涯活躍のまち推進協議会 鳥取県 医療福祉機関 金融機関	CCRC基本計画策定参画
生涯活躍のまち移住促進センター	大都市圏での情報発信・人材の囲い込み
公益社団法人 青年海外協力協会(JOCA)	青年海外協力隊経験者の派遣調整 まちづくり会社・地域振興協議会のサポート

(1) 移住支援に関する取り組み

① 移住希望者への支援

➡ マッチングやお試し居住などの支援を行う。

② 入居者の健康状態

➡ 健康な段階からの入居が基本。

③ 入居者の年齢

➡ 早めの住み替えや、入居する地域での活躍を念頭に、50代以上のアクティブシニアを中心とした幅広い年齢構成とすることが望ましい。

(移住者、地元住民問わず、多世代交流のまちをつくる)

移住者の誘致

① 東京・八重洲に移住促進センターの開設

お試し「移住ツアー」 → 移住へつなげる

※お試し用住宅の用意

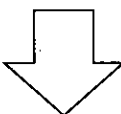
※共催・参加など既存のブランド力を積極的に活用

2015.11.26「ロングステイフェア2015」におけるブース出展とセミナー開催など

② 移住専用ホームページの開設

JOIN・地元不動産・宅建協会とのリンクを図る

移住者目標



5年間で200人(IJターン100/Uターン100)
拠点「法勝寺」に70人(若い人30/シニア40)

(2)住宅(拠点)整備に関する取り組み

①地域社会(多世代)交流・協働

➡ 高齢者が地域社会に溶け込み、多世代と交流・協働できる環境を整備

②自立した生活ができる居住空間

➡ 共同生活と個人生活のバランスに配慮し、安心して自立した生活が送れる居住環境を提供

③生活全般のコーディネート(運営推進機能)

➡ 「地域交流拠点」を整備し、入居者の生活全般を支えるコーディネーターを配置

新たな住まい・施設の確保(拠点型の住まい)

①法勝寺周辺整備+他4拠点(大国・天津・天萬・賀野) さいはく分館建替え(+図書館)と周辺遊休地の活用

※その他、まごころ市・観光協会・しあわせ・内科医・西伯小・すみれ子ども園・法勝寺川桜土手・プラザ西伯を活用した拠点整備

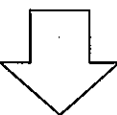
※プラザ西伯前の町有地又は旧法勝寺高校跡地(民有地)を拠点として活用することを

視野に、近隣の空き家も活用し、シニア+若者の活躍の場を設け、エリア一帯を多世代交流の場として位置付ける。

②法勝寺の拠点を活かした交通ネットワーク整備

路線バス(法勝寺まで)+ふれあいバス(循環バス)+デマンドバス・タクシー等の検討

拠点整備の目標



拠点の核となる複合的なさいはく分館建替えを目指す

プラザ西伯前町有地又は法勝寺高校跡地に高齢者住宅+α機能を検討する

コーディネートをまちづくり会社(株)で実現検討

地域の空き家・空き地活用(分散型の住まい)

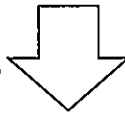
①空き家バンクの立ち上げ(町が運営)

空き家・空き地のデータベース → ホームページにアップ
※振興協議会の全棟調査 → 利用可能な空き家の把握

②空き家改修供給

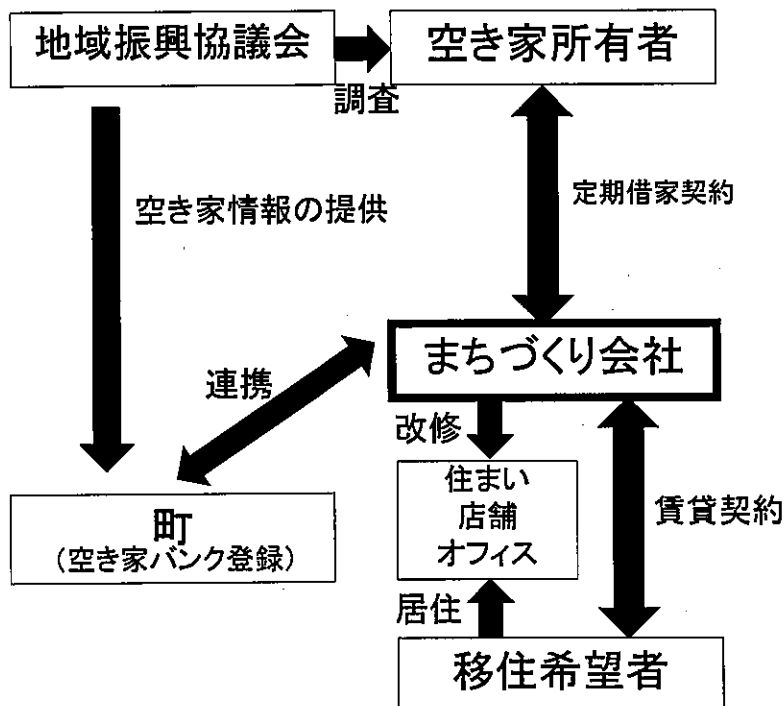
まちづくり会社の事業として進める

改修軒数目標



年間で4～5軒の空き家改修供給

まちづくり会社による空き家改修供給の進め方

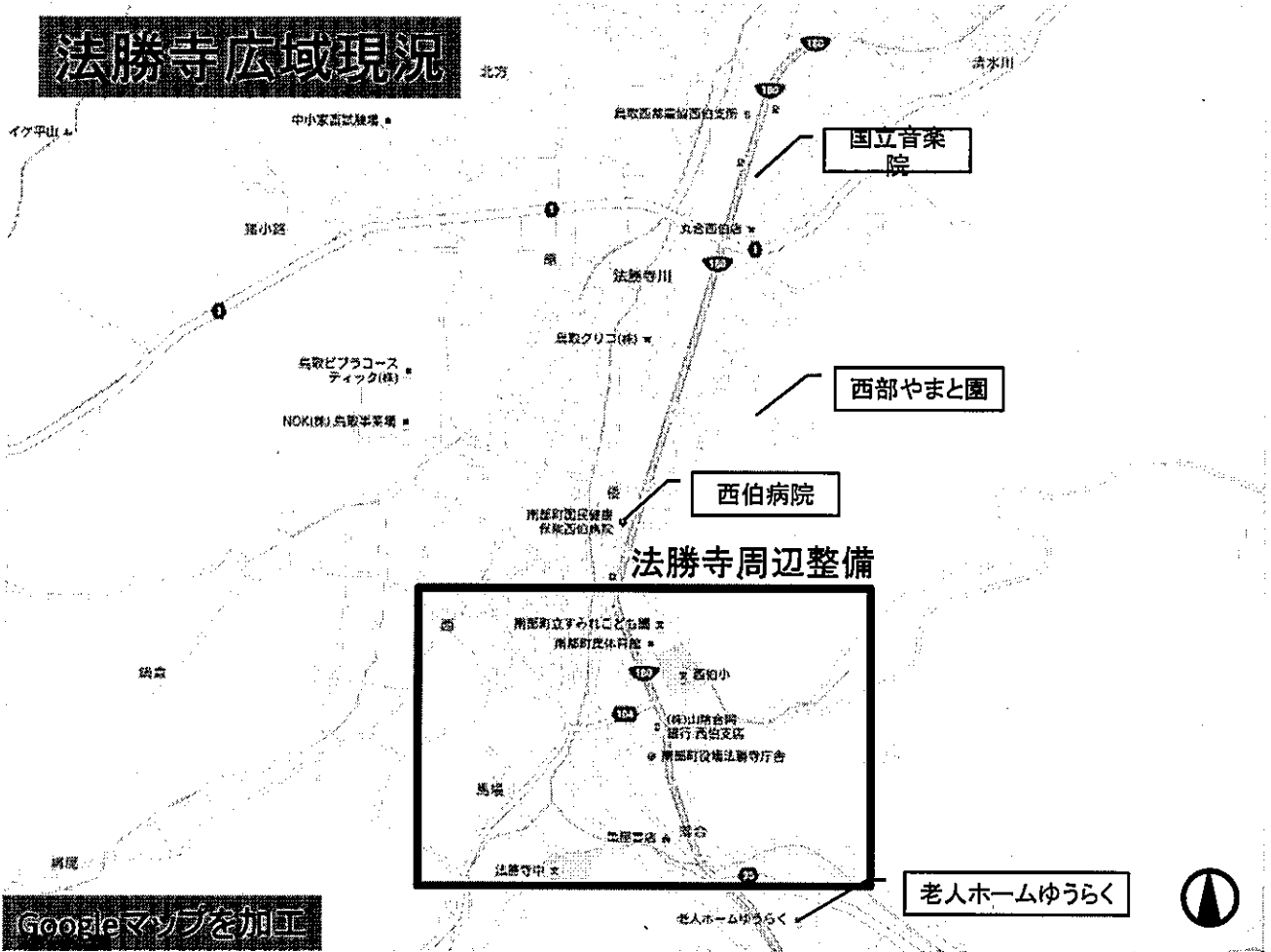


まちづくり会社は、空き家バンクから空き家情報を収集し、以下の業務を行う。

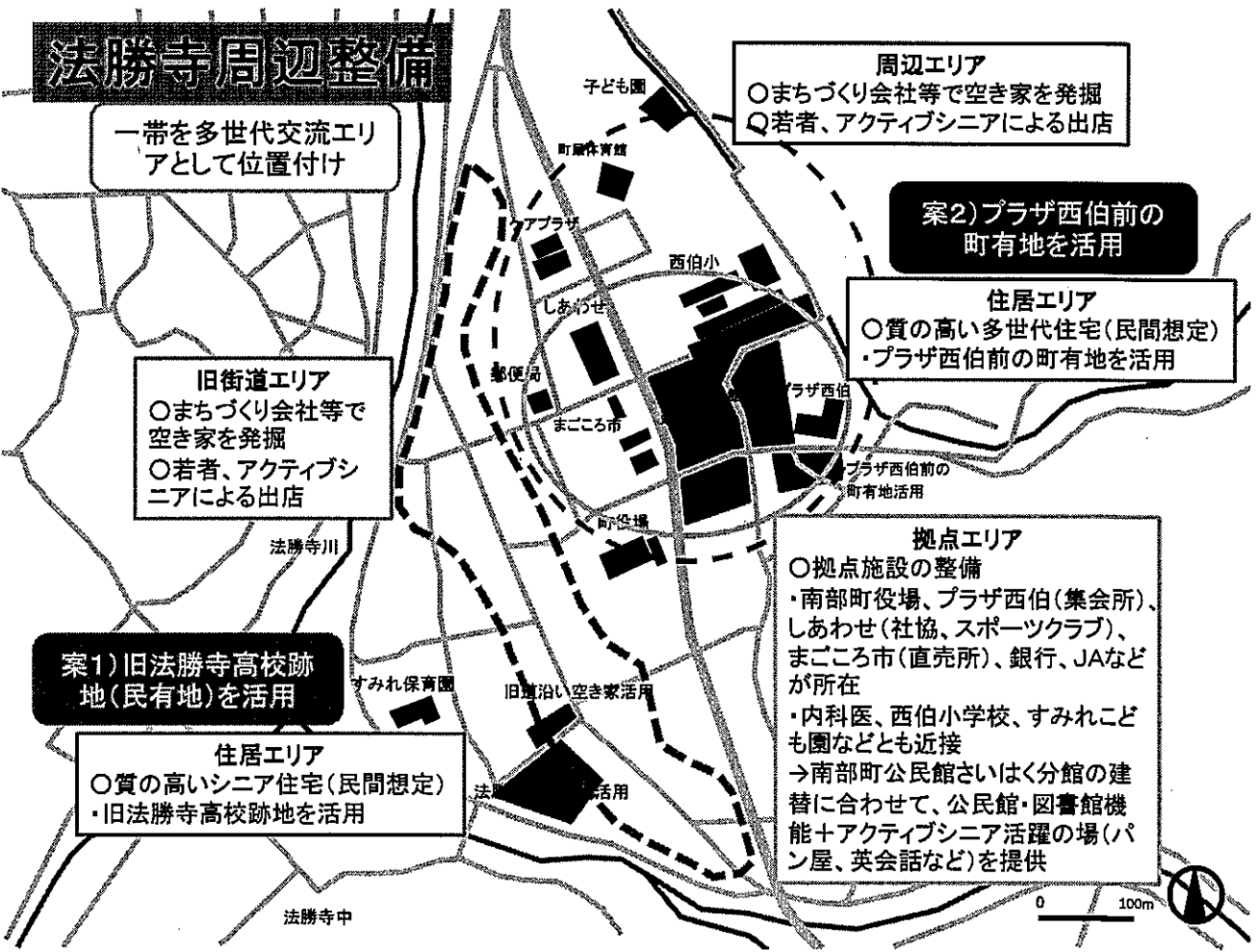
- ①定期借家契約を結び物件を確保する。
- ②住まい、店舗、オフィス等目的別に改修を行う。
- ③入居希望者の公募を行い賃貸契約を結ぶ。

※公募にあたっては、地域振興協議会の要望を踏まえ、地域課題を解決するために必要な人材を優先的に誘致する。

法勝寺広域現況



法勝寺周辺整備



一帯を多世代交流エリアとして位置付け

周辺エリア
 ○まちづくり会社等で空き家を発掘
 ♪若者、アクティブシニアによる出店

案2) プラザ西伯前の町有地を活用

住居エリア
 ○質の高い多世代住宅(民間想定)
 ・プラザ西伯前の町有地を活用

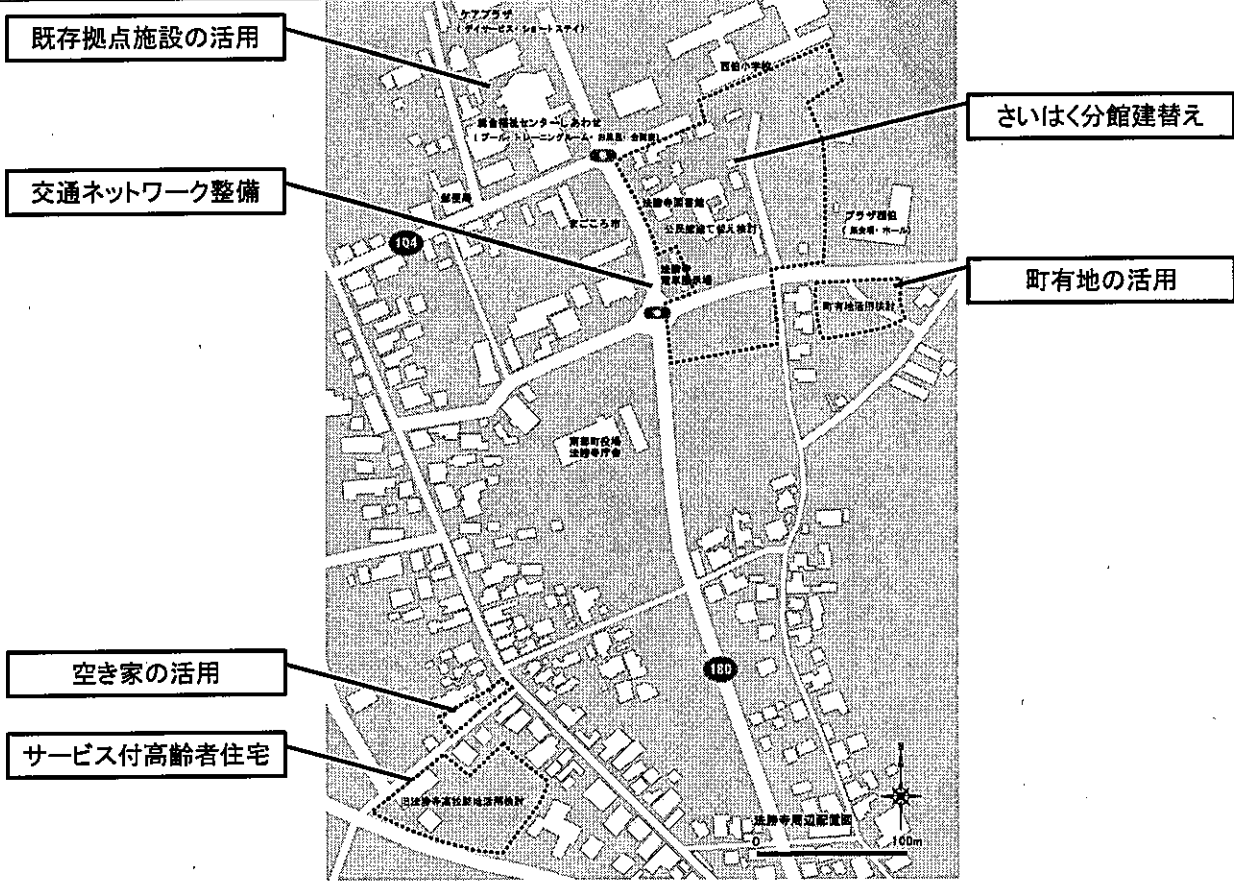
旧街道エリア
 ○まちづくり会社等で空き家を発掘
 ○若者、アクティブシニアによる出店

案1) 旧法勝寺高校跡地(民有地)を活用

住居エリア
 ○質の高いシニア住宅(民間想定)
 ・旧法勝寺高校跡地を活用

拠点エリア
 ○拠点施設の整備
 ・南部町役場、プラザ西伯(集会所)、しあわせ(社協、スポーツクラブ)、まごころ市(直売所)、銀行、JAなどが所在
 ・内科医、西伯小学校、すみれこども園などとも近接
 →南部町公民館さいはく分館の建替に合わせて、公民館・図書館機能+アクティブシニア活躍の場(パン屋、英会話など)を提供

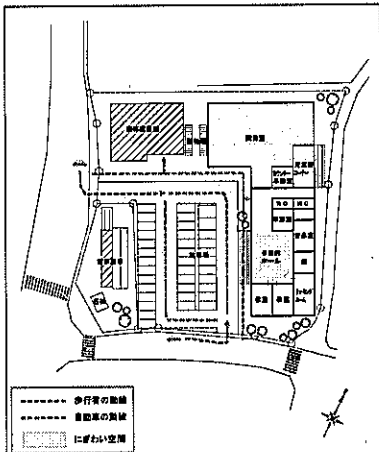
南部町 生涯活躍のまち構想の拠点整備計画



<①さいはく分館建替え>

南部町公民館さいはく分館の建て替えによるコミュニティ施設計画 動線計画と建物配置計画の検討

歩車分離で2方向からアプローチ可能なレイアウト



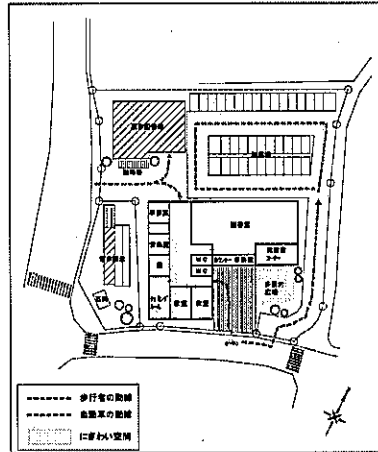
①駐車場西側配置案
 敷地面積 約4000㎡
 建物面積 約1284㎡ 図書庫部分 848㎡ 公民館部分 848㎡
 駐車台数 約37台

良い点
 ・歩行者 自動車共に南側道路と西側道路からアプローチ可能である。
 ・歩行者の動線と自動車庫の動線が交差することなく分離されている。
 ・既存図書庫と連動的に並ぶ建物配置を計画することができる。
 ・電車展示の周辺が駐車場や通路によってオープンとなり視界の見通しがきく。
 ・館内の多目的ホールと館内の通路を一時的に縦横に空けて活用できる。

悪い点
 ・これ以上の駐車台数を確保すると残地が細長く使いづらい形状となる。
 ・歩行者の動線と自動車の動線が常に並行して異なっている。
 ・建物からエレベーターが遠い。歩行者のアクセス動線距離が長い。
 ・風致から電風展示までオープンスペースが狭く見通しの連続性がなくなる。
 ・多目的ホールの開口は狭い状態となる。

多目的広場の利用例
 ・駐車場と一体的に利用 フリーマーケット、青空市、移動展示販売など
 ・館内での展示イベント(写真展、手形展、アート作品、子供の絵画など)
 ・館内イベント

歩車分離で駐車場を建物で隠し 景観に配慮したレイアウト



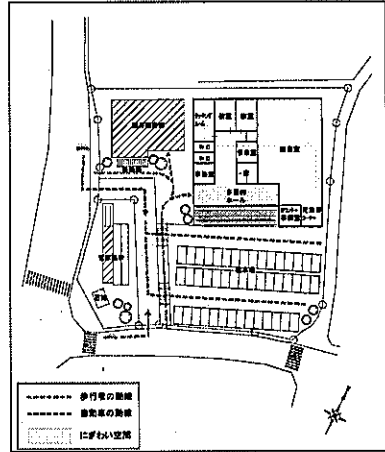
②駐車場北側配置案
 敷地面積 約4000㎡
 建物面積 約1028㎡ 図書庫部分 504㎡ 公民館部分 522㎡
 駐車台数 約38台

良い点
 ・歩行者の動線と自動車の動線が交差することなく完全に分離されている。
 ・駐車場が歩行者のメイン道路と西側の向道に隠れて見えない。
 ・建物への歩行者のアプローチ動線距離が短い。
 ・多目的広場の南面に設置することで、明るいオープンスペースが確保できる。
 ・施設内の動線が広く歩行者の動線をつなげる配線となる。

悪い点
 ・駐車場への自動車の出入り口が狭く見えない。
 ・駐車場までの自動車の動線が長く確保しきれない。
 ・エレベーターが遠い。
 ・館内で多目的に使えるホールがない。
 ・電風展示が施設と連動的に配置されることで見えにくくなる。

多目的広場の利用例
 ・フリーマーケット
 ・パワフルキャサリ(地元の手作り市、青空市、アート作品など)

歩車融合で2方向からアプローチ可能なレイアウト



③駐車場南側配置案
 敷地面積 約4000㎡
 建物面積 約1152㎡ 図書庫部分 576㎡ 公民館部分 576㎡
 駐車台数 約46台

良い点
 ・歩行者 自動車共に南側道路と西側道路からアプローチ可能である。
 ・駐車台数を多く確保できる。
 ・既存図書庫と連動的に並ぶ建物配置を計画することができる。
 ・電風展示の周辺が駐車場や通路によってオープンとなり視界の見通しがきく。
 ・館内の多目的ホールと館内のアクセスを一時的に縦横に空けて活用できる。

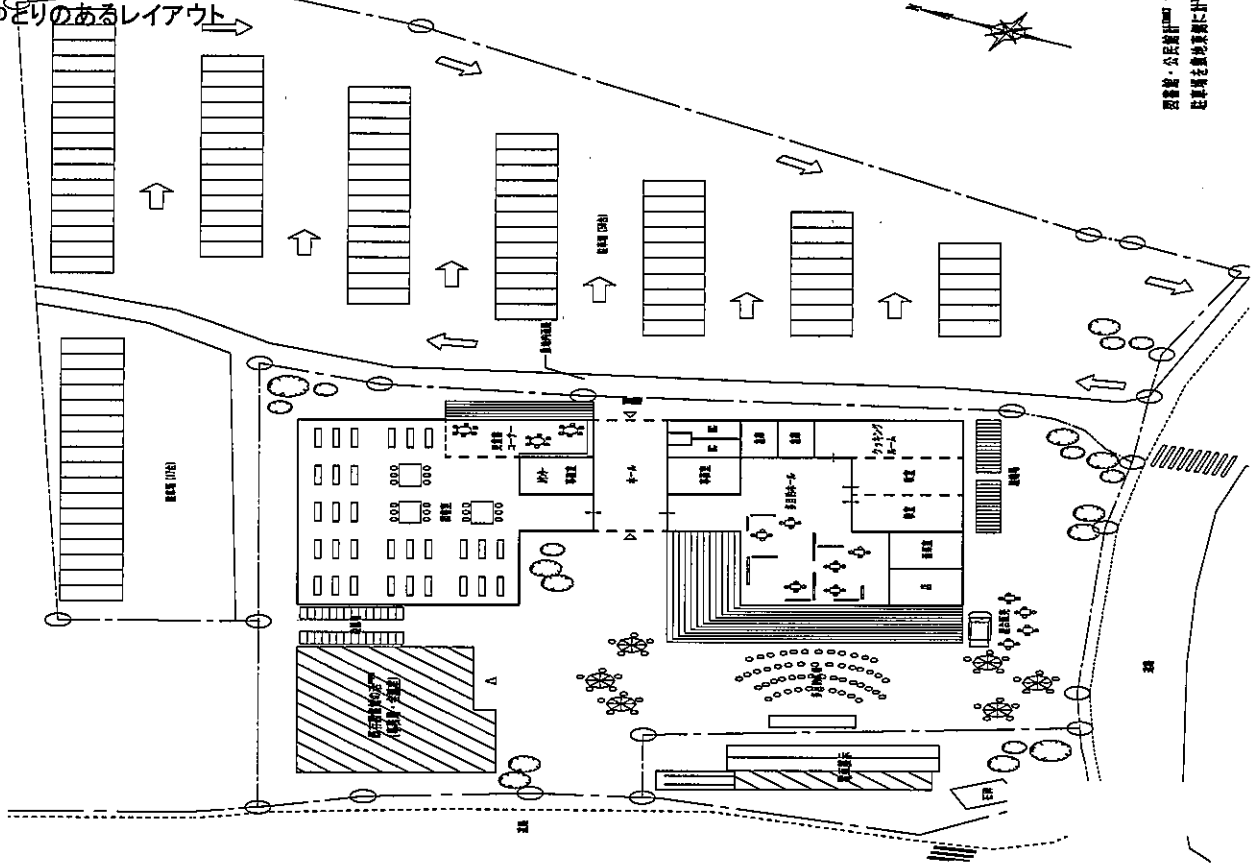
悪い点
 ・歩行者の動線と自動車の動線が駐車場内で交差する部分がある。
 ・駐車場内の自動車の動線が複雑化している。
 ・建物からのエレベーターが遠い。
 ・通路からの視界が建物によって遮られる。
 ・施設から電風展示までオープンスペースが狭く見通しの連続性がなくなる。

多目的広場の利用例
 ・駐車場と一体的に利用 フリーマーケット、青空市、移動展示販売など

<①さいはく分館建替え>

南部町公民館さいはく分館の建て替えによるコミュニティ施設計画 動線計画と建物配置計画の検討

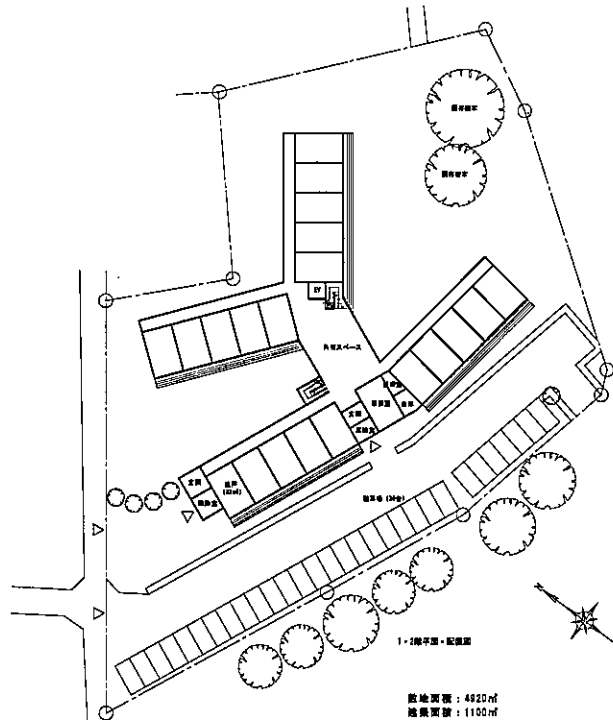
駐車場部分を敷地拡張して確保し
ゆとりのあるレイアウト



図例集・公民館計画 1/300
建築等高度地区計画

<②サービス付き高齢者住宅>

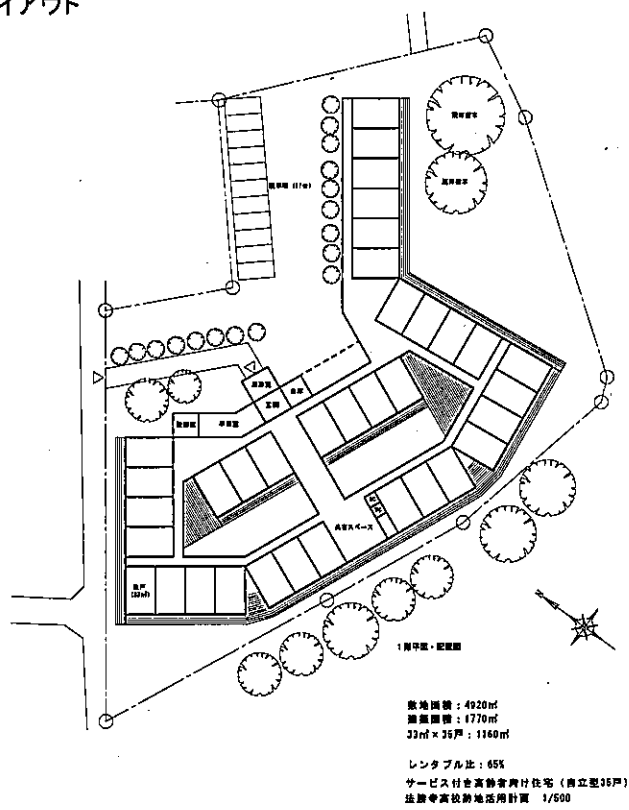
2階建てとし、戸数を40戸確保し
敷地計画のゆとりあるレイアウト



敷地面積：4920㎡
建築面積：1100㎡
33㎡×40戸：1325㎡
延べ床面積：2174㎡
レンタル比：60%
サービス付き高齢者向け住宅（前立型40戸）
建築等高度地区計画 1/500

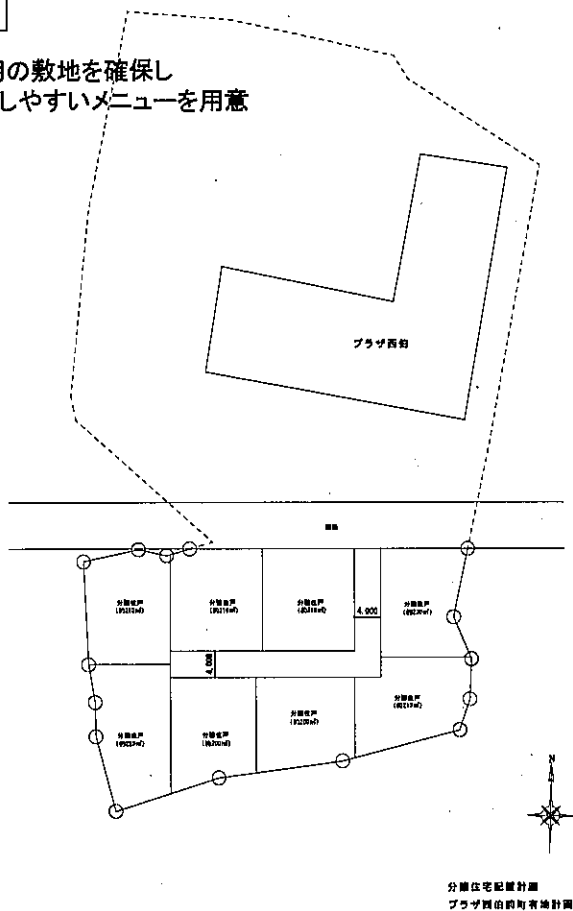
<②サービス付き高齢者住宅>

平屋建てとし、戸数を35戸確保し
敷地をめい一杯活用するレイアウト



<③町有地の活用>

家族世代向けに戸建て分譲用の敷地を確保し
法勝寺エリアに多世代が交流しやすいメニューを用意



(3) 社会的活動に関する取り組み

①「健康でアクティブな生活」を支援するプログラムの提供

➡ 個人のスキル活用やポテンシャル開拓の視点を踏まえた「目標志向型」の「生涯活躍プラン」の策定・「支援プログラム」の実施
(新たな地域物産の開発を通じた、生きがい・やりがいづくり)

地域資源の活用

①キーパーソン情報の作成

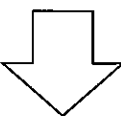
まちづくり会社設立幹事 → 100人委員会

※移住ホームページにキーパーソン情報アップ

②地域物産情報の作成

新たな地域物産の開発 → 地域物産50選

目標



移住者に地域の顔が見える安心感

地域物産によって里山の豊かな地域性が見える化

職の創出

①拠点整備・運営(旧法勝寺高校跡地)

高齢者住宅 → 新たな職場の創出へ

※アクティブシニアに限らず、若い人たちの働く場の提供にもなる

②町に足りないものを起業

パン屋・塾、振興協議会から職の希望を把握

※空き家の店舗向け物件を、店舗付きで人材誘致

目標 

まちづくり会社に職のコーディネーターを設置

(4) 医療介護に関する取り組み

①「継続的なケア」の提供

➡ 人生の最終段階まで尊厳ある生活が送れる
体制を地域の医療機関等と連携して確保

医療・福祉・介護の連携

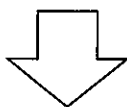
認知症の増加、高齢者世帯・独居高齢者世帯の増加。

新たな健康不安や生活課題の増加

→現状のサービス体制による提供はやがて困難に。

→在宅ケアの早期実現がカナメ(医療を中心とした切れ目のない多職種連携)

目標



①拠点づくりの後押し

(住民主体による介護予防、健康づくり)

②生活支援サービスの発掘

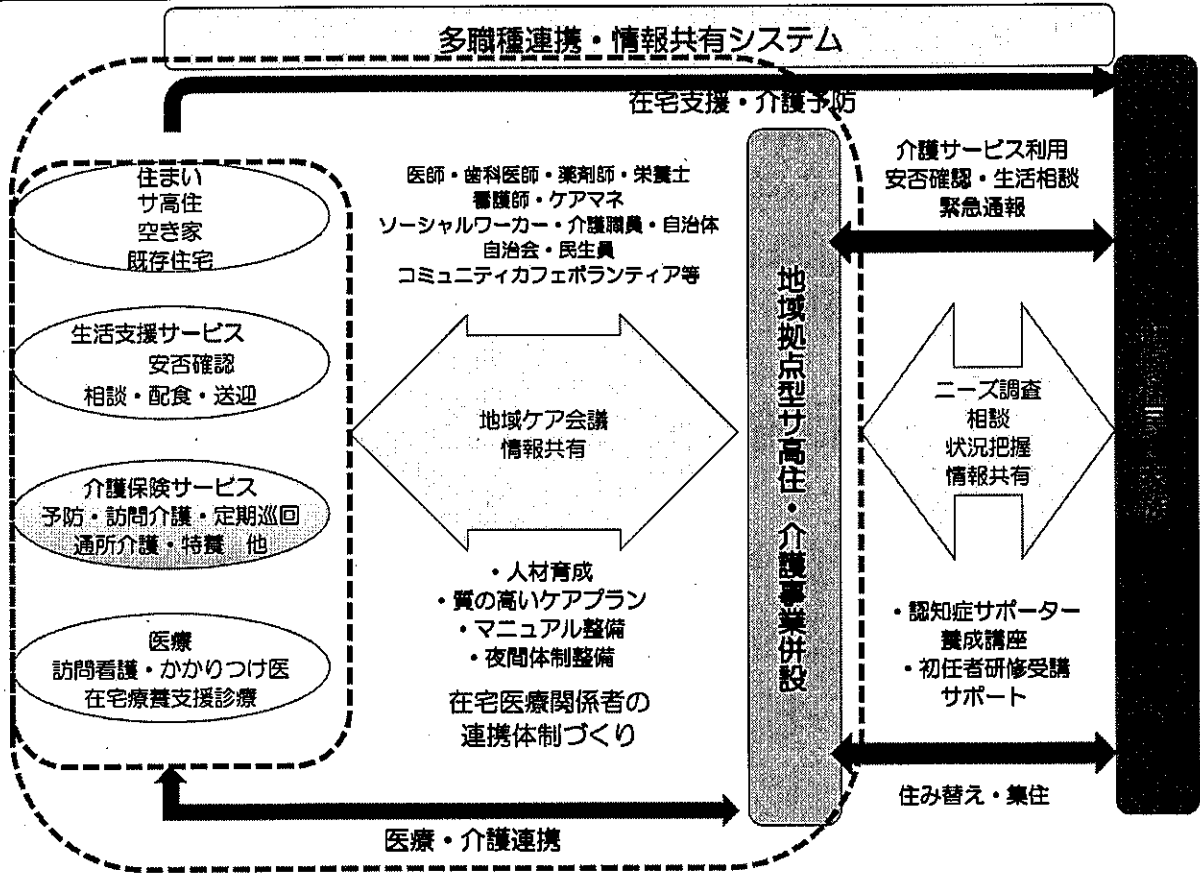
(地域の見守り、移送サービス等)

南部町 生涯活躍のまち構想の地域包括ケア

南部町の課題→解決案

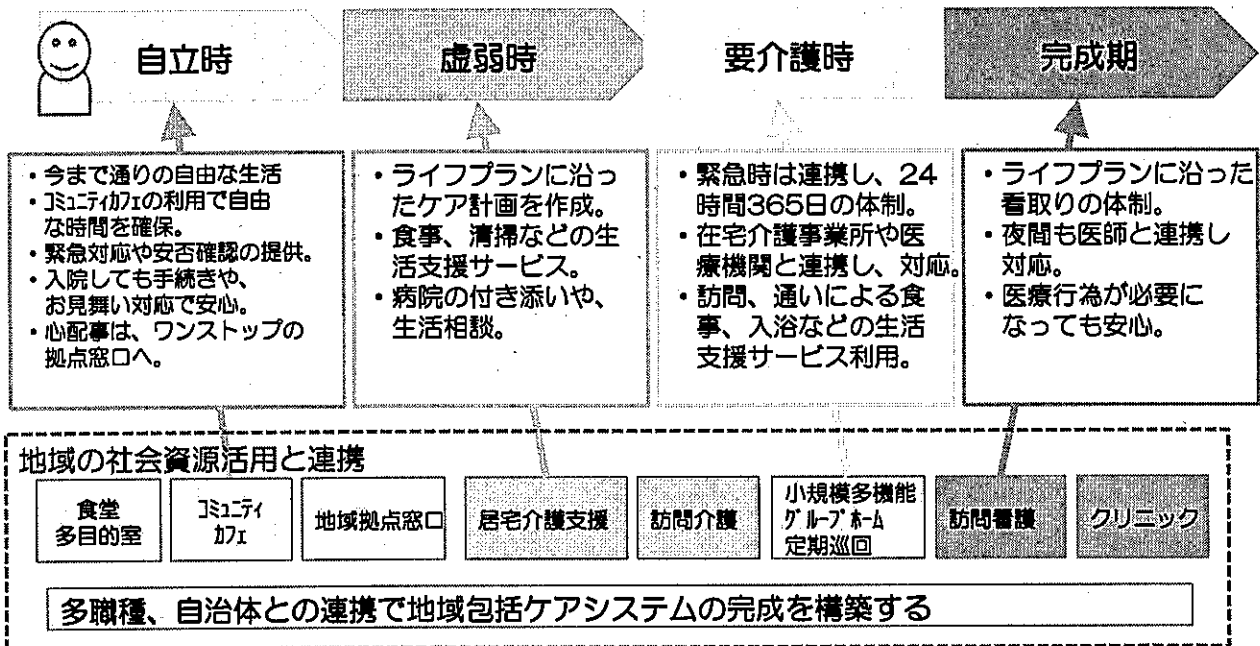
- ①医療・介護の連携→中心拠点の設置・地域多職種連携会議・IT化による情報共有システム
- ②高齢者世帯・独居高齢者世帯の増加→集住、見守りシステムの確立、住民助け合いの会、訪問診療の充実でできるだけ病院に頼らないまちづくり
- ③認知症の増加→予防対策、オレンジサポーターのまち、人とのふれあい場づくり
- ④介護度軽減→健康のまちづくり
統合医療(自然治癒を高める方法)ヨガ、浄化療法、アロマ、気功、漢方等
- ⑤福祉業界の人材不足→鳥取看護大学の西伯病院での研修から雇用

<①医療・介護の連携>



<医療・介護連携 ~元気な時から完成期まで連続的なケア~>

心身のなだらかな変化に伴い、自立の時から看取りまで連続的・継続的ケアが受けられる体制で安心の地域包括ケア



(5) 事業運営に関する取り組み

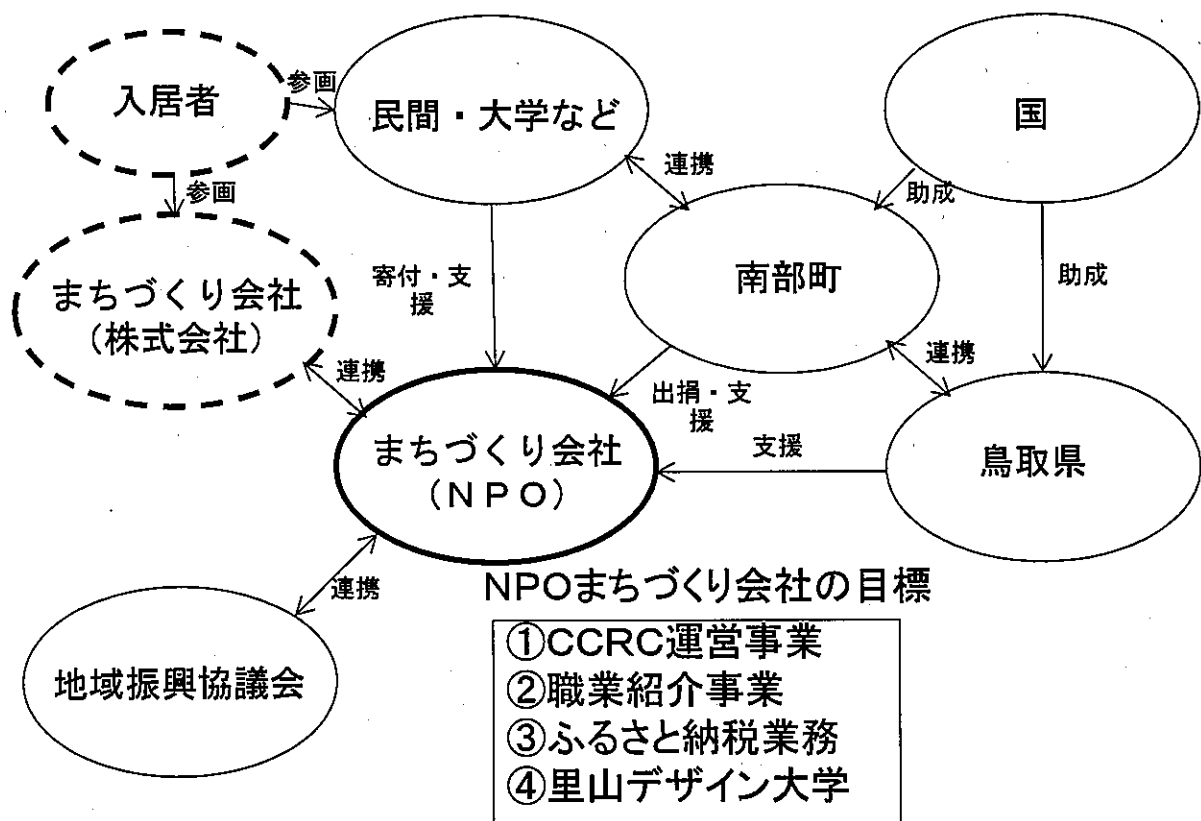
①入居者の事業への参画

➡ サービス付き高齢者住宅や多世代居住用住宅の入居者を早い段階で募り、一緒になって事業を進めていく

②事業運営やケア関係情報の公開

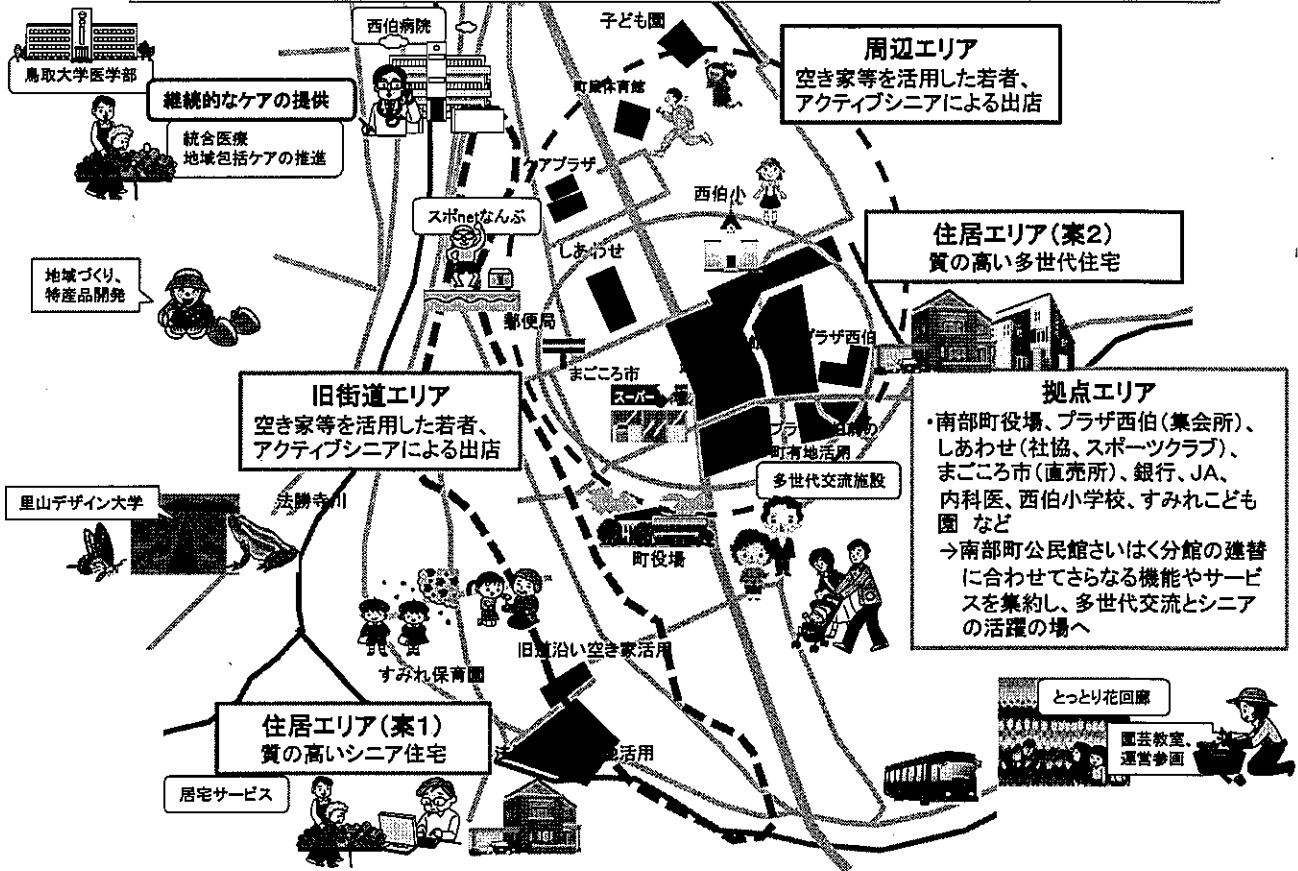
➡ 課題などを共有しながら、事業を進めていく

事業支援体制の構築(まちづくり会社を中心に)



南部町をモデルとしたCCRCのイメージ

法勝寺地区を中心拠点として、各地域振興協議会エリアや周辺施設をネットワーク化



アクティブシニアの希望をかなえるために。

湯梨浜町版「生涯活躍のまち」へ

移住促進モデルプラン

湯梨浜町で 湖畔くらし

最終報告

1. 湯梨浜町 生涯活躍のまち構想の基本コンセプト

湯梨浜町の人口は昭和45年(1970年)をピークに緩やかに減少しており、人口減少問題に対峙する中で、新たな人の流れを生み出す手段のひとつとして「生涯活躍のまち」への取り組みが有効であると考え、平成27年8月から検討を進め、モデルプランにまとめた。

このモデルプランは、湯梨浜町の地域特性を生かし、都市圏に住むアクティブシニアが自らの希望に応じて移住し、地域の仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加し、多世代と交流しながら継続的なケア体制を確保することで、移住・交流を一層促進し、地域の活性化を図ろうとするものである。

湯梨浜町の地域特性や地方創生に関する取り組み、日本版CCRC有識者会議の「生涯活躍のまち」構想(最終報告)を踏まえ、都市圏での情報発信とニーズ調査、受け入れ側の協力体制づくり、事業形態、運営体制の検討等を行い、事業化による人口減少対策や地域経済の活性化等への効果等を反映した東郷エリアをはじめとする事業化に向けた基本計画を策定する。

湯梨浜町 生涯活躍のまち構想の概要

①湯梨浜町は、風光明媚な東郷湖畔の景観に恵まれ、シニア層の人気の高い。

近年ではウォーキングに力を入れており、また東郷地区の「よどや」を中心とした地域づくりの活動も徐々に活発化してきており、海や、はわい・東郷の2つの温泉も生かしながら、アクティブシニアが元気に活躍し、楽しみながら健康に生活できる素地がある。

また、鳥取短期大学・鳥取看護大学とも隣接し、学生や教職員も居住していることから、学習の機会や若者との交流の場面にも恵まれているほか、看護大学の「まちの保健室」の取組と町の保健事業との連携による健康づくりも期待できる。

②晩年期の不安を解消する医療・介護体制も充実している。

- ・羽合地区：(医)専仁会の介護老人保健施設「ハワイ信生苑」、「グループホーム信生ゆりはまの里」、(社福)中部福祉会あずま園の「はわいグループホームあずま園」、「シニアコートゆりはま」(サービス付き高齢者住宅)、「アロハデイサービスセンターあずま園」等が所在

- ・東郷地区：(社福)敬仁会の「ル・サンテリオン東郷」(介護老人保健施設、グループホーム)、「ガーデンハウス野花」(サービス付き高齢者向け住宅)が所在

- ・その他：隣接する倉吉市に藤井政雄記念病院(在宅療養支援病院)、倉吉病院(精神科・皮膚科)等が所在



基本的な考え方

- ・ 東京圏をはじめとする地域の移住高齢者の方々に、自らのライフ・スタイルや希望に応じた、生活・健康・就労・介護などにおける適切なサービスを提供し、アクティブ・シニアから晩年のシニアまで、充実した生活と安心して暮らせる町をつくる。(健康寿命+地域への貢献)
- ・ 湯梨浜町への移住促進と、地域が抱える課題の解決へとつながる人材の誘致、さらには、現在お住まいの町民の方々も利益共有できる環境づくりを行う。

足腰の強い、しなやかな湯梨浜町のまちづくりに参加されませんか。 湯梨浜町長 宮脇正道



湯梨浜版 生涯活躍のまち構想

首都圏からの移住高齢者の方々に、自らのライフ・スタイルや希望に応じた、生活・健康・就労・介護などにおける適切なサービスを提供し、アクティブ・シニアから晩年期のシニアまで、充実した生活と安心して暮らせる町をつくります。

待ってます、こんなひと!

アクティブ・シニアで、報酬を頂きたい人、新たに就きたい人
 「湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の「活カある元気を求め」、「安心して暮らせるまち」、「町民みんなが暮らせるまち」の基本目標に賛同し、自らも挑戦を原動力とする意欲のある人。
 たとえば――

新規就業者 猟銃の免許を持ち活動のできる人 **温泉熱発電を生かす起業家**
和菓子職人 **外国語の堪能な人** **保育士** **看護師などの専門職の資格を有する人**
婚活業務の経験者 **情報産業・広告業などの従事経験者**
サークル・ボランティア活動のリーダーたりう人
芸術・文化活動をする人 **図書館司書経験者**

<p>美しい景観と豊富な温泉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山麓丘陵地帯の自然環境が美しい景観 ●山麓丘陵地帯の自然環境が美しい景観 ●山麓丘陵地帯の自然環境が美しい景観 ●山麓丘陵地帯の自然環境が美しい景観 	<p>多様な就労の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様な就労の場 ●多様な就労の場 ●多様な就労の場 ●多様な就労の場 	<p>安心の医療、保険、福祉施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安心の医療、保険、福祉施設 ●安心の医療、保険、福祉施設 ●安心の医療、保険、福祉施設 ●安心の医療、保険、福祉施設
--	--	--

活発な趣味、サークル活動

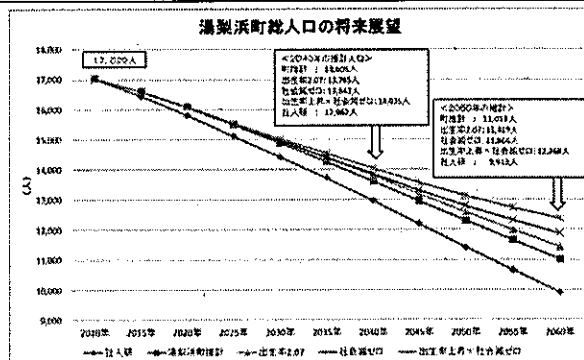
- 活発な趣味、サークル活動
- 活発な趣味、サークル活動
- 活発な趣味、サークル活動
- 活発な趣味、サークル活動

お問い合わせ：湯梨浜町企画課 0859-32-1111

目指す姿：多世代が交流する持続可能なまちづくり

①人口減少の取り組み 出生率向上・IJUターン

※家は湯梨浜町にある若い世代



②若い世代への町の支援の充実

※若者向け町営住宅の検討

目標 ↓

手頃な価格の町営住宅を若い世代に提供
拠点周辺に若い世代用住宅の提供

(1) 計画を通じた目標 (重要実績評価指標: KPI)

- ① CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：
3団体以上 (H29.3月)、5団体以上 (H32.3月)
- ② 合計特殊出生率: 1.95 (出生数年間160人)
- ③ 県外からのIJUターン者数: 850人 (H27~31)

(2) 対象区域

東郷地区を中心に湯梨浜町全域を対象区域とする
(拠点<東郷周辺>と各エリアをネットワーク化)



(3) 計画期間

○平成27年度～31年度の5年間を計画期間とする。

○地域側では、「新たな会社」や「地域プロデューサー」を導入する。

都市側では「生涯活躍のまち移住促進センター」の営業力を活用する。

双方でのマーケティング活動を通じたマッチングを進めながら、「生涯活躍のまち」を並行して整備し、移住者を確保する。

項目	H27	H28	H29	H30	H31
全体計画策定	プラン策定	拠点エリア整備基本計画策定 地域包括ケア基本計画策定			
コミュニティ拠点	候補地選定	確保 機能の設定	設計・工事		運営
住環境のレイアウト	住形態の検証 空き家調査		改修・提供		
しごと・楽しみの提供	情報収集・調査			提供	
事業主体	まちづくり会社の立ち上げ			運営	
人材確保・ニーズ調査		生涯活躍のまち移住促進センターとの協力			
医療・介護体制の整備		検討・体制整備を進める			

2. 構想の実現に向けて具体的に取り組むべき事項

(1) 移住支援に関する取り組み

- 生涯活躍のまち移住促進センターへの出展により、都市ニーズを把握する。
- 移住専用ホームページの開設や地域PRにより、地域ニーズを把握する。

(2)-1 住宅(拠点)整備に関する取り組み(住環境)

- 拠点エリアでは、①民間によるサービス付き高齢者住宅、②松崎地区などの空き家を利活用、③古くなった町営住宅の建替の活用 の中で検討

(2)-2 住宅(拠点)整備に関する取り組み(コミュニティ機能、活躍の場づくり)

- コミュニティ拠点は、東郷地区(旧ミドーレイクホテル跡地、中央公民館、町営住宅の建て替え)、羽合地区(旅館団地)など複数の候補地の中から選定。
住環境や、町が求める職のコーディネート機能、シニアの活躍の場や「まちの保健室」などを埋め込むことを視野。
- 拠点エリアと周辺エリアとの間でのネットワーク化を進める。

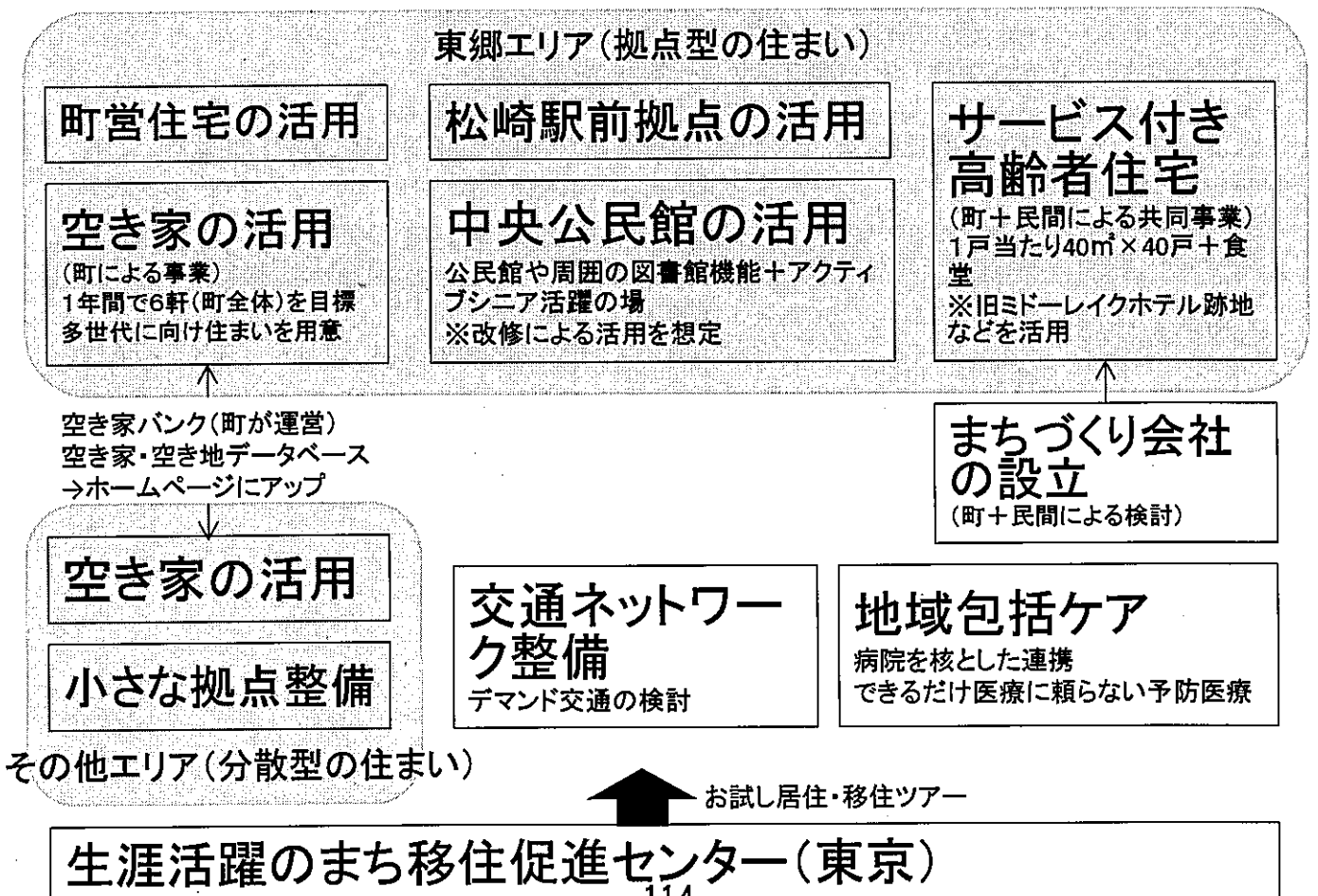
(3) 社会的活動に関する取り組み

- NPOなどの活動、自治会レベルでの活発な活動が行われる。
- 仕事、楽しみを提供するため職のコーディネーターの設置を進める。

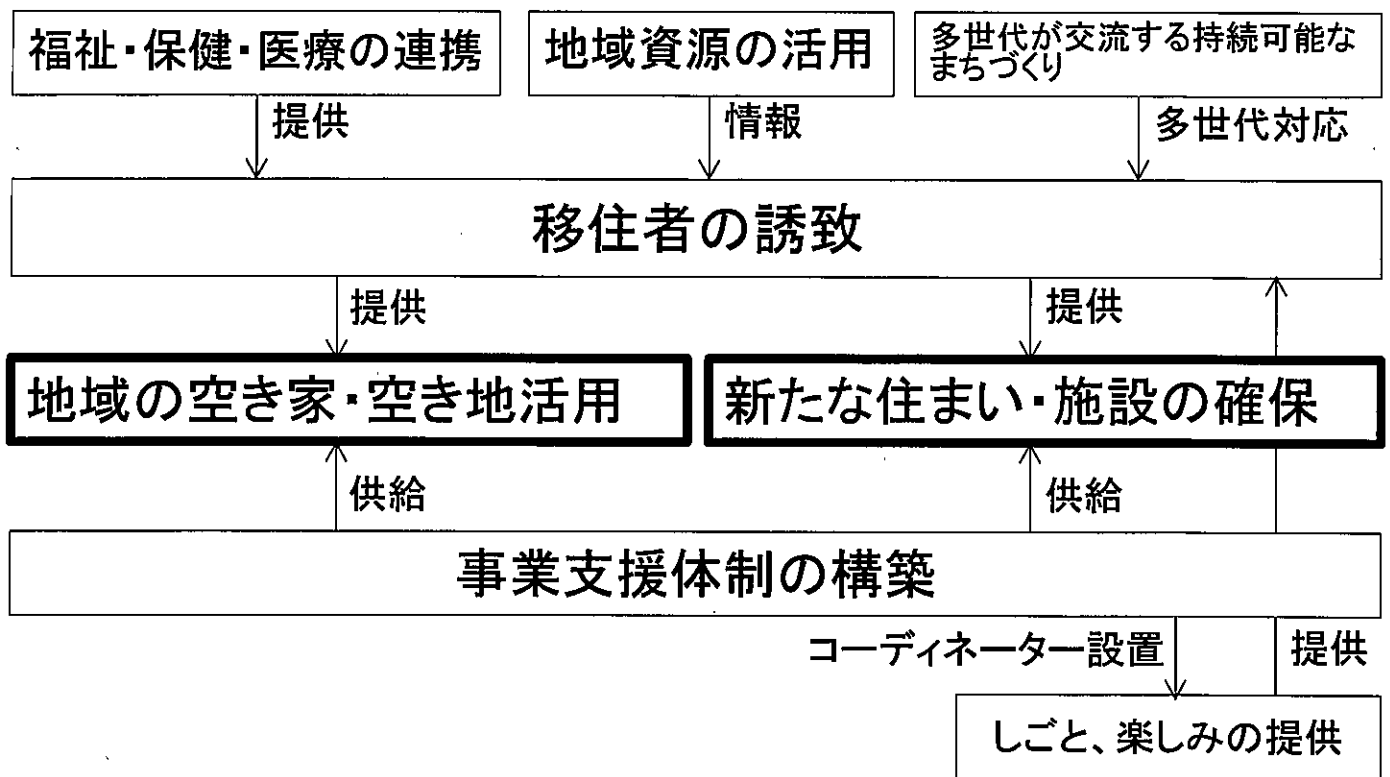
(4) 医療介護に関する取り組み

- 医療介護については、民間との連携強化による使いやすい在宅サービス・施設サービスの実現、拠点との連携・生活支援の充実を図る。
- 地域包括ケアなど、ケアの将来構想が必要。

構想の実現イメージ



生涯活躍のまち構想の構成要素



(1) 移住支援に関する取り組み

① 移住希望者への支援

➡ マッチングやお試し居住などの支援を行う。

② 入居者の健康状態

➡ 健康な段階からの入居が基本。

③ 入居者の年齢

➡ 早めの住み替えや、入居する地域での活躍を念頭に、50代以上のアクティブシニアを中心とした幅広い年齢構成とすることが望ましい。

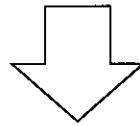
(移住者、地元住民問わず、多世代交流のまちをつくる)

移住者の誘致

地域の受け皿と都市ニーズのマッチング

- ・平成28年度以降、県において首都圏で生涯活躍のまち移住促進センターを活用したシニアの囲い込みを行うとともに、町において「地域コーディネーター」の導入（地域おこし協力隊を活用）を進める。
- ・お試し住宅を整備し、「お試し移住ツアー」を行う。→移住へつなげる。
- ・田舎暮らし体験施設の利用。
- ・JOINなどでの広報活動やHPでの活用。
- ・まちづくり会社を立ち上げる。
- ・県外に進出している介護施設等を発信拠点として活用する。

移住者目標



県外からのIJUターン者数を5年間で850人
—これには、拠点形成が欠かせない。

(2) 住宅(拠点)整備に関する取り組み

①地域社会(多世代)交流・協働

➡ 高齢者が地域社会に溶け込み、多世代と交流・協働できる環境を整備

②自立した生活ができる居住空間

➡ 共同生活と個人生活のバランスに配慮し、安心して自立した生活が送れる居住環境を提供

③生活全般のコーディネーター(運営推進機能)

➡ 「地域交流拠点」を整備し、入居者の生活全般を支えるコーディネーターを配置

新たな住まい・施設の確保(拠点型の住まい)

①民間などによる高齢者住宅の整備

民有地などにおけるサービス付き高齢者住宅

※事業規模:30~50世帯

②中央公民館における機能強化の検討(コミュニティ拠点)

泊分館の建替えと羽合分館の活用

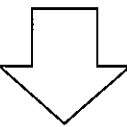
仕事情報・活動情報の提供、和菓子屋・語学教室・婚活機能を備えたコミュニティセンター、まちの保健室の出張所

③町営住宅建替え(多世代居住の実現に向けた検討)

※古くなった町営住宅建替えの早期実現に合わせて集住地域を検討

※空き家をお試し用居住等へ活用

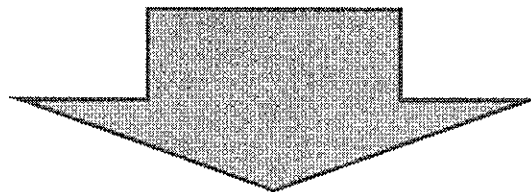
拠点整備の目標



民間などによる高齢者住宅を東郷周辺で検討する
小さな拠点の公民館や町営住宅をまちで実現する

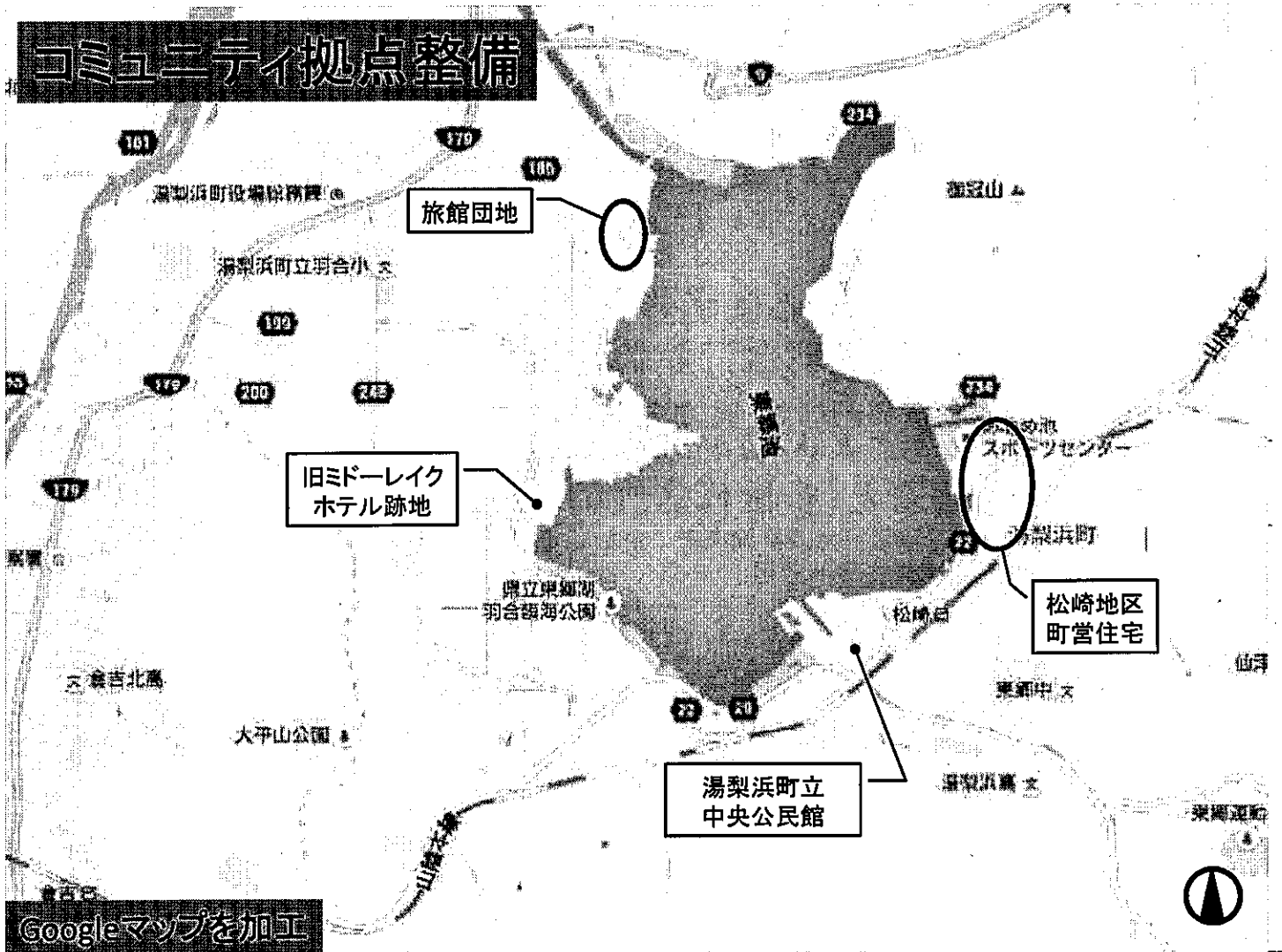
【コミュニティ拠点】

- コミュニティ拠点は、東郷地区(中央公民館、町営住宅の建て替え、旧ミドレークホテル跡地)、羽合地区(旅館団地)など複数の候補地が考えられる。
- コミュニティ機能の中に、町が求める職のコーディネート機能、シニアの活躍の場や「まちの保健室」などを設ける。
- シニアだけでなく、若者との活躍する交流の場を設ける。
- 地域資源である温泉の活用も考えられる。



東郷地区の中央公民館は地域に開放された拠点として、町営住宅や旧ミドレークホテル跡地などは主にそこに住む入居者に対する拠点とする。

コミュニティ拠点整備



Googleマップを加工

拠点のイメージ

一帯を多世代交流エリアとして位置付け

仕事情報、活動情報の提供機能

①コミュニティ拠点

- ・仕事情報、活動情報の提供機能
- ・和菓子屋、語学教室、婚活機能等シニアの活躍の場
- ・まちの保健室の出張所 など

和菓子屋、語学教室、婚活機能等シニアの活躍の場

住環境

②住環境

- ・民間などによる高齢者住宅の整備(事業規模30~50世帯)
- ・町営住宅建替え(古くなった町営住宅建替えの早期実現に合わせて、多世代集住地域を検討) など

まちの保健室出張所

地域の空き家・空き地活用(分散型の住まい)

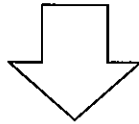
①空き家バンク(町が運営)

空き家の調査 → 空き家バンクの活用

空き家は若い層 → 空き家だけでカバー仕切れない

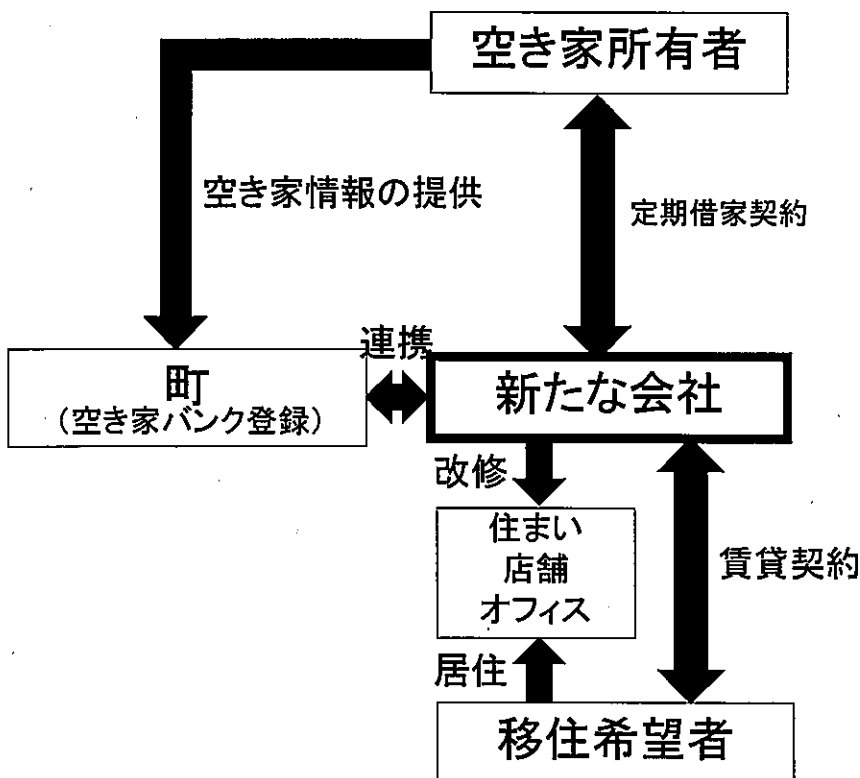
※空き家改修支援や移住定住者住宅整備支援がある

改修軒数目標



年間で6軒の空き家供給

新たな会社による空き家改修供給の検討



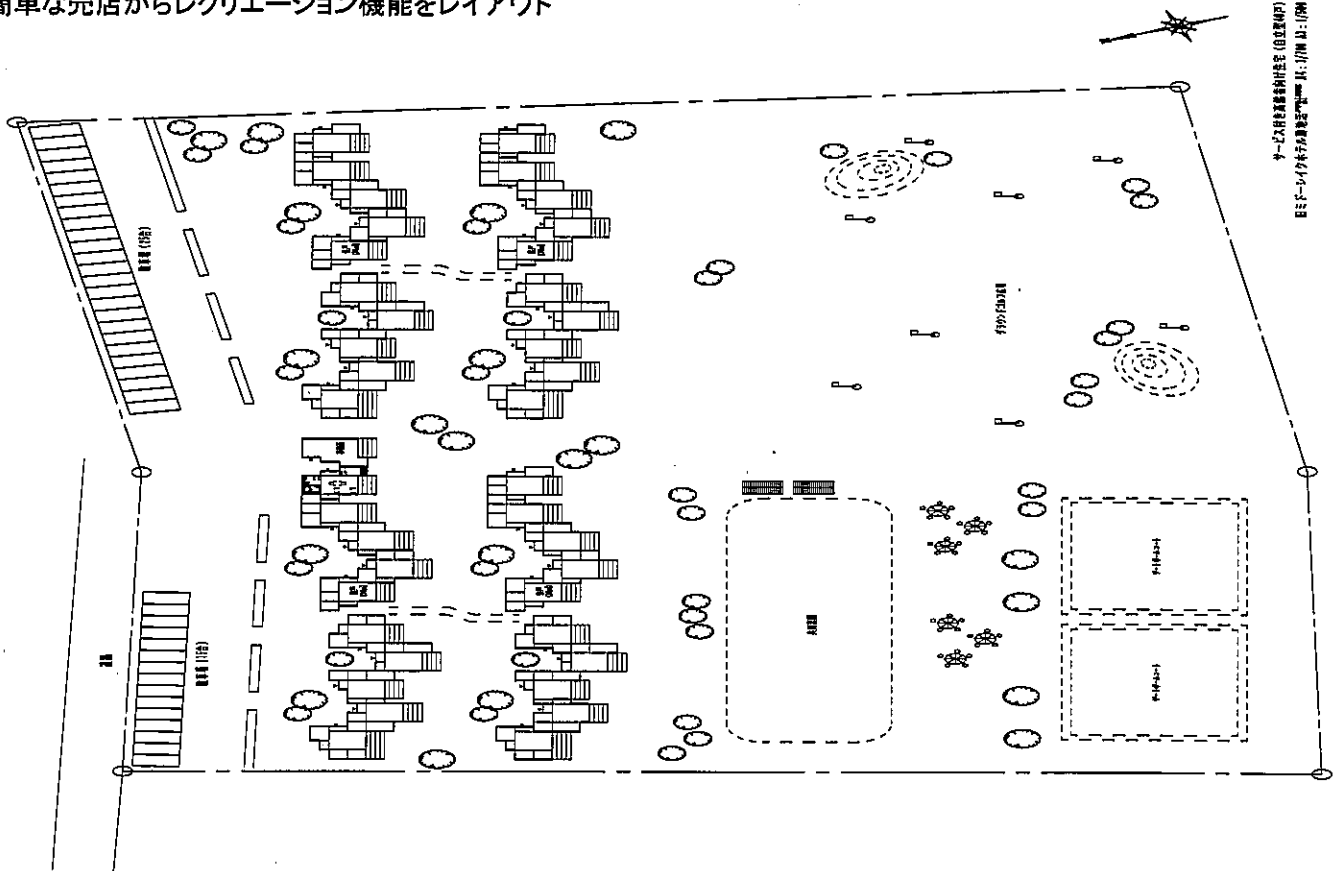
新たな会社は、空き家バンクから空き家情報を収集し、以下の業務を行う。

- ①定期借家契約を結び物件を確保する。
- ②住まい、店舗、オフィス等目的別に改修を行う。
- ③入居希望者の公募を行い賃貸契約を結ぶ。

※公募にあたっては、地域課題を解決するために必要な人材を優先的に誘致する。

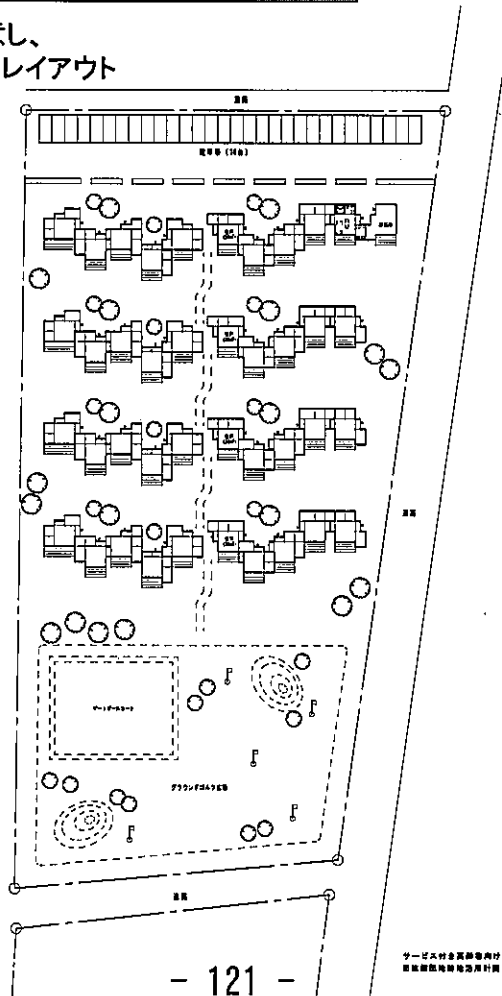
<②サービス付き高齢者住宅(旧ミドーレイクホテル跡地)>

この場所で完結できるストーリーを用意し、
簡単な売店からレクリエーション機能をレイアウト



<②サービス付き高齢者住宅(旧旅館団地跡地)>

この場所で完結できるストーリーを用意し、
簡単な売店からレクリエーション機能をレイアウト



(3) 社会的活動に関する取り組み

①「健康でアクティブな生活」を支援するプログラムの提供

➡ 個人のスキル活用やポテンシャル開拓の視点を踏まえた「目標志向型」の「生涯活躍プラン」の策定・「支援プログラム」の実施

(新たな地域物産の開発を通じた、生きがい・やりがいづくり)

地域資源の活用

待ってます。こんなひと

健康な段階から湯梨浜町に移住し、地域の仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加し、地域に貢献していただくとともに、できる限り健康寿命を伸ばす。

アクティブ・シニアで、経験を活かしたい人、新たに取り組みたい人

キーパーソン
リストを作成

必要な移住者像を見つける

たとえば・・・

- ・新規就農者
- ・猟銃の免許を持ち活動のできる人
- ・温泉熱発電を活かす起業家
- ・和菓子職人
- ・外国語の堪能な人
- ・婚活業務の経験者
- ・図書館司書経験者
- ・医療・介護人材、保育人材(子育て世帯の定住や移住に役立つ)
- ・芸術・文化活動をする人
- ・情報産業・広告業などの従事経験者
- ・サークル・ボランティア活動のリーダーたりうる人

しごと、楽しみの提供

①多様な就労の場

- ・季節ごとの労働のマッチング(例えば、春には梨の交配作業、秋には稲刈りなど単発の仕事でも選択肢を広げ、いくつかの仕事を組み合わせる)
- ・拠点整備・運営により、新たな職場の創出
- ・新たな起業者へ支援(チャレンジショップ支援)

②楽しみの発信

- ・湯梨浜町の自然や立地を活かした楽しみ(海や湖での魚釣り、グラウンド・ゴルフ発祥地の専用コース、湖畔の臨海公園散策による憩い、夏の漁火や朝の東郷池の朝もやなどの自然景観、温泉やスローライフが送れる生活環境など)
- ・ICT環境の発信(田舎に暮らしながらも都会と同じ仕事のできるICT環境づくり)

目標 

事業主体に職のコーディネーターを設置
湯梨浜町での楽しみや地域資源を売り出す

大学との連携

たとえば、こんな連携が考えられる。

①まちの保健室との連携

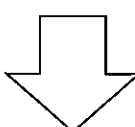
- ・看護師や学生が湯梨浜町に来て、健康相談を気楽にできる。

②アクティブ・シニアの大学利用

- ・大学の図書館や学食を利用することも。

③大学での指導

- ・知識や技術のある人は、大学で講義をすることも。

目標 

アクティブ・シニアの大学の利用・指導と交流

(4) 医療介護に関する取り組み

①「継続的なケア」の提供

➡ 人生の最終段階まで尊厳ある生活が送れる体制を地域の医療機関等と連携して確保

福祉・保健・医療の連携

高齢化の進行、高齢者単身世帯・高齢夫婦だけの世帯増加

① 高齢者住宅等の入居者需要

- ・特別養護老人ホームは地元の方でも入れない方がいる。
- ・サービス付き高齢者住宅は少し空きがある。
- ・老人保健施設入居者が増加。

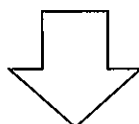
② 在宅支援の充実

- ・在宅サービス、外出支援サービス
- ・地域全体で高齢者を支える見守り支援の体制強化、地域支え合い活動の機能強化

③ 介護予防・健康づくり

- ・ゆりりんメイト(介護予防・健康づくりリーダー)の養成

目標



民間との連携強化により使いやすい在宅サービス・施設サービスへ

拠点との連携・生活支援の充実(ケアの将来構想)

湯梨浜町 生涯活躍のまち構想の地域包括ケア

現在の取り組み

- ①小規模多機能居宅介護事業所 2か所、
認知症対応型グループホーム1か所（2ユニット）、
高齢者の多様な生活支援を展開。
- ②地域包括ケアの入り口として、ワンストップサービスの拠点の設置と医療・
福祉サービス機関等との連携を図っている。
- ③「相談支援強化事業」として、独居で見守りが必要な高齢者を対象とした、
定期電話、訪問活動を実施。24時間の相談受け付け体制。
緊急通報システム の利用登録促進。
- ④介護と医療の連携実現のために年2回の町内の医師・歯科医師との意見交換会を開
催。
- ⑤認知症の理解促進のため、講演会、認知症介護予防教室、認知症サポーター
養成講座の実施。家族支援の会の定期開催。
- ⑥介護事業者とケアマネの連携会議の開催にて情報共有。
- ⑦地域密着型介護事業所の運営会議への参加。

今後の取り組み

- ①在宅生活継続に向けた住宅改修
- ②多様な住まいや施設の確保
- ③介護予防の担い手の育成（ゆりりんメイトの育成）
- ④「ご近所付き合い」「顔の見える関係づくり」「助け合いのできる関係づくり」
など地域のネットワークづくりの強化
- ⑤高齢者クラブやサロン（高齢者等の集いの場）の活動支援と参加呼びかけなど
- ⑥地域ケア会議の開催
- ⑦認知症施策の推進（認知症地域支援推進員の配置・認知症初期集中支援チーム
の設置）
- ⑧生活支援サービスの充実（生活支援コーディネーターの配置・協議体の設置）
- ⑨新しい総合事業への移行
- ⑩認知症サポーターの養成
- ⑪介護技術スキルアップ講座の開催
- ⑫在宅医療、介護連携の推進など

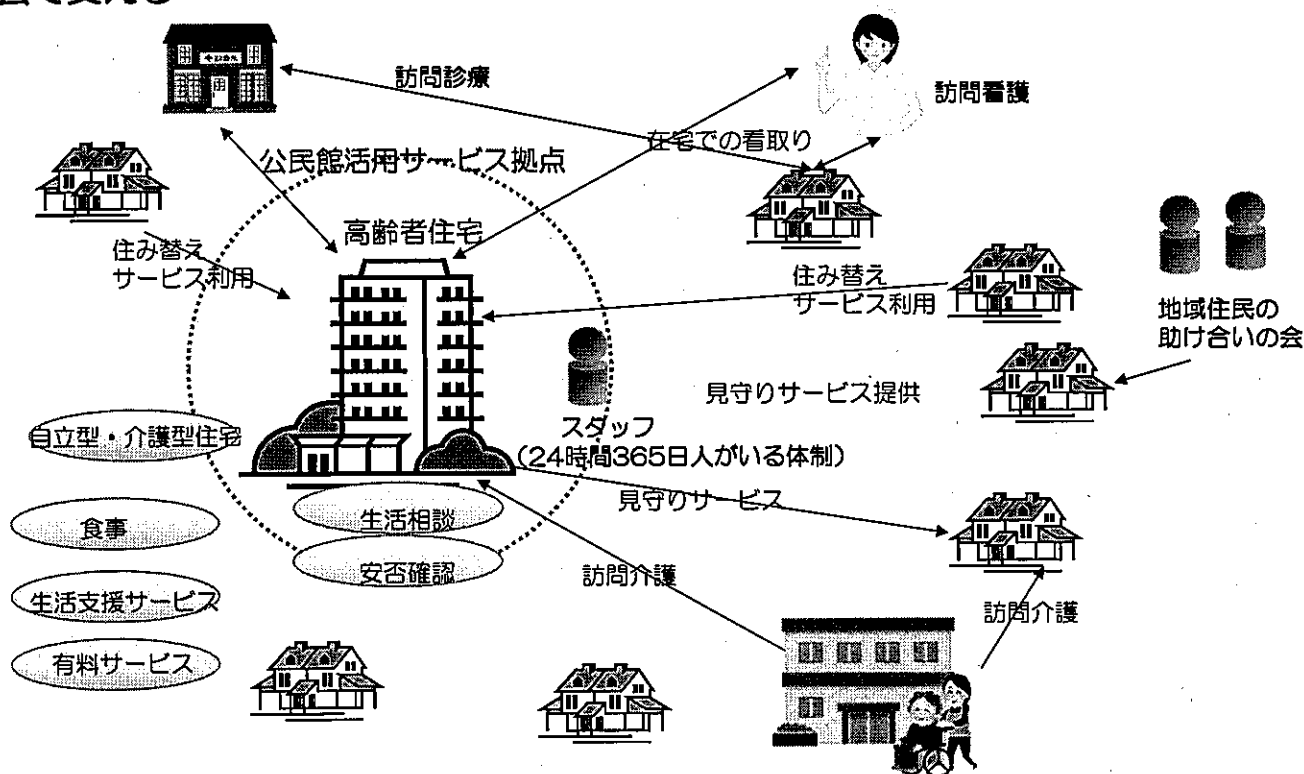
*湯梨浜町第6期 介護保険事業計画・高齢者福祉計画 より

中心に生活を持ってくと元気な地域になる

- ①医療に頼らない地域を目指す→生活を支える医療への意識チェンジ
- ②老衰死NO1へ
- ③助け合い、支えあいの地域づくりで、認知症の住民を他の住民が見守る
- ④在宅医療、訪問介護、訪問看護の充実を目指す。
→人材確保は、雇用促進住宅の活用とお試し居住。資格所有者への特典優遇を検討。

公民館を活用した地域包括ケアの拠点づくりとサ高住の整備

公民館を活用した地域包括ケアの拠点づくりと集住できる拠点型サ高住を整備し、地域住民への見守りシステムや介護サービス、訪問看護、訪問診療と住民の助け合いの会で支える



(5) 事業運営に関する取り組み

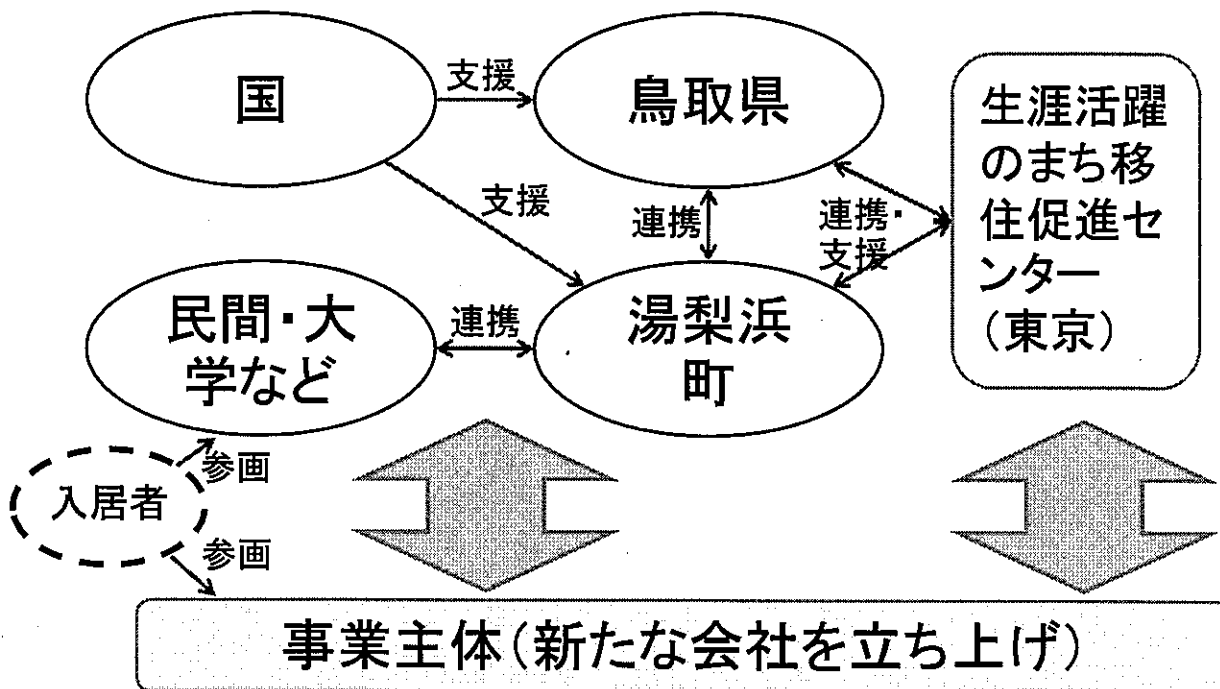
① 入居者の事業への参画

➡ サービス付き高齢者住宅や多世代居住用住宅の入居者を早い段階で募り、一緒になって事業を進めていく

② 事業運営やケア関係情報の公開

➡ 課題などを共有しながら、事業を進めていく

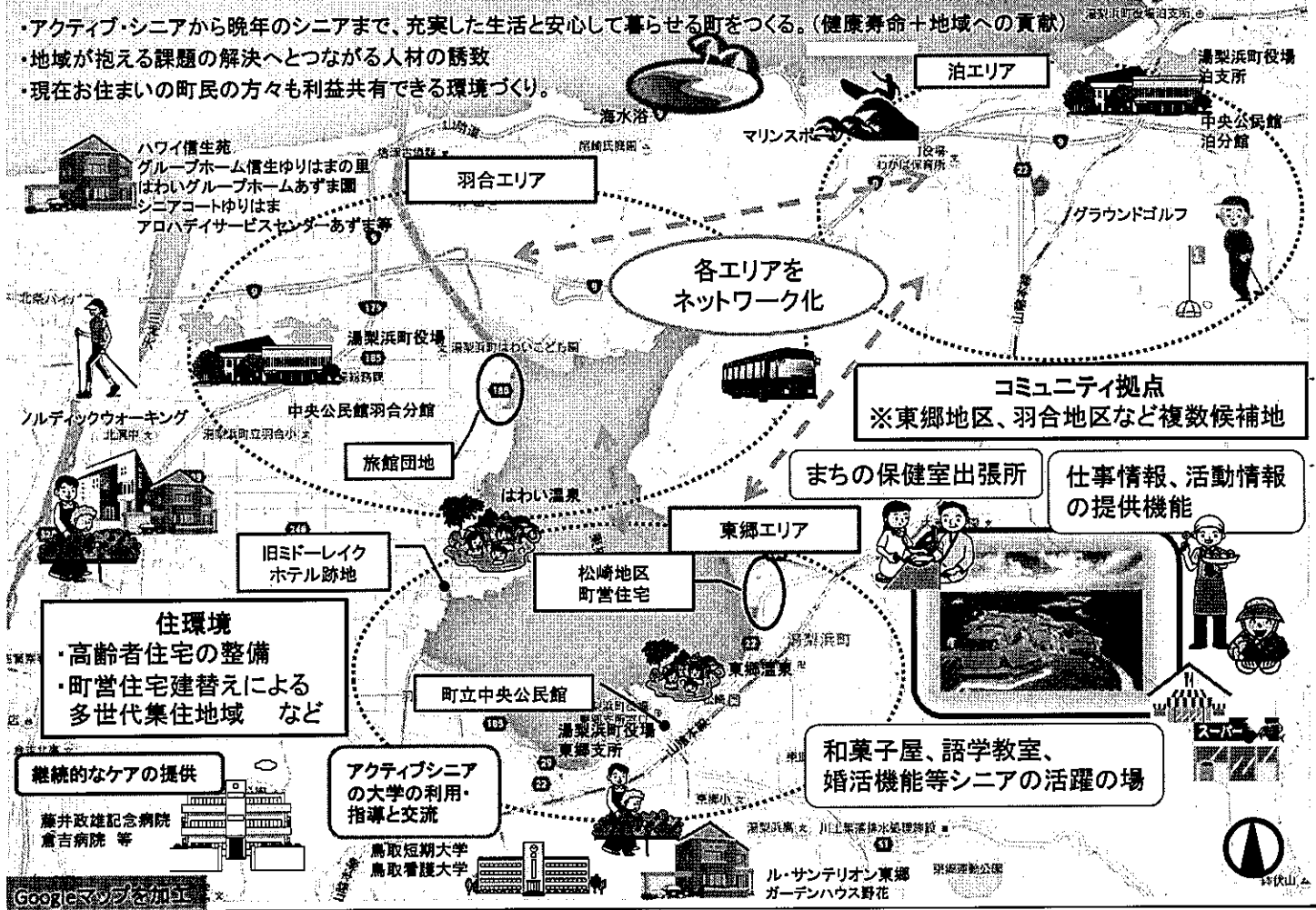
事業支援体制の構築



町の公的施設と民の住宅施設の供給
更に公と民が連携した新たな会社による取り組み

湯梨浜町をモデルとしたCCRCのイメージ

- ・アクティブ・シニアから晩年のシニアまで、充実した生活と安心して暮らせる町をつくる。(健康寿命+地域への貢献)
- ・地域が抱える課題の解決へとつながる人材の誘致
- ・現在お住まいの町民の方々も利益共有できる環境づくり。



コミュニティ拠点
※東郷地区、羽合地区など複数候補地

まちの保健室出張所
仕事情報、活動情報の提供機能

住環境
・高齢者住宅の整備
・町営住宅建替えによる多世代集住地域 など

継続的なケアの提供
藤井政雄記念病院
富吉病院 等

アクティブシニアの大学の利用・指導と交流
鳥取短期大学
鳥取看護大学

和菓子屋、語学教室、婚活機能等シニアの活躍の場

Googleマップを加工

